ユーザー ガイド

A910

HP Officejet Pro 8500A (A910) e-All-in-One series

ユーザー ガイド

著作権情報

Hewlett-Packard 社よりのお知らせ

本書に記載した内容は、予告なく変更されることがあります。

HP の製品およびサービスに対する保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示的な保証文で定義されたもののみです。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。HP は、本書に含まれる技術的および編集上の誤記、および脱漏については責任を負わないものとします。

商標について

Windows、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは米国マークとして登録されています。

安全に関する情報

火災や感電によるけがの危険を避けるため、この製品を使用する場合は、常に基本的な安全に関する注意を厳守してください。

1. プリンター付属の文書に記載されている全ての説明を読んで、十分に理解してください。

2. 製品に記載されているすべての警告および説明を厳守してください。

3. クリーニングの前にこの製品をコンセントから取り外してください。

4. この製品を水気の近くに設置すること、または身体が濡れているときに設置しないでください。

5. 製品は、安定した面にぐらつかないよう設置してください。

6. ケーブルやコードに足をとられないような場所に設置してください。また、ケーブルやコードが損傷しないような場所を選びます。

7. 製品が正常に動作しない場合は、「問題の解決法」を参照してください。

8. 内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。修理については、認定のサービス担当者にお問い合わせください。

アクセシビリティ

本プリンターは、障害のある方にもご利用いただけるよう数々の機能を備えています。

視覚

プリンター ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのユーザー補助オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害のある方にもご利用いただけます。また、画面読み上げプログラム、ブライユ点字読み上げ機能、音声入力アプリケーションなどのユーザー補助技術もサポートしています。色覚障害をお持ちの方のために、ソフトウェアとプリンターのコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブには、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

弊社のプリンター ソフトウェアの機能は、キーボード コマンドでも実行できます。ソフトウェアは StickyKeys、ToggleKeys、FilterKeys、および MouseKeys などの Windows ユーザー補助オプションもサポートしています。プリンターの各ドア、ボタン類、給紙トレイ、および用紙ガイドは、操作しやすい場所にあり、また大きな力を加えなくても操作できるようにしています。

ｻﾎﾟｰﾄ

本製品のアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイトwww.hp.com/accessibilityをご覧ください。

Mac OS X のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

目次

2 印刷

3 スキャン

4 HP デジタル ソリューション

9 問題の解決法

1 はじめに

このガイドでは、本プリンタの使用方法と問題の解決方法について詳しく説明します。

- アクセシビリティ
- エコヒント
- プリンタ各部の確認
- プリンタのコントロール パネルの使用
- プリンタのモデル番号を調べる
- 印刷メディアの選択
- スキャナのガラス面への原稿のセット
- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット
- メディアのセット
- メモリ デバイスの挿入
- アクセサリのインストール
- プリンタの保守
- プリンタの電源を切る

注記 Windows XP Starter Edition、 Windows Vista Starter Edition,、または Windows 7 Starter Edition を実行しているコンピュータで本プリンタを使用する場合、ご使用になれない機能があります。詳細については、オペレーティング システムとの互換性を参照してください。

アクセシビリティ

本プリンタは、障害のある方にもご利用いただけるよう数々の機能を備えています。

視覚

本プリンタに付属する HP ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのアクセシビリティ オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害をお持ちの方にもご利用いただけます。この HP ソフトウェアでは、画面読み上げプログラム、ブライユ点字読み上げ機能、音声入力アプリケーションなどのユーザー補助技術もサポートしています。色覚障害をお持ちの方のために、HP ソフトウェアとプリンタのコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブに

は、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

HP ソフトウェアの機能は、キーボード コマンドでも実行できます。HP ソフトウェアでは、StickyKeys や ToggleKeys、FilterKeys、MouseKeys などの Windows アクセシビリティ オプションもサポートしています。プリンタの各ドア、ボタン類、給紙トレイ、および用紙ガイドは、操作しやすい場所にあり、また大きな力を加えなくても操作できるようにしています。

ｻﾎﾟｰﾄ

本プリンタのアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイト www.hp.com/accessibility をご覧ください。

Mac OS X のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

エコヒント

HP は、お客様の環境に対する負荷の削減に取り組んでいます。HP は、お客様が印刷時の影響を評価し、削減できる方法として、これらのエコヒントを作成しました。本プリンタに組み込まれた特定の機能に加えて、HP の環境への取り組みの詳細については、HP Eco Solutions Web サイトをご覧ください。

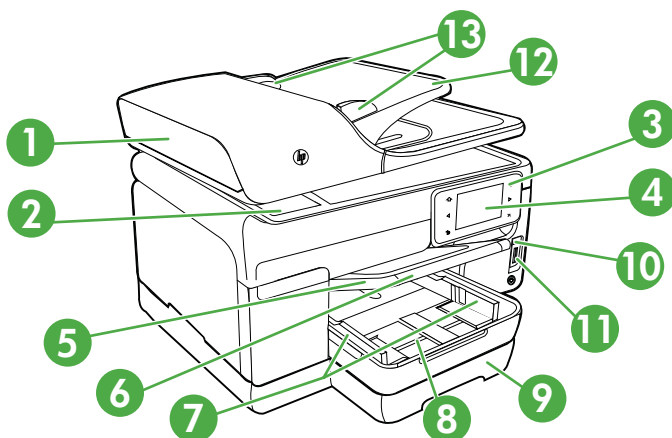
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/

- **Duplex プリント**：Use **用紙を節約する印刷方法**を使用して、同じシートに複数ページを両面印刷すれば、用紙の使用量を減らすことができます。詳細については、両面印刷 (2 面印刷)をご覧ください。
- **省電力情報**: 本プリンタの ENERGY STAR® 認定ステータスを確認するには、電力消費を参照してください。
- **リサイクル材料**: HP 製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。
  www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

プリンタ各部の確認

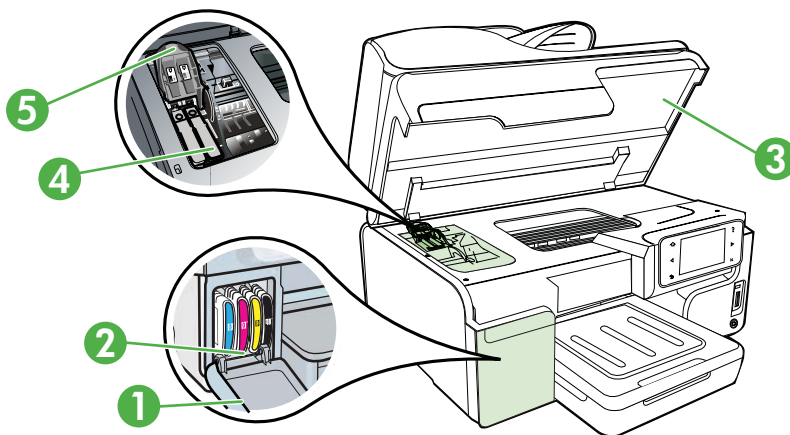
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

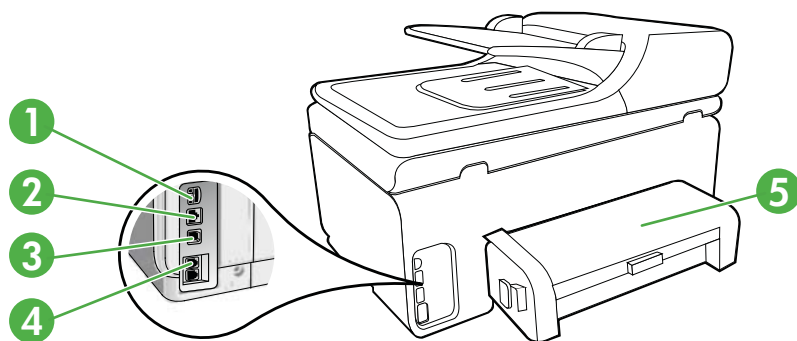
- 前面図
- 印刷サプライ部
- 背面図

前面図

1	自動ドキュメント フィーダ (ADF)
2	スキャナ ガラス
3	コントロール パネル (お使いのプリンター モデルによって異なります)
4	コントロール パネル ディスプレイ (お使いのプリンター モデルによって異なります)
5	排紙トレイ
6	延長排紙トレイ
7	用紙幅ガイド
8	トレイ 1
9	トレイ 2 (一部のモデル)

(続き)

10	前面 USB (Universal Serial Bus) ポート (PictBridge 対応)
11	メモリ カード スロット
12	ドキュメント フィーダ トレイ
13	横方向用紙ガイド

印刷サプライ部

1	インク カートリッジ カバー
2	インク カートリッジ
3	プリントキャリッジ アクセス ドア
4	プリントヘッド ラッチ
5	プリントヘッド

背面図

1	電源入力
2	Ethernet ネットワーク ポート
3	後部 USB (Universal Serial Bus) ポート
4	ファクス用ポート (1-LINE および 2-EXT)
5	自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット)

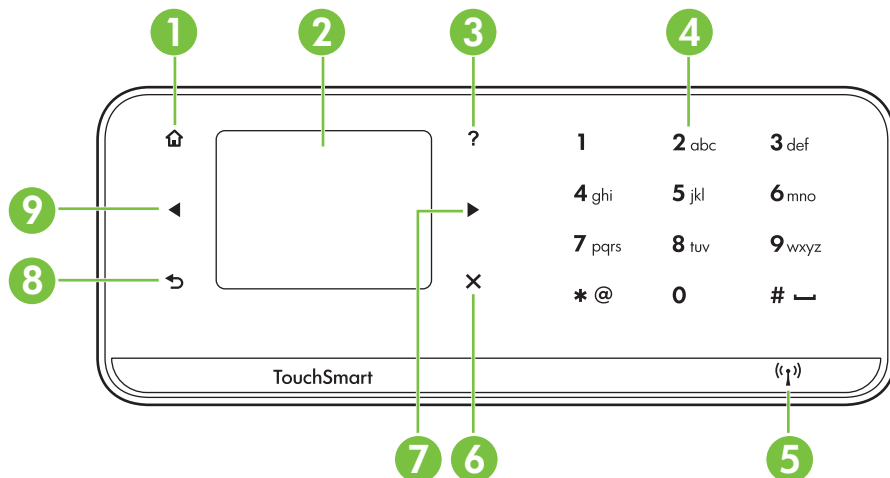
プリンタのコントロール パネルの使用

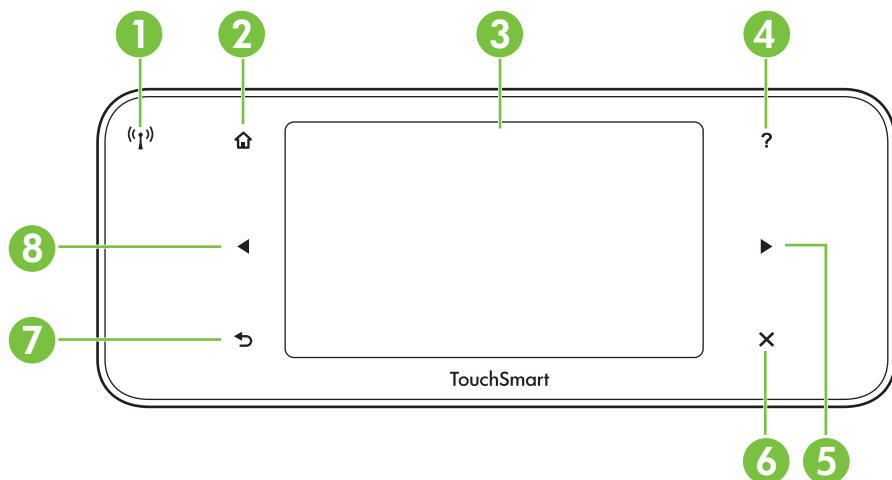
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ボタンとランプの概要
- コントロール パネル ディスプレイ アイコン
- プリンタの設定変更

ボタンとランプの概要

次の図と表を使って、各プリンタ モデルのプリンタ コントロール パネルの機能について説明します。詳細については、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

HP Officejet Pro 8500A (A910a-f)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	**ホーム ボタン**: 他の画面から[ホーム]画面に戻るには、このボタンを押します。
2	**コントロール パネル表示**:画面をタッチして、メニュー オプションを選択します。ディスプレイに表示されるアイコンの詳細については、コントロール パネル ディスプレイ アイコンを参照してください。
3	**ヘルプボタン**: [ヘルプ]メニューを開きます。
4	**キーパッド**: 数字やテキストを入力するにはキーパッドを使用します。
5	**ワイヤレス**:802.11 ワイヤレス機能がオンである場合、ボタンが点灯します。このボタンをタッチして、ワイヤレス サマリを表示または印刷するか、セットアップ オプションとネットワーク メニューにアクセスします。
6	**[キャンセル]**: ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
7	**右矢印ボタン**: メニューの設定を逆方向に進みます。
8	**戻るボタン**: 直前のメニューに戻るにはこのボタンをタッチします。
9	**左矢印ボタン**: メニューの設定を逆方向に進みます。

HP Officejet Pro 8500A (A910g-z)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	**[ワイヤレス アイコン]**: 802.11 ワイヤレス機能がオンである場合、ボタンが点灯します。このボタンをタッチして、ワイヤレス サマリを表示または印刷するか、セットアップ オプションとネットワーク メニューにアクセスします。
2	**ホーム**:他の画面から [ホーム] 画面に戻るには、このボタンを押します。
3	**[コントロール パネル表示]**:画面をタッチして、メニュー オプションを選択します。ディスプレイに表示されるアイコンの詳細については、コントロール パネル ディスプレイ アイコンを参照してください。
4	**[ヘルプボタン]**: [ヘルプ]メニューを開きます。
5	**右矢印ボタン**: メニューの設定を逆方向に進みます。
6	**キャンセル**：ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
7	**戻るボタン**: 直前のメニューに戻るにはこのボタンをタッチします。
8	**左矢印ボタン**: メニューの設定を逆方向に進みます。

コントロール パネル ディスプレイ アイコン

アイコン	用途
	有線ネットワーク接続があることを示します。
	ワイヤレス ネットワーク接続があることを示します。曲線の数によって信号強度が示されます。これは、インフラストラクチャ モード用です。詳しくは、ワイヤレス通信用のプリンタのセットアップを参照してください。
	ePrint がオンになっていることを示します。詳細は、HP ePrintを参照してください。
	コピーまたは他のオプションの選択を行える画面を表示します。
	ファクスまたはファクス設定の選択を行える画面を表示します。
	スキャンまたはスキャン設定の変更を行える画面を表示します。

(続き)

アイコン	用途
	HP Apps を使用できる画面を表示します。詳細については、HP Appsを参照してください。
	オプションを選択するためのフォト画面を表示します。
	レポートの作成、ファクスなどのメンテナンス設定の変更、ヘルプ メニューの表示を行うためのセットアップ画面を表示します。画面で選択したトピックに関するヘルプ メニューがコンピューター画面に表示されます。
	オプションを選択するための [ネットワーク] 画面を表示します。 Officejet Pro 8500A (A910g-z のみ)
	プリンター機能の詳細情報を提供します。 Officejet Pro 8500A (A910g-z のみ)
	インクの充填レベルなど、インク カートリッジ情報を確認できる画面を表示します。インク カートリッジに注意が必要なときには、このアイコンに赤いボーダーが表示されます。 Officejet Pro 8500A (A910a-f のみ)

アイコン	用途
	注記 インクレベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷に遅れが生じないように印刷プリント カートリッジを交換してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。
	自動応答機能のステータスを表示します。**[自動応答]** をタッチして、オンまたはオフにします。詳細は、応答モード (自動応答) の設定を参照してください。 Officejet Pro 8500A (A910a-f のみ)

プリンタの設定変更

プリンタのモードや設定の変更、レポートの印刷、またはヘルプを参照するには、プリンタのコントロール パネルを使用します。

ヒント また、プリンタをコンピュータに接続している場合、プリンタの設定変更は、HP プリンタ ソフトウェア、HP ユーティリティ (Mac OS X の場合)、EWS など、お使いのコンピュータで使用できる HP ソフトウェア ツールを使用して行うこともできます。ツールの詳細については、プリンタ管理ツールを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- モードの選択
- プリンタの設定変更

モードの選択

コントロール パネル ディスプレイのメイン メニューには、使用可能なモードが表示されます。

注記 モードを選択するには、左矢印◀ または 右矢印▶ をタッチしてモードを表示し、使用するモードのアイコンをタッチします。コントロール パネル ディスプレイの指示に従って、ジョブを実行します。ジョブが終了すると、コントロール パネルのディスプレイはメイン メニューに戻ります。

別のモードを選択するには

メイン メニューに戻るには、⮌ をタッチします。左矢印◀または右矢印▶をタッチして使用可能なモード間をスクロールして、アイコンをタッチして使用するモードを選択します。

モードの設定を変更するには

1. モードを選択した後で、矢印ボタンをタッチして使用可能な設定間をスクロールし、変更する設定を選択してタッチします。
2. ディスプレイ上の指示に従って設定を変更し、**[完了]** をタッチします。

注記 直前のメニューに戻るには、⮌ ボタンをタッチします。

プリンタの設定変更

プリンタの設定変更、またはレポートの印刷を実行するには、[セットアップ]メニューで以下のオプションを使用します。

1. 右矢印▶、**[セットアップ]** の順にタッチします。
2. 矢印ボタンをタッチしてメニュー間をスクロールします。
3. メニューをタッチしてメニューまたはオプションを選択します。

注記 直前のメニューに戻るには、⮌ ボタンをタッチします。

プリンタのモデル番号を調べる

プリンタ前面に記載されているモデル名とは別に、本プリンタには固有のモデル番号があります。この番号は、サポートを利用するときに、プリンタで利用できるサプライ品またはアクセサリを確認するために使用します。

モデル番号は、プリンタの内部、インク カートリッジの近くにあるラベルに記載されています。

印刷メディアの選択

本プリンタは、ほとんどの種類のオフィス用紙に対応しています。大量の用紙を購入する場合は、実際に購入する前にさまざまな種類の用紙で実際に印刷を試してみることをお勧めします。最適な印刷品質を

お求めの場合は HP 用紙をご使用ください。HP 用紙の詳細については、HP Web サイト www.hp.com をご覧ください。

	HP は一般文書の印刷やコピーには ColorLok ロゴが入った普通紙をお勧めしています。ColorLok ロゴが入った用紙はすべて高い信頼性および印刷品質基準に適合するよう独自にテストされており、通常の普通紙に比べ、くっきり鮮明な黒色を再現し、乾燥が速い文書を実現します。ColorLok ロゴ入り用紙は、さまざまな重さとサイズのものがメーカーにより提供されています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 推奨する印刷およびコピー用紙
- 推奨するフォト印刷用紙
- 用紙の選択、使用に関するヒント

推奨する印刷およびコピー用紙

最高画質で印刷するには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

HP ブローシャ用紙 HP Superior インクジェット用紙	両面印刷に対応できるように、両面に光沢またはつや消しコーティングが施されています。写真に近い品質の印刷や、レポートのカバー、特別なプレゼンテーション、カタログ、宣伝用リーフレット、カレンダなどに使用するビジネス用のグラフィックの印刷にお勧めします。
HP インクジェット用上質普通紙 (両面)	インクジェット用上質普通紙を使用すると、ハイコントラストの色とシャープな文字で印刷されます。ある程度の厚みがあり両面カラー印刷をしても裏写りしないため、ニュースレターやレポート、広告などにお勧めします。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。
HP プリント用紙	HP プリント用紙は、高品質の多目的用紙です。標準の多目的用紙やコピー用紙と比べて、見た目も質感も重量感のあるしっかりした文書を作成で

(続き)

	きます。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。
HP オフィス用紙	HP オフィス用紙は、高品質の多目的用紙です。コピー、原稿、メモなど、毎日の使用に適しています。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。
HP オフィス用再生紙	HP オフィス用再生紙は、リサイクル繊維を 30% 含む高品質の多目的用紙です。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。
HP プレミアム プレゼンテーション用紙 HP プロフェッショナル用紙	両面印刷用のつや消しで厚い用紙で、プレゼンテーション、企画書、報告書、ニュースレターなどに適しています。厚手で印象的な外観です。
HP プレミアム インクジェット OHP フィルム	HP プレミアム インクジェット OHP フィルムを使用すると、鮮やかでインパクトのあるカラー プレゼンテーション資料が印刷できます。このフィルムは、扱いやすく、にじまず速く乾くので便利です。
HP アドバンス フォト用紙	この厚手のフォト用紙はすぐ乾くので汚れにくく取り扱いが簡単です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れています。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、 8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13x18 cm (5 x7 インチ) があり、それぞれ光沢または半光沢 (サテンマット) 仕上げがあります。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。
HP エヴリデイ フォト用紙	日常的な写真の印刷に適していて、普段のスナップショットをカラフルに低コストで印刷できます。速乾性で扱いやすく、手ごろな価格の写真用紙です。インクジェット プリンタで使用すると、シャープで鮮明な画像が得られます。半光沢仕上

(続き)

	げで、8.5 x11 インチ、A4、4 x 6 インチおよび 10 x 15 cm のサイズがあります。長期保存文書向けの中性紙です。
HP アイロン プリント紙	アイロンプリント紙 (カラー生地用、淡色または白地用) を使用すると、デジタル写真からオリジナル T シャツを作成できます。

HP 用紙やサプライ品は、www.hp.com/buy/supplies からご注文いただけます。お住まいの国/地域とお使いのプリンタを選択して、ショッピング リンクをクリックします。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部分は英語版のみです。

推奨するフォト印刷用紙

最高画質で印刷するには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

HP アドバンス フォト用紙

この厚手のフォト用紙はすぐ乾くので汚れにくく取り扱いが簡単です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れています。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13 x 18 cm (5 x 7 インチ) などがあり、いずれも光沢またはソフト光沢 (サテンつや消し) という 2 種類の仕上げがあります。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。

HP エヴリデイ フォト用紙

カラフルな一般のスナップ写真を低コストで印刷できる、カジュアルな写真印刷向け用紙です。手ごろな価格で、すぐ乾くので取り扱いが簡単です。インクジェット プリンタで使用すれば、鮮明で、くっきりしたイメージが得られます。半光沢仕上げで、8.5 x11 インチ、A4、4 x 6 インチおよび 10 x 15 cm のサイズがあります。長期保存文書向けの中性紙です。

HP フォト バリュー パック

HP フォト バリュー パックは、お使いの HP プリンタで手ごろな価格でプロフェッショナル品質の写真を印刷できる、HP 製インク カート

リッジと HP アドバンス フォト用紙の便利なパッケージです。HP 製インクと HP アドバンス フォト用紙は、組み合わせて使用すると鮮明な色が長続きする写真を印刷できるように作られています。休暇中の写真を印刷したり、複数の写真を印刷して共有する場合に最適です。

HP 用紙やサプライ品は、www.hp.com/buy/supplies からご注文いただけます。お住まいの国/地域とお使いのプリンタを選択して、ショッピング リンクをクリックします。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部分は英語版のみです。

用紙の選択、使用に関するヒント

最高の結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- プリンタの仕様に適合した用紙を必ず使用してください。詳細については、メディア仕様を参照してください。
- トレイまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) には一度に 1 種類の用紙のみをセットしてください (一部のモデルのみ)。
- トレイや ADF をセットする際は、用紙が正しくセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
- トレイまたは ADF に用紙を入れすぎないようにしてください (一部のモデルのみ)。詳細については、メディアのセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
- 紙詰まり、印刷品質の低下など印刷上の問題を防止するため、トレイまたは ADF に以下の用紙をセットするのはおやめください (一部のモデルのみ):
  - 貼り継ぎした用紙
  - 損傷や丸まっている、またはしわのある用紙
  - 切抜きやミシン目のある用紙
  - 強いテクスチャ、エンボスのあるメディアやインクをはじく用紙

◦ 非常に軽量の用紙または簡単に伸張する用紙
◦ ホチキスやクリップが付いた用紙

注記 これらのガイドラインに従っていないページを含むドキュメントをスキャン、コピー、ファクスする場合は、スキャナのガラス面を使用してください。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。

スキャナのガラス面への原稿のセット

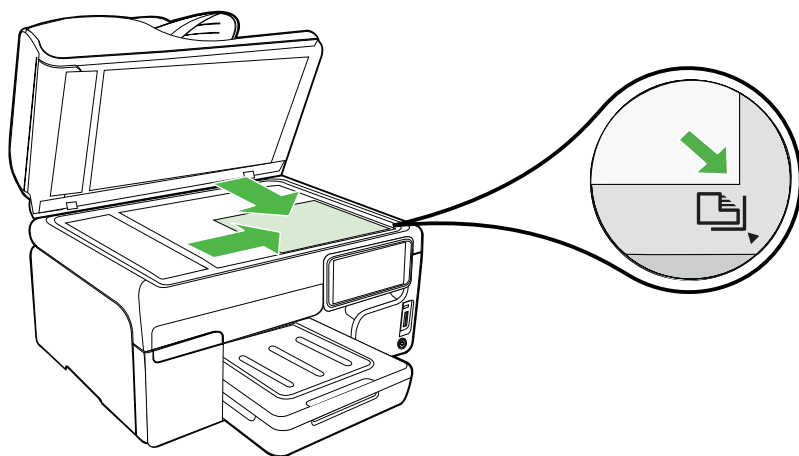
ガラス面に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター サイズまでの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。

注記 ガラス面や原稿押さえに汚れが付着していると、特殊機能の多くが正常に機能しなくなる可能性があります。詳細については、プリンタの保守を参照してください。

スキャナのガラス面に原稿をセットするには

次の手順を実行して、スキャナのガラス面に原稿をセットします。

1. スキャナのカバーを持ち上げます。
2. 印刷面を下にして原稿をセットします。

ヒント 原稿のセット方法については、ガラス面の端に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

片面、1 ページまたは複数ページの A4 またはレター サイズの文書は、自動ドキュメント フィーダ トレイにセットして、コピー、スキャン、またはファクスすることができます。

△ **注意** ADF に写真をセットしないでください。写真が破損する可能性があります。

注記 両面のリーガル サイズの文書は ADF でコピー、スキャン、またはファックスすることができません。

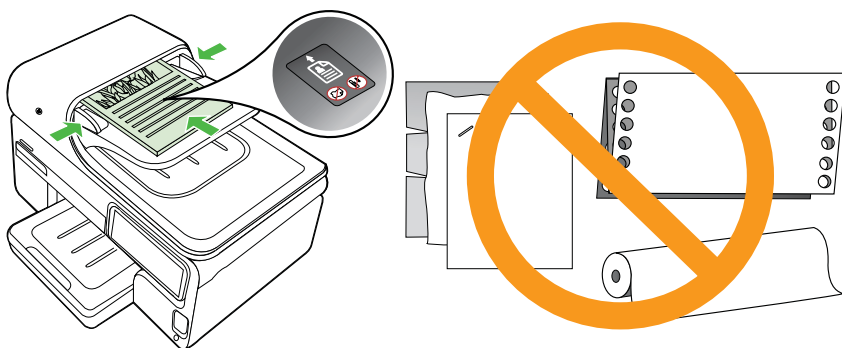
注記 **[ページに合わせる]** コピーなど、一部の機能は原稿を ADF にセットすると動作しません。 原稿はガラス面にセットしてください。

ドキュメント フィーダ トレイには、プリンタ モデルに応じて最大 35 または 50 枚の普通紙をセットできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

次の手順を実行して自動ドキュメント フィーダに文書をセットします。

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。文書の先頭が先に取り込まれるようにセットしてください。自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると音が鳴るか、セットした用紙を認識したことを示すメッセージがディスプレイに表示されます。

   ヒント 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、横方向用紙ガイドをスライドさせます。

注記 プリンタのカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

メディアのセット

このセクションでは、プリンタに用紙をセットする手順を説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 標準サイズの用紙のセット
- 封筒のセット
- カードとフォト用紙のセット
- OHP フィルムのセット
- カスタム サイズの用紙のセット

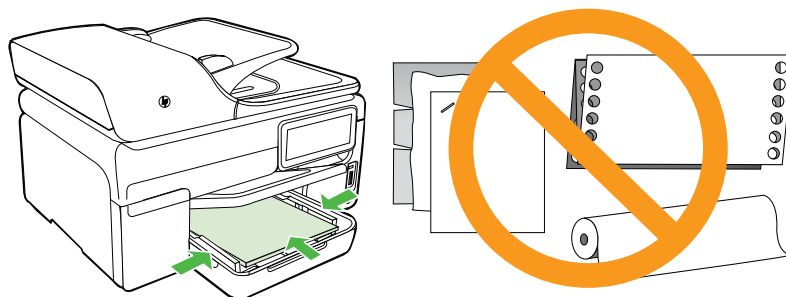
標準サイズの用紙のセット

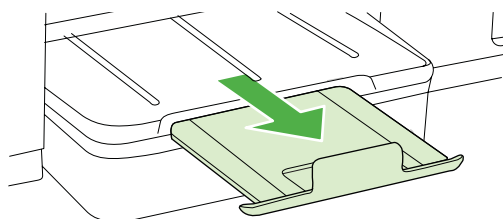
用紙をセットするには

次の指示に従って、標準用紙をセットします。

1. 排紙トレイを持ち上げます。
2. 横方向用紙ガイドをできるだけスライドさせます。

注記 これより大きなサイズのメディアをセットする場合は、給紙トレイを引き出します。

3. 用紙の印刷面を下に向け、メイン トレイの右側に揃えて挿入します。 メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

> **注記** 印刷中は、用紙をセットしないでください。

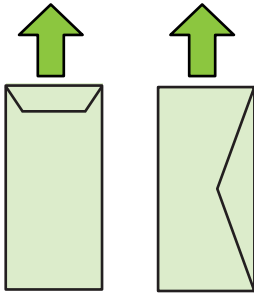
4. メディア ガイドをスライドし、セットしたメディア サイズに調整します。
5. 排紙トレイを下げます。
6. 排紙トレイの延長部を引き出します。

封筒のセット

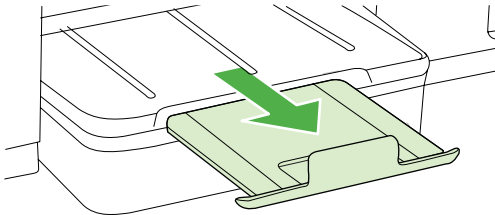
封筒をセットするには

次の指示に従って、封筒をセットします。

1. 排紙トレイを持ち上げます。
2. 横方向用紙ガイドをできるだけスライドさせます。

> **注記** これより大きなサイズのメディアをセットする場合は、給紙トレイを引き出します。

3. 図に従って封筒をセットします。封筒の束がトレイのラインからはみ出さないよう確認します。

注記 印刷中は、用紙をセットしないでください。

4. メディア ガイドをスライドし、セットしたメディア サイズに調整します。
5. 排紙トレイを下げます。
6. 排紙トレイの延長部を引き出します。

カードとフォト用紙のセット

カードとフォト用紙をセットするには

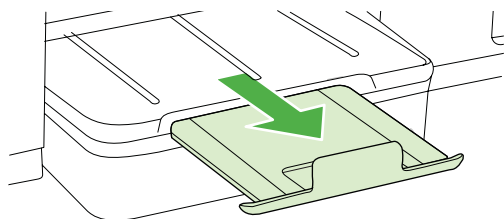
次の指示に従って、フォト用紙をセットします。

1. 排紙トレイを持ち上げます。
2. 横方向用紙ガイドをできるだけスライドさせます。

注記 これより大きなサイズのメディアをセットする場合は、給紙トレイを引き出します。

3. 用紙の印刷面を下に向け、メイン トレイの右側に揃えて挿入します。メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。フォト用紙の端にタブがある場合、タブがプリンタの前面にくるようにしてください。

   注記 印刷中は、用紙をセットしないでください。

4. メディア ガイドをスライドし、セットしたメディア サイズに調整します。
5. 排紙トレイを下げます。
6. 排紙トレイの延長部を引き出します。

OHP フィルムのセット

OHP フィルムをセットするには

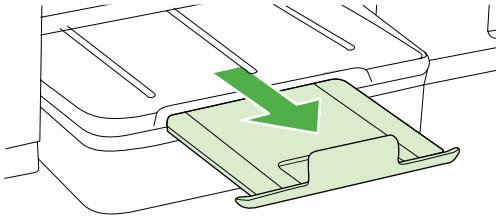
1. 排紙トレイを持ち上げます。
2. 横方向用紙ガイドをできるだけスライドさせます。

   注記 これより大きなサイズのメディアをセットする場合は、給紙トレイを引き出します。

3. OHP フィルムの粗い面または印刷面を下に向け、メイン トレイの右側に揃えて挿入します。細長い粘着部がプリンタの後面に来ることと、OHP フィルムの束がトレイの右端と後端に沿っていることを確認します。また、束がトレイのラインからはみ出さないよう確認します。

   注記 印刷中は、用紙をセットしないでください。

4. メディア ガイドをスライドし、セットしたメディア サイズに調整します。

5. 排紙トレイを下げます。
6. 排紙トレイの延長部を引き出します。

カスタム サイズの用紙のセット

カードとフォト用紙をセットするには

次の指示に従って、カスタムサイズの用紙をセットします。

△ **注意** プリンタでサポートされているカスタム サイズのメディアだけを使用します。詳細については、メディア仕様を参照してください。

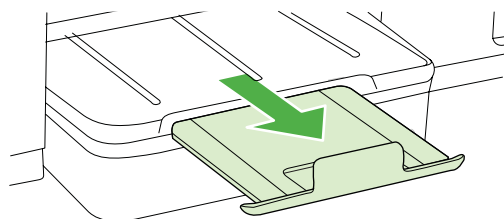
1. 排紙トレイを持ち上げます。
2. 横方向用紙ガイドをできるだけスライドさせます。

   注記 これより大きなサイズのメディアをセットする場合は、給紙トレイを引き出します。

3. 用紙の印刷面を下に向け、メイン トレイの右側に揃えて挿入します。メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

   注記 印刷中は、用紙をセットしないでください。

4. メディア ガイドをスライドし、セットしたメディア サイズに調整します。

5. 排紙トレイを下げます。
6. 排紙トレイの延長部を引き出します。

メモリ デバイスの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、メモリ カードをプリンタに挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

△ **注意** アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。 フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。 また、複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。メモリカード内のファイルが損傷します。

注記 プリンタは、暗号化されたメモリ カードをサポートしていません。

サポートされているメモリ カードの詳細については、メモリ デバイスの仕様を参照してください。

メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが上、接点がプリンタ側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

注記 複数のメモリ カードを挿入することはできません。

ストレージ デバイスに接続するには

1. デジタル カメラを接続している場合、カメラの USB モードをストレージ モードに変更し、USB ケーブルの一方の端をカメラに接続します。

   注記 ストレージ モードを表すには、カメラによってさまざまな用語が用いられています。例えば、一部のカメラには [デジタル カメラ] の設定と [ディスク ドライブ] 設定があります。このような場合、[ディスク ドライブ] 設定がストレージ モード設定になります。カメラのストレージ モードが機能しない場合は、カメラのファームウェアのアップグレードが必要な場合があります。詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

2. USB ストレージ デバイスまたはカメラの USB ケーブルのもう一方の端をプリンター前面の USB ポートに挿入します。

注記 サイズの制限により USB デバイスがこのポートに合わないか、デバイスのコネクタが 11 mm (0.43 インチ) より短い場合、このポートでデバイスを使用するには、USB 延長ケーブルをお買い求めいただく必要があります。サポートする USB デバイスの詳細については、メモリ カードの仕様を参照してください。

アクセサリのインストール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

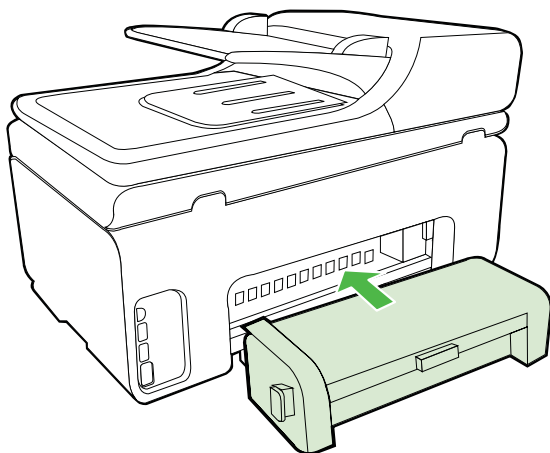
- 両面印刷ユニットのインストール
- トレイ 2 の取り付け
- プリンター ドライバでのアクセサリの有効化

両面印刷ユニットのインストール

自動的に用紙の両面に印刷できます。 両面印刷ユニットの詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付けるには

▲ 両面印刷ユニットを所定の位置までプリンターに差し込みます。インストールする時は両面印刷ユニットのボタンはいず

れも押さないでください。プリンターから取り外す時に押します。

トレイ 2 の取り付け

注記 この機能は、一部のプリンターモデルで使用できます。

トレイ 2 には普通紙 250枚までセット可能です。注文の詳細については、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。

トレイ 2 を取り付けるには

1. トレイを開梱し、梱包テープと梱包材を取り除き、設置場所にトレイを置きます。 安定した平らな場所に設置する必要があります。
2. プリンターの電源を切り、電源コードのプラグを取り外してください。
3. プリンターをトレイの上に設置します。

   △ **注意** プリンタの底部に指や手をはさまないように注意してください。

4. 電源コードを接続し、プリンターの電源を入れます。
5. プリンター ドライバでトレイ 2 を有効にします。詳細については、プリンター ドライバでのアクセサリの有効化を参照してください。

プリンター ドライバでのアクセサリの有効化

- Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには
- Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、次に **[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタのアイコンを右クリックしてから、**[プロパティ]** を選択します。
3. **[デバイス設定]** タブを選択します。有効にするアクセサリをクリックし、ドロップダウン メニューの **[装着済み]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Mac OS では、プリンター ソフトウェアをインストールすると、プリンター ドライバですべてのアクセサリが自動的に有効になります。アクセサリを後から追加する場合は、次の手順に従います。

1. **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファクス]** を選択します。
2. **[オプションとサプライ品]**をクリックします。
3. **[ドライバ]** タブをクリックします。
4. インストールするオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。

プリンタの保守

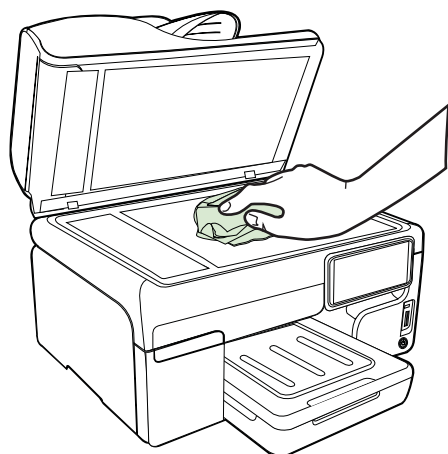
このセクションでは、プリンタを最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じて、次のメンテナンス手順を実行してください。

- スキャナ ガラスのクリーニング
- 外側のクリーニング
- 自動ドキュメント フィーダのクリーニング

スキャナ ガラスのクリーニング

注記 スキャナ ガラス、スキャナの保護シート、またはスキャナ フレームのほこりや汚れにより、パフォーマンスが低下したり、スキャンの品質が低下したり、コピーを特定のページ サイズに合わせるなどの特殊機能の正確さが損なわれたりすることがあります。

スキャナ ガラスをクリーニングするには

1. プリンタの電源を切ります。詳細は、プリンタの電源を切るを参照してください。
2. スキャナのカバーを持ち上げます。
3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布でガラスをクリーニングします。乾いた、柔らかい、糸くずのない布でガラスの水分を拭き取ります。

△ **注意** スキャナ ガラスのクリーニングにはガラス用洗剤以外使用しないでください。研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、スキャナ ガラスを傷める可能性があります。また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。ガラス面に縞模様が残ることがあります。

注意 ガラス用洗剤をガラス面に直接吹き付けないでください。ガラス用洗剤を多く吹き付けると、洗剤が本体内に入り、スキャナを傷めることがあります。

4. スキャナのカバーを閉じて、プリンタの電源を入れます。

外側のクリーニング

⚠ **警告** プリンタのクリーニングを行う前に、電源をオフにした後、電源コードをコンセントから抜きます。

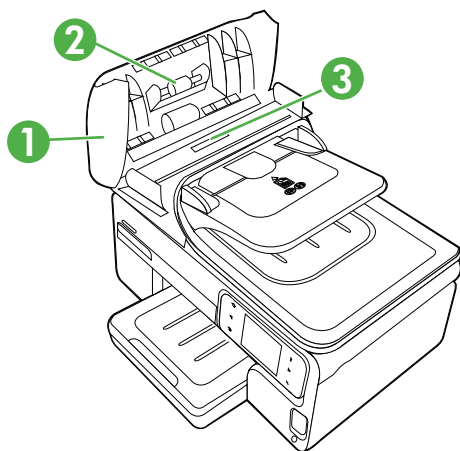
ほこりや汚れ、しみなどは、水分を少し含ませた、糸くずのでない柔らかい布で拭きとってください。プリンタ外装は、クリーニングする必要はありません。プリンタのコントロール パネルやプリンタの内部には、液体などをかけないようにしてください。

自動ドキュメント フィーダのクリーニング

自動ドキュメント フィーダが一度に用紙をまとめて給紙してしまったり、普通紙をまったく給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてください。 自動ドキュメント フィーダのカバーを

開き、ローラーとセパレータ パッドをクリーニングして、カバーを閉じてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
   これにより、ローラー(2)とセパレーター パッド(3) に簡単にアクセスできるようになります。

1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

   注記 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

プリンタの電源を切る

[電源] ボタンを押して、プリンタの電源をオフにします。電源ランプが消灯してから、電源コードを抜いたりテーブル タップをオフにしてください。プリンタの電源を正しく切らないと、インク ホルダーが正しい位置に戻らず、インク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響を与えることがあります。

2 印刷

印刷設定のほとんどは、ソフトウェア アプリケーションによって自動的に行われます。印刷品質の変更、特定の種類の用紙への印刷、特殊機能を使用する場合のみ、手動で設定を変更する必要があります。最も適した印刷用紙を選択するには、印刷メディアの選択を参照してください。

印刷ジョブを選択して続行します。

	ドキュメントの印刷
	ブローシャの印刷
	封筒の印刷
	写真を印刷する
	特殊な用紙およびカスタムサイズの用紙の印刷
	フチ無し文書の印刷

ドキュメントの印刷

注記 特定の用紙 を使用すれば、1 枚の用紙の両面に印刷(「両面印刷」または「デュプレックス印刷」)できます。詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

注記 HP の ePrint 機能を使用するとどこからでも印刷可能です。詳細は、HP ePrintを参照してください。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- 文書の印刷 (Windows)
- 文書の印刷 (Mac OS X)

文書の印刷 (Windows)

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 設定を変更するには、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、**[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. 印刷の向きを変更するには **[レイアウト]** タブを使用して、用紙トレイ、用紙タイプ、用紙のサイズ、品質設定を変更するには **[用紙/品質]** タブを使用します。モノクロ印刷を実行するには、**[詳細設定]** タブをクリックして、**[グレースケールで印刷]** オプションを変更します。
6. **[OK]** をクリックします。
7. 印刷を開始するには、**[印刷]** または **[OK]** をクリックします。

文書の印刷 (Mac OS X)

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。

3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 印刷するプロジェクトに合わせて、ポップアップ メニューで表示されるオプションの印刷設定を変更します。

   注記 [プリンタ] の横の青い三角マークをクリックして、これらのオプションにアクセスします。

5. 印刷を開始するには、**[印刷]** をクリックします。

ブローシャの印刷

注記 HP の ePrint 機能を使用するとどこからでも印刷可能です。詳細は、HP ePrintを参照してください。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- パンフレットの印刷 (Windows)
- パンフレットの印刷 (Mac OS X)

パンフレットの印刷 (Windows)

注記 すべてのプリント ジョブのプリント設定を設定するには、プリンタに付属している HP ソフトウェアで変更します。HP ソフトウェアの詳細については、プリンタ管理ツールを参照してください。

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 設定を変更するには、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、**[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. 印刷の向きを変更するには **[レイアウト]** タブを使用して、用紙トレイ、用紙タイプ、用紙のサイズ、品質設定を変更するには **[用紙/品質]** タブを使用します。モノクロ印刷を実行するには、**[詳細設定]** タブをクリックして、**[グレースケールで印刷]** オプションを変更します。

6. **[OK]** をクリックします。
7. **[OK]** をクリックします。
8. 印刷を開始するには、**[印刷]** をクリックします。

パンフレットの印刷 (Mac OS X)

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 印刷方向 の設定の下に表示されるポップアップ メニューから **[用紙の種類/品質]** を選択して、次の設定を選択します。
   - **[用紙の種類:]** : 適切なブローシャの用紙の種類
   - **[品質]** : **[標準]** または **[高画質]**

   注記 **[プリンタ]** の横の青い三角マークをクリックして、これらのオプションにアクセスします。
5. 必要に応じて他の印刷設定を選択します。**[印刷]** をクリックして印刷を開始します。

封筒の印刷

封筒を選択する場合、光沢仕上げ、シール付き、留め金、ウィンドウのある封筒は使用しないでください。また、厚みのある封筒、定型外、縁が丸みを帯びているもの、しわ、破れなどの損傷がある封筒も避けてください。

プリンタにセットする封筒は、作りがしっかりしており、きっちりと折り目があることを確認します。

注記 封筒の印刷の詳細については、使用しているソフトウェアに用意されている説明書をご覧ください。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- 封筒の印刷 (Windows)
- 封筒の印刷 (Mac OS X)

封筒の印刷 (Windows)

1. トレイに封筒をセットします。詳細は、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 設定を変更するには、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、**[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. **[レイアウト]** タブで、印刷の向きを **[横]** に変更します。
6. **[用紙/品質]** をクリックして、**[用紙サイズ]** ドロップダウン リストから適切な封筒の種類を選択します。

   ヒント ダイアログ ボックスの他のタブにある機能を使用すると、その他の印刷ジョブ オプションを変更できます。

7. **[OK]** をクリックして、**[印刷]** または **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

封筒の印刷 (Mac OS X)

1. トレイに封筒をセットします。詳細は、メディアのセットを参照してください。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. **[用紙サイズ]** ポップアップ メニューから適切な封筒のサイズを選択します。
5. **[用紙の方向]** オプションを選択します。

   注記 Mac OS X (v10.5 または v10.6) を使用するコンピュータの場合、**[プリンタ]** の横の青い三角マークをクリックして、これらのオプションにアクセスします。

6. 必要に応じて他の印刷設定を選択します。**[印刷]** をクリックして印刷を開始します。

写真を印刷する

未使用のフォト用紙を給紙トレイに置いたままにしないでください。用紙が波打って印刷品質が低下することがあります。フォト用紙は印刷前に平らにしておいてください。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- フォト用紙への写真の印刷 (Windows)
- フォト用紙への写真の印刷 (Mac OS X)
- メモリ デバイスからの写真の印刷
- DPOF フォト プリント

フォト用紙への写真の印刷 (Windows)

1. トレイに用紙をセットします。詳しくは、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンターが選択されていることを確認します。
4. 設定を変更するには、プリンターの **[プロパティ]** ダイアログボックスを開くオプションをクリックします。
   ソフトウェアによっては、このオプションが **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、 **[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. モノクロで写真を印刷するには、**[詳細設定]** タブをクリックして、**[グレースケールで印刷]** オプションを変更します。
6. **[OK]** をクリックして、**[印刷]** または **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

フォト用紙への写真の印刷 (Mac OS X)

1. トレイに用紙をセットします。詳しくは、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューから、**[プリント]** をクリックします。
3. 使用するプリンターが選択されていることを確認します。

4. **[印刷の向き]** の設定の下に表示されるポップアップ メニューから **[用紙の種類/品質]** をクリックして、次の設定を選択します。
   - **[用紙の種類:]**: 適切なフォト用紙の種類
   - **[品質]** : **[高画質]** または **[最大 dpi]**

   注記 **[プリンター]** の横の青い三角マークをクリックして、これらのオプションにアクセスします。

5. 適切な **[写真の修正]** オプションを選択します。
   - **[オフ]**: 画像に HP Real Life Technologies を適用しません。
   - **[標準]**: 自動的に画像の焦点を調整し、画像の鮮明度も適度に調整します。
6. 写真をモノクロで印刷するには、**[カラー]** ポップアップ メニューから **[グレースケール]** をクリックして、次のオプションのいずれか 1 つを選択します。
   - **[高品質]**: このオプションでは、使用可能なすべての色を使用して写真をグレースケールで印刷します。滑らかで自然なグレーの色合いが生成されます。
   - **[黒プリント カートリッジのみ]**: このオプションでは、黒インクを使用して写真をグレースケールで印刷します。この場合、異なるパターンの黒いドットでグレーの色合いが生成されるので、印刷されたイメージはきめが粗くなります。
7. 必要に応じて他の印刷設定を選択します。**[プリント]** をクリックして印刷を開始します。

メモリ デバイスからの写真の印刷

サポートされているメモリ カードをプリンターの前面にあるスロットに挿入できます。また、USB ストレージ デバイス (キーチェーン ドライブやポータブル ハード ドライブなど) をプリンター前面の USB ポートに接続できます。ストレージ モードのジタル カメラをプリンター前面の USB ポートに接続して、カメラから直接写真を印刷することもできます。

メモリ デバイスの使用方法については、メモリ デバイスの挿入を参照してください。

△ **注意** アクセス中にメモリ デバイスを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。ステータス ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。また、複数のストレージ デバイスを同時に装着することも絶対に避けてください。ストレージ デバイス内のファイルが損傷します。

選択した写真を印刷するには

注記 この機能は、メモリ デバイスに DPOF (Digital Print Order Format) コンテンツが含まれていない場合にのみ使用できます。

1. メモリ カードをプリンタの適切なスロットに挿入します。コントロール パネルのディスプレイに **[写真]** 画面が表示されます。
2. **[表示と印刷]** をタッチします。写真が表示されます。
3. 次のいずれかの手順を実行します。
   a. **[すべて選択]** をタッチします。
   b. レイアウト、用紙の種類、または日付スタンプを変更するには **[設定]** をタッチし、**[完了]** を選択します。
   c. **[プリント]** をタッチします。プレビュー画面が表示されます。この画面には、設定を調整したり写真を追加するためのオプションが用意されています。すべての写真をプレビューするには **[右]** および **[左]** 矢印をタッチします。
   d. メモリ カードのすべての写真を印刷するには、**[プリント]** をタッチします。

- または -

a. 印刷する写真をタッチします。写真が拡大され、いくつかの編集オプションが表示されます。
   - 印刷するコピー枚数を指定するには **[上]** および **[下]** 矢印をタッチします。
   - 画面全体に表示されるように写真を拡大するには **[全画面]** アイコンをタッチします。
   - 印刷する前に、写真に対して回転、トリミング、赤目除去などの修正を行うには **[編集]** をタッチします。

b. 写真への修正が完了したら、**[完了]** をタッチします。選択した写真のプレビュー画像が表示されます。

c. 次のいずれかのオプションをタッチします。
   - 追加する写真を選択して編集するには **[さらに追加]** をタッチします。
   - レイアウトや、用紙の種類、日付スタンプなどの写真の印刷方法を変更するには **[設定]** をタッチして、**[完了]** を選択します。
   - 選択した写真を印刷するには **[印刷]** をタッチします。

DPOF フォト プリント

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。 カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

プリンタは、DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしているので、印刷する写真を再選択する必要はありません。

カメラが指定した写真を印刷するときは、プリンタの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの DPOF 設定と印刷部数が、プリンタの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。 お使いのデジタル カメラが DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

DPOF 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. メモリ デバイスをプリンターの適切なスロットに挿入します。
2. 指示にしたがって、以下のいずれかを実行します。
   - DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、**[OK]** をタッチします。
   - POF 印刷を行わない場合は、**[いいえ]** をタッチします。

特殊な用紙およびカスタムサイズの用紙の印刷

お使いのアプリケーションがカスタムサイズの用紙をサポートする場合、文書を印刷する前にアプリケーションで用紙サイズを設定しておきます。アプリケーションでサポートされていない場合は、プリンター ドライバでサイズを設定してください。カスタムサイズの用紙に正しく印刷するには、既存文書の書式変更が必要となる場合があります。

プリンタでサポートされているカスタム サイズのメディアのみ使用します。詳細については、メディア仕様を参照してください。

注記 特定の用紙 を使用すれば、1 枚の用紙の両面に印刷(「両面印刷」または「デュプレックス印刷」)できます。詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- 特殊な用紙またはカスタムサイズの用紙への印刷 (Mac OS X)

特殊な用紙またはカスタムサイズの用紙への印刷 (Mac OS X)

注記 カスタム サイズの用紙に印刷するには、プリンタに付属している HP ソフトウェアでカスタム サイズを設定しておきます。操作方法については、カスタムサイズのセットアップ (Mac OS X)を参照してください。

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。

4. **[排紙先の用紙サイズ]** の下にある **[用紙に合わせて調節]** をクリックし、カスタム サイズを選択します。
   必要に応じて他の印刷設定を選択します。**[印刷]** をクリックして印刷を開始します。
5. その他の設定を変更し、**[印刷]** をクリックして印刷を開始します。

カスタムサイズのセットアップ (Mac OS X)

1. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
2. **[対象プリンタ]** ポップアップ メニューから使用するプリンタを選択します。
3. **[用紙サイズ]** ポップアップ メニューで **[カスタム サイズの管理]** をクリックします。
4. 画面の左側の + をクリックし、**[無題]** をダブルクリックして新しいカスタム サイズ名を入力します。
5. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、余白を変更する場合は余白を設定します。
6. **[OK]** をクリックします。

フチ無し文書の印刷

フチ無し印刷を使用すると、特定のフォト メディア タイプおよび一部の標準サイズの用紙の端まで印刷することができます。

注記 用紙の種類を **[普通紙]** に設定している場合は、フチ無し文書を印刷できません。

注記 フチ無し文書を印刷する前に、ソフトウェア アプリケーションでファイルを開き、画像サイズを割り当てます。画像サイズが画像を印刷する用紙のサイズに一致していることを確認します。

注記 フチ無し印刷をサポートしていないアプリケーションもあります。

ご使用のオペレーティング システム用の説明に従ってください。

- フチ無し文書の印刷 (Windows)
- フチ無し文書の印刷 (Mac OS X）

フチ無し文書の印刷 (Windows)

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. 設定を変更するには、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、**[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. **[詳細設定]** タブをクリックします。
6. **[フチ無し印刷]** オプションで **[フチ無し印刷]** をクリックします。
7. **[用紙/品質]** タブをクリックします。**[メディア]** ドロップダウン リストで、使用する用紙の種類を選択します。
8. **[OK]** をクリックして、**[印刷]** または **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

フチ無し文書の印刷 (Mac OS X）

注記 以下の指示に従って、フチ無し印刷を有効にしてください。

Mac OS 10.6. [用紙の種類/品質] の下で、**[フチ無し印刷]** チェックボックスをオンにして、必要な場合は **[フチ無し拡張]** 設定を調整します。

1. トレイに用紙をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。

4. **[印刷方向]** の設定の下に表示されるポップアップ メニューから **[用紙の種類/品質]** をクリックして、次の設定を選択します。
   • **[用紙の種類:]** 適切な用紙の種類
   • **[品質]** : **[高画質]** または **[最大 dpi]**

   注記 [プリンタ] の横の青い三角マークをクリックして、これらのオプションにアクセスします。

5. 必要に応じて、適切な **[写真の修正]** オプションを選択します。
   • **[オフ]** : 画像に HP Real Life Technologies を適用しません。
   • **[標準]** : 自動的に画像の焦点を調整し、画像の鮮明度も適度に調整します。
6. 必要に応じて他の印刷設定を選択します。**[印刷]** をクリックして印刷を開始します。

HP ePrint

HP ePrint を使用すると、携帯電話、ネットブック、その他のモバイル デバイスに接続されている電子メールから、いつでもどこでも印刷できます。モバイル デバイス サービスとプリンターの Web サービスを使用すると、すぐ側にあるプリンターや、はるか遠方にあるプリンターに文書を印刷できます。

HP ePrint サービスを使用するには、次のコンポーネントがある必要があります。

• インターネットに接続 (Ethernet ケーブルまたはワイヤレス接続を使用して) されている HP ePrint 対応プリンター
• 電子メール機能が動作するデバイス

プリンターのコントロール パネルの指示に従って、プリンターの Web サービスを有効にし、設定します。詳細については、www.hp.com/go/ePrintCenter を参照してください。

両面印刷 (2 面印刷)

用紙の両面印刷は、両面印刷ユニットを使用して自動で行うことができます。

注記 プリンタ ドライバは、手動両面印刷をサポートしていません。両面印刷を行うには、HP 自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット) をプリンタに取り付ける必要があります。両面印刷ユニットは、HP Officejet Pro 8500A (A910) e-All-in-One series プリンタのすべてのモデルで標準装備されています。

注記 手動で両面印刷を行うには、最初に奇数番号のページを印刷し、ページを裏返して偶数番号のページを印刷します。

両面印刷を実行する (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[レイアウト]** タブの **[両面に印刷]** を選択します。
4. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. ドキュメントを印刷します。

両面印刷を実行する (Mac OS X)

注記 次の手順に従って、両面印刷を有効にして製本オプションを変更します。

Mac OS 10.5. [印刷部数と印刷ページ] の下にある **[両面印刷]** をクリックして、適切な製本タイプを選択します。

Mac OS 10.6.印刷ダイアログ ボックスで、 **[部数]** および **[丁合い]** オプションの横にある **[両面印刷]** チェック ボックスをクリックして選択します。**[両面]** オプションが使用できない場合、両面印刷アクセサリがプリンター ドライバで有効になっていることを確認します。**[レイアウト]** パネルで、製本タイプを選択します。

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。

3. **[ページ設定]** で、正しいプリンタと用紙サイズを使用していることを確認します。
4. **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
5. 両面に印刷するオプションを選択します。
6. その他の設定を変更し、**[印刷]** をクリックします。

3 スキャン

プリンターのコントロール パネルを使用して、文書、写真、その他の原稿をスキャンし、コンピューター上のフォルダーなどにそれらを送信することができます。また、プリンター付属の HP ソフトウェアや TWAIN/ WIA 準拠のプログラムを使用しても、コンピューターからこれらの原稿のスキャンを行えます。

文書をスキャンする場合、HP ソフトウェアを使用すると、文書をスキャンして、検索、コピー、貼り付け、および編集可能な形式に変換できます。

注記 スキャン機能のいくつかは、HP ソフトウェアをインストールしてはじめて利用できるようになります。

ヒント 文書のスキャンで問題が発生した場合は、スキャンの問題の解決を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

原稿のスキャン

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

注記 プリンタとコンピュータを接続し、電源をオンにしてください。

注記 HP プリンタ ソフトウェアを使用してコンピュータから原稿をスキャンする場合、プリンタに付属している HP ソフトウェアをお使いのコンピュータにインストールし、実行してからスキャンを実行してください。

注記 フチ無しの原稿をスキャンする場合は、ADF ではなくスキャナのガラス面に原稿をセットします。

コンピューターにスキャンする

プリンターのコントロール パネルから原稿をコンピューターにスキャンするには

コントロール パネルからスキャンするには、次の手順を実行します。

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **[ｽｷｬﾝ]** をタッチして、 **[コンピュータ]** を選択します。

   注記 Windowsユーザー:コンピューターが宛先一覧に表示されていない場合は、宛先コンピューターで HP ソフトウェアのスキャン機能を再起動する必要があります。

3. **[ドキュメントの種類]** をタッチして、保存するドキュメントの種類を選択します。必要に応じて、スキャン オプションを変更します。
4. **[スキャン スタート]** をタッチします。

HP プリンタ ソフトウェアから原稿をスキャンするには

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. コンピューターで HP スキャン ソフトウェアを開きます。
   - **Windows の場合**:コンピューターのデスクトップで **[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択し、HP プリンターのフォルダを選択して **[HP スキャン]** を選択します。
   - **Mac OS X**：Dock で **[HP ユーティリティ]** アイコンをクリックし、**[アプリケーション]**をクリックして、**[HP Scan 3]** をダブルクリックします。
3. スキャンを開始するには、**[スキャン]** をクリックします。

注記 詳細については、スキャン ソフトウェアに付属のオンラインヘルプを参照してください。

メモリ カードにスキャンする

プリンターのコントロール パネルから原稿をコンピューターにスキャンするには

原稿をメモリ カードにスキャンするには、次の手順を実行します。

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. メモリ カードの挿入詳細は、メモリ デバイスの挿入を参照してください。
3. **[スキャン]** をタッチしてから、**[メモリ デバイス]** を選択します。
4. **[ドキュメントの種類]** をタッチして、保存するドキュメントの種類を選択します。必要に応じて、スキャン オプションを変更します。
5. **[スキャン スタート]** をタッチします。

Web スキャン を使用してスキャンする

Webscan は、組み込み Web サーバーの機能の 1 つで、この機能を使用すると、Web ブラウザを使用してプリンタからコンピュータに写真やドキュメントをスキャンできます。この機能は、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールしていない場合もできます。

詳細は、組み込み Web サーバを参照してください。

Web スキャン を使用してスキャンするには

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、「スキャナのガラス面への原稿のセット」、スキャナのガラス面への原稿のセット、または自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. 組み込み Web サーバを開きます。詳しくは、組み込み Web サーバを参照してください。
3. **[スキャン]** タブをクリックして、左側のウィンドウで **[Web スキャン]** をクリックし、設定を変更してから **[スキャン スタート]** をクリックします。

文書の編集可能なテキストとしてのスキャン

文書をスキャンする場合、HP ソフトウェアを使用すると、文書をスキャンして、検索、コピー、貼り付け、および編集可能な形式に変換できます。これにより、レター、新聞の切り抜き、その他多くの文書を編集することができます。

ソフトウェアが文書を正常に変換できることを確認するには、次の手順を実行します。

- **スキャナー ガラスまたは ADF ウィンドウが汚れていないことを確認します。**
  プリンターが文書をスキャンするときに、スキャナー ガラスまたは ADF ウィンドウ上のしみやほこりもスキャンされ、ソフトウェアで文書を編集可能なテキストに変換できないことがあります。
- **文書が正しくセットされていることを確認します。**
  文書を ADF から編集可能なテキストとしてスキャンする場合、原稿を ADF にセットするときには、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。スキャナー ガラスからスキャンする場合は、原稿の上端をスキャナー ガラスの右下隅に合わせてセットする必要があります。文書がゆがんでいないことも確認します。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
- **文書のテキストが汚れていないことを確認します。**
  文書を編集可能なテキストに正常に変換するには、原稿が汚れておらず、高品質である必要があります。次の条件によって、ソフトウェアが文書を正常に変換できないことがあります。
  - 原稿のテキストがかすれているか、しわが寄っている。
  - テキストが小さすぎる。
  - 文書の構造が複雑すぎる。
  - テキストの文字間が狭い。ソフトウェアで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。
  - テキストの背景に色が付いている。背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。

4　HP デジタル ソリューション

プリンターには、作業を簡単かつ効率的に行うための各種デジタル ソリューションが用意されています。これらのデジタル ソリューションには、以下が含まれています。

- HP ダイレクト デジタル ファイリング (ネットワーク フォルダにスキャンおよび電子メールにスキャンを含む)
- HP デジタル ファクス (ネットワーク フォルダにファクスおよび電子メールにファクスを含む)

注記　HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

HP デジタル ソリューションについて

HP デジタル ソリューションとは、このプリンターに同梱されている、オフィスの生産性向上に役立つツールです。

HP ダイレクト デジタル ファイリング

HP ダイレクト デジタル ファイリングを使用すると、ネットワーク上の複数のユーザーが円滑で一般的なオフィス向けのスキャンと基本的で用途の広い文書管理機能を利用できます。HP ダイレクト デジタル ファイリングを使用すると、プリンターのコントロール パネルのボタンにタッチするだけで、ネットワーク上のコンピューターのフォルダーへの文書の直接スキャンや、電子メールの添付ファイルとしてのビジネス パートナーとのすばやい共有などが、すべて追加のスキャン ソフトウェアなしで行えます。

これらのスキャンされた文書は、個人やグループでアクセスできる共有ネットワーク フォルダに送信したり、1 件以上の電子メール アドレ

スに送信してすばやく共有することができます。また、スキャンの各送信先に固有のスキャン設定が行えるため、それぞれの具体的なタスクに最も適した設定を確実に使用することができます。

HP デジタル ファクス

重要なファクスが紙の中に埋もれてなくなることはもうありません。

HP デジタル ファクスを使用すると、受信したモノクロ ファクスをネットワーク上のコンピュータのフォルダに保存して、簡単に共有や保管を行ったり、電子メールでファクスを転送できるため、オフィスから離れている間、どこででも重要なファクスを受け取ることができます。

また、ファクス印刷を完全にオフにして、紙とインクを節約し、紙の消費とゴミの減量に役立てることもできます。

必要な条件

デジタル ソリューションのセットアップ前に、以下を用意してください。

すべての HP デジタル ソリューションに関して

- **ネットワーク接続**
  プリンターは、ワイヤレス接続経由で接続するか、Ethernet ケーブルを使用して接続できます。

  注記 プリンターが USB ケーブルを使用して接続されている場合、文書をコンピューターにスキャンするか、HP ソフトウェアを使用してスキャン画像を電子メールに添付します。詳細は、原稿のスキャンを参照してください。[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] を使用すると、ファクスをコンピューターに受信できます。詳細は、ファクスのコンピューターへの受信 (PC ファクス受信および Mac にファクス)を参照してください。

- **HP ソフトウェア**
  プリンターに付属している HP ソフトウェアを使用して HP デジタル ソリューションを設定するようにしてください。

  ヒント HP ソフトウェアをインストールせずに HP デジタル ソリューションを設定する場合、プリンターの組み込み Web サーバーを使用できます。

ネットワーク フォルダーにスキャン、ネットワーク フォルダーにファクスに関して

- **ネットワークに関する適切な権限**
  フォルダへの書き込みアクセス権限が必要です。
- **フォルダのあるコンピュータの名前**
  コンピュータ名検索の詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- **フォルダのネットワーク アドレス**
  Windows を実行しているコンピュータで、ネットワーク アドレスは通常、次の形式で記載されます。\\mypc\sharedfolder\
- **Windows の共有フォルダ、または SMB 共有フォルダ (Mac OS X のみ)**
  コンピュータ名検索の詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- **必要に応じて、ネットワーク用のユーザー名とパスワード**
  たとえば、Windows またはMac OS X では、ユーザー名とパスワードがネットワークへのログインに使用されます。

注記 HP ダイレクト デジタル ファイリングは、Active Directory をサポートしていません。

電子メールにスキャン、電子メールにファクスに関して

注意: HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

- 有効な電子メール アドレス
- 送信 SMTP サーバ情報
- アクティブなインターネット接続

Windows を実行しているコンピュータに電子メールにスキャン、または電子メールにファクスを設定する場合、セットアップ ウィザードが以下の電子メール アプリケーションの電子メール設定を自動的に検出します。

- Microsoft Outlook 2003–2007 (Windows XP、Windows Vista、および Windows 7)
- Outlook Express (Windows XP)
- Windows Mail (Windows Vista)

- Mozilla Thunderbird (Windows XP、Windows Vista、および Windows 7)
- Qualcomm Eudora (バージョン 7.0 以降) (Windows XP および Windows Vista)
- Netscape (バージョン 7.0) (Windows XP)

ただし、使用している電子メール アプリケーションが上記に記載されていなくても、その電子メール アプリケーションがこのセクションに記載されている要件を満たしていれば電子メールにスキャン、および電子メールにファクスを設定して使用することができます。

HP デジタル ソリューションの設定

HP デジタル ソリューションを設定するには、プリンターに付属の HP ソフトウェアを使用します。この場合、HP プリンター ソフトウェア (Windows) または HP ユーティリティ (Mac OS X) から開くことができるソフトウェア ウィザードを使用します。

ヒント プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) を使用して、HP デジタル ソリューションを設定することもできます。EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

注記 IPv6 専用ネットワーク環境でプリンターを使用している場合は、EWS を使用してデジタル ソリューションを設定する必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP ダイレクト デジタル ファイリングの設定
- HP デジタル ファクスの設定

HP ダイレクト デジタル ファイリングの設定

HP ダイレクト デジタル ファイリングを設定するには、該当する指示に従います。

注記 後でこの機能をオフにする場合にも、この手順を使用して設定を変更します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ
- 電子メールにスキャンのセットアップ

ネットワーク フォルダにスキャンのセットアップ

各プリンターに最大 10 個の宛先フォルダーを設定できます。

注記 ネットワーク フォルダにスキャンを使用するには、ネットワークに接続するコンピュータで使用するフォルダを作成して設定する必要があります。プリンターのコントロール パネルからフォルダーを作成することはできません。また、フォルダーの基本設定で読み取りと書き込みのアクセスが設定されていることを確認します。ネットワーク上のフォルダの作成とフォルダの基本設定の詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

ネットワーク フォルダーにスキャンの設定が完了すると、HP ソフトウェアによってその設定がプリンターに自動的に保存されます。

ネットワーク フォルダーにスキャンを設定するには、オペレーティング システムの次の手順を完了します。

Windows

1. HP プリンター ソフトウェアを開きます。詳細は、HP プリンタ ソフトウェア (Windows)を参照してください。
2. **[スキャナー アクション]** 、**[ネットワーク フォルダーにスキャンのウィザード]** の順にダブルクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。

注記 宛先フォルダーを作成したら、プリンターの EWS を使用して、これらのフォルダーのスキャン設定をカスタマイズすることができます。ネットワーク フォルダーにスキャンのウィザードの最後の画面で、**[終了後に組み込み Web サーバー-を起動する]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。**[完了]** をクリックすると、コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに EWS が表示されます。組み込み Web サーバーの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

Mac OS X

1. HP ユーティリティを開きます。詳細については、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. **[その他の設定]** をクリックします。コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) が開きます。
3. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[ネットワークフォルダーのセットアップ]** をクリックします。
4. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。

   注記 各宛先フォルダのスキャン設定をカスタマイズすることができます。

5. ネットワーク フォルダに関して必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダへのリンクが正しく機能することを確認します。エントリが **[ネットワーク フォルダ]** のリストに追加されます。

内蔵 Web サーバ (EWS)

1. 埋め込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[ネットワークフォルダーのセットアップ]** をクリックします。
3. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。

   注記 各宛先フォルダのスキャン設定をカスタマイズすることができます。

4. ネットワーク フォルダに関して必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダへのリンクが正しく機能することを確認します。エントリが **[ネットワーク フォルダ]** のリストに追加されます。

電子メールにスキャンのセットアップ

プリンターを使用すると、文書をスキャンして、1 つまたは複数の電子メール アドレスに添付ファイルとして送信することができます。別のスキャン ソフトウェアは必要ありません。コンピュータからファイルをスキャンして、電子メールに添付する必要はありません。

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

電子メールにスキャン機能を使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1:送信メール プロファイルを設定する

プリンターによって送信される電子メール メッセージの [差出人] 部分に表示される電子メール アドレスを設定します。送信メール プロファイルは、最大 10 個まで追加できます。コンピューターにインストールされている HP ソフトウェアを使用すると、これらのプロファイルを作成できます。

ステップ 2:電子メール アドレスを電子メールのアドレス帳に追加する

プリンターから電子メール メッセージを送信できるユーザーの一覧を管理します。最大 5 件の電子メール アドレスまたは電子メール グループ、および対応する連絡先の名前を追加できます。電子メール アドレスを追加するには、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) を使用する必要があります。

ステップ 3:その他の電子メール オプションを設定する

プリンターから送信されるすべての電子メール メッセージに含まれるデフォルトの件名と本文テキストを設定できます。これらのオプションを設定するには、プリンターの EWS を使用する必要があります。

ステップ 1:送信メール プロファイルを設定する

プリンターが使用する送信メール プロファイルを設定するには、オペレーティング システムの次の手順を完了します。

Windows

1. HP プリンター ソフトウェアを開きます。詳細は、HP プリンタ ソフトウェア (Windows)を参照してください。
2. **[スキャナー アクション]** 、**[電子メールにスキャンのウィザード]** の順にダブルクリックします。**[]**
3. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。

注記 送信メール プロファイルを設定したら、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) を使用して、さらに送信メール プロファイルの追加、電子メール アドレスの電子メールのアドレス帳への追加、およびその他の電子メール オプションの設定を行うことができます。EWS を自動的に開くには、電子メールにスキャンのウィザードの最後の画面で、**[完了時に組み込み Web サーバーを起動する]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。**[完了]** をクリックすると、コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに EWS が表示されます。組み込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

Mac OS X

1. HP ユーティリティを開きます。詳細は、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. **[その他の設定]** をクリックします。コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) が開きます。
3. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[送信メール プロファイル]** をクリックします。
4. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。
5. ネットワーク フォルダに関して必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダへのリンクが正しく機能することを確認します。エントリが **[送信メール プロファイル]** リストに追加されます。

内蔵 Web サーバ (EWS)

1. 埋め込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細は、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[送信メール プロファイル]** をクリックします。
3. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. ネットワーク フォルダに関して必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダへのリンクが正しく機能することを確認します。エントリが **[送信メール プロファイル リスト]** に追加されます。

ｽﾃｯﾌﾟ 2:電子メール アドレスを電子メールのアドレス帳に追加する

電子メール アドレスを電子メールのアドレス帳に追加するには、次の手順を実行します。

1. 埋め込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細は、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[スキャン]** タブで、**[電子メールのアドレス帳]** をクリックします。
3. **[新規作成]** をクリックして、1 つの電子メール アドレスを追加します。
   または
   [グループ] をクリックして、電子メール配信リストを作成します。

   注記 電子メール配信リストを作成する前に、電子メールのアドレス帳に少なくとも 1 つの電子メール アドレスを追加している必要があります。

4. 画面上の指示に従って操作してください。エントリが **[電子メールのアドレス帳]** に追加されます。

   注記 連絡先の名前は、プリンターのコントロール パネルと電子メール アプリケーションに表示されます。

ステップ 3:その他の電子メール オプションを設定する

その他の電子メール オプションを設定するには (プリンターから送信されるすべての電子メール メッセージに含まれるデフォルトの件名と本文テキスの設定、およびプリンターからの電子メールの送信時に使用されるスキャン設定など)、次の手順を実行します。

1. 埋め込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細は、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[スキャン]** タブで、**[電子メール オプション]** をクリックします。
3. 任意の設定を変更し、**[適用]** をクリックします。

HP デジタル ファクスの設定

HP デジタル ファクスを使用すると、プリンターはファクスを自動的に受信して、ネットワーク フォルダーに直接保存するか (ネットワー

ク フォルダーにファクス)、ファクスを電子メールの添付ファイルとして転送します (電子メールにファクス)。

注記 HP デジタル ファクスは、ネットワーク フォルダにファクスまたは電子メールにファクスを使用するように設定できます。両方を同時に使用することはできません。

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

受信したファクスは TIFF (タグ付きイメージ ファイル形式) ファイルで保存されます。

△ **注意** [HP デジタル ファクス] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。カラーファクスは、コンピュータに保存されず、印刷されます。

Windows

1. HP プリンター ソフトウェアを開きます。
2. **[ファクス アクション]**、**[デジタル ファクスのセットアップ ウィザード]** の順にダブルクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。

注記 HP デジタル ファクスを設定したら、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) を使用して、HP デジタル ファクスの設定を編集できます。EWS を自動的に開くには、デジタル ファクスのセットアップ ウィザードの最後の画面で、**[完了時に組み込み Web サーバーを起動する]** チェックボックスがオンになっていることを確認します。**[完了]** をクリックすると、コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに EWS が表示されます。組み込み Web サーバーの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

Mac OS X

1. HP ユーティリティを開きます。詳細は、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. **[その他の設定]** をクリックします。コンピューターのデフォルトの Web ブラウザーに、プリンターの組み込み Web サーバー (EWS) が開きます。

3. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[電子メール/ネットワーク フォルダーにファクス]** をクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作してください。
5. 必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダーへのリンクが正しく機能することを確認します。

内蔵 Web サーバ (EWS)

1. **[ホーム]** タブで、**[セットアップ]** ボックスの **[電子メール/ネットワーク フォルダーにファクス]** をクリックします。
2. 画面上の指示に従って操作してください。
3. 必要な情報を入力したら、**[保存とテスト]** をクリックしてネットワーク フォルダーへのリンクが正しく機能することを確認します。

HP デジタル ソリューションの使用

プリンターで使用できる HP デジタル ソリューションを使用するには、該当する指示に従います。

HP ネットワーク フォルダにスキャンの使用

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **[スキャン]** をタッチしてから、**[ネットワーク フォルダー]** をタッチします。
3. コントロール パネルのディスプレイで、使用するフォルダーに一致する名前を選択します。
4. 入力を求められた場合は、PIN を入力します。
5. スキャン設定を変更して、**[スキャン スタート]** にタッチします。

注記 ネットワーク トラフィックの状況や接続速度によっては、接続に時間がかかることがあります。

電子メールへのスキャン

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **[スキャン]**、**[電子メール]** の順にタッチします。
3. コントロール パネルのディスプレイで、使用する送信メール プロファイルに一致する名前を選択します。
4. 入力を求められた場合は、PIN を入力します。
5. [宛先] の電子メール アドレス (電子メールの受信者) を選択するか、電子メール アドレスを入力します。
6. 電子メール メッセージの [件名] を入力するか変更します。
7. スキャン設定を変更して、**[スキャン スタート]** にタッチします。

注記 ネットワーク トラフィックの状況や接続速度によっては、接続に時間がかかることがあります。

HP デジタル ファクスを使用する

HP デジタル ファクスをセットアップしたら、受信したモノクロ ファクスはデフォルトで印刷され、指定の宛先ネットワーク フォルダ、または指定の電子メール アドレスに保存されます。

- ネットワーク フォルダにファクスを使用している場合、このプロセスはバックグラウンドで行われます。HP デジタル ファクスでは、ネットワーク フォルダにファクスが保存されたことは通知されません。
- 電子メールにファクスを使用していて、新しい電子メール メッセージが受信箱に届いた場合に電子メール アプリケーションから通知を受ける設定にしている場合は、新しいファクスが届いたことを確認できます。

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

5 コピー

高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類やサイズの用紙で作成することができます。

注記 ファクスの受信時にドキュメントをコピーしていると、受信されたファクスはコピーが完了するまでプリンタのメモリに保存されます。これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ドキュメントのコピー
- コピー設定の変更

ドキュメントのコピー

プリンタのコントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

ドキュメントをコピーするには

1. 用紙がメイン トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿をスキャナのガラス面で下向きにセットするか ADF に上向きにセットします。

   注記 写真をコピーしている場合、スキャナー ガラスの端にあるアイコンに示すように、写真原稿の表を下にしてスキャナー ガラスにセットします。

3. **[コピー]** をタッチします。
4. 追加設定を変更します。詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
5. コピー ジョブを開始するには、次のいずれかをタッチします。
   - **スタート - モノクロ**:モノクロ コピー ジョブを開始します。
   - **スタート - カラー**:カラー コピー ジョブを開始します。

   注記 カラー原稿の場合は、**モノクロ** 機能を選択すると、カラー原稿のモノクロ コピーになり、**カラー** 機能を選択すると、カラー原稿のフルカラー コピーになります。

コピー設定の変更

プリンタのコントロール パネルから使用可能な次のような各種設定を使用して、コピー ジョブをカスタマイズできます。

- コピー枚数
- コピー用紙サイズ
- コピー用紙の種類
- コピー速度または品質
- 薄く/濃く設定
- さまざまな用紙サイズに合わせた原稿のリサイズ

これらの設定は 1 回のコピー ジョブで使用することも、後のジョブのためにデフォルトとして使用する設定を保存することもできます。

1 回のジョブ用のコピー設定を変更するには

1. **[コピー]** をタッチします。
2. 変更するコピー機能設定を選択します。
3. **[スタート - モノクロ]** または **[スタート - カラー]** をタッチします。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

1. **[コピー]** をタッチします。
2. コピー機能設定を変更して、**[設定]** をタッチします。
3. 下矢印▼ をタッチして、**[新しいデフォルトに設定]** を選択します。
4. **[はい、デフォルト設定を変更します]** をタッチして、**[完了]** を選択します。

6 ファクス

本プリンタを使用して、カラー ファクスなどのファクスを送受信できます。ファクスにスケジュールを設定し後で送信できるようにしたり、短縮ダイヤルを設定してよくかける電話番号にすばやく簡単にファクスを送信できます。プリンタのコントロール パネルから、送信するファクスの解像度や濃淡のコントラストなどのさまざまなファクス オプションを設定することができます。

注記 ファクスを使用する前に、ファクスを使用できるようにプリンタを正しくセットアップしていることを確認してください。初期設定時に、コントロール パネル、またはプリンタ付属の HP ソフトウェアを使用してセットアップが完了している場合もあります。コントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行することで、ファクスが正しくセットアップされていることを確認できます。ファクス テストの詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの送信
- ファクスの受信
- 短縮ダイヤルの設定
- ファクス設定の変更
- ファクスおよびデジタル電話サービス
- インターネット プロトコル経由のファクス
- レポートの使用

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。コントロール パネルから、モノクロまたはカラーのファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 標準的なファクスの送信
- コンピューターから標準的なファクスを送信する
- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

- ファクスをメモリから送信する
- 後で送信するためのファクスのスケジュール設定
- ファクスを複数の受信者に送信する
- エラー補正モードでのファクス送信

標準的なファクスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスまたはカラー ファクスをプリンタのコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能が役に立ちます。

プリンターのコントロール パネルから標準的なファクスを送信するには

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** をタッチします。
3. キーパッドを使用してファクス番号を入力します。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、ディスプレイにダッシュ記号 (**[-]**) が表示されるまで **[*]** をタッチします。
4. **スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** をタッチします。
   自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿が検出されると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

コンピューターから標準的なファクスを送信する

コピーを印刷してそれをプリンタからファクスしなくても、コンピュータ上のドキュメントをファクスとして送信できます。

注記 この方法でコンピュータから送信されたファクスは、インターネット接続またはコンピュータ モデムではなく、プリンタのファクス接続を使用します。したがって、プリンタが正常に機能している電話回線に接続されていること、ファクス機能がセットアップされ正しく動作していることを確認する必要があります。

この機能を使用するには、プリンタに同梱されている HP ソフトウェア CD に収録されているインストール プログラムを使用して、プリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。

Windows

1. コンピュータ上で、ファクスするドキュメントを開きます。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. **[名前]** リストで、名前に **[“fax”]** が付いたプリンターを選択します。
4. モノクロ ファクスまたはカラー ファクスとしてドキュメントを送信するように設定するなど、設定を変更するには、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、**[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. 設定を変更した後で、**[OK]** をクリックします。
6. **[印刷]** または **[OK]** をクリックします。
7. 受信者のファクス番号およびその他の情報を入力して、さらにファクス設定を変更してから、**[ファクスの送信]** をクリックします。プリンタはファクス番号のダイヤルとドキュメントのファクス送信を開始します。

Mac OS X

1. コンピュータ上で、ファクスするドキュメントを開きます。
2. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[印刷]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. 名前に **[“(Fax)”]** が付いたプリンタを選択します。

4. **[印刷方向]** 設定の下に表示されるポップアップ メニューから **[ファクス受信者]** を選択します。

   注記 ポップアップ メニューが表示されない場合は、**[プリンタ]** の横の青色の三角マークをクリックしてみてください。

5. 表示されたボックスでファクス番号およびその他の情報を入力して、**[受信者に追加]** をクリックします。
6. 使用する **[ファクス モード]** およびその他のファクス オプションを選択して、**[今すぐファクスを送信]** をクリックして、ファクス番号のダイヤルとドキュメントのファクス送信を開始します。

電話からのファクスの手動送信

手動ファクス送信では、電話をして、ファクスを送信する前に相手と話をすることができます。ファクスを送信する前に相手に送信することを伝えたい場合は、この方法が便利です。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクス機が応答した場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

子機からファクスを手動で送信するには

1. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** をタッチします。

3. プリンタに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

> **注記** ファクスを手動で送信する場合はプリンタのコントロール パネル上のキーパッドは使用しないでください。電話のキーパッドを使用して受信者の番号をダイヤルする必要があります。

4. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

> **注記** ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファクスを送信します。

5. ファクス送信の準備が整ったら、**スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** をタッチします。

> **注記** 画面の指示に従って、**[ファクス送信]** を選択します。

ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の **[[スタート]]** ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常の電話をダイヤルするようにプリンタのコントロール パネルから番号をダイヤルできます。ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信する際には、ダイヤルのトーン音、電話の応答メッセージ、またはその他の音がプリンタのスピーカーを通して聴こえます。これにより、ダイヤル中に応答メッセージに対応したり、ダイヤルの速度を制御することができます。

ヒント コーリング カードを使用していて PIN の入力が遅すぎると、プリンターによるファクス音の送信開始のタイミングが速すぎて、コーリング カード PIN がコーリング カード サービスによって認識されないことがあります。この場合には、コーリング カードの PIN を登録する短縮ダイヤル エントリを作成できます。詳細は、短縮ダイヤルの設定を参照してください。

注記 ダイヤル トーンを聞いて、ボリュームがオンになっていることを確認します。

プリンタのコントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** をタッチして、**スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** をタッチします。
   プリンタが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して (短縮ダイヤル) をタッチして、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

ファクスをメモリから送信する

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。この機能は、送信先のファクス番号が使用中であったり、一時的に使用できなくなっている場合に便利です。プリンタは原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機に接続可能なときにファクスを送信します。プリンターが原稿ページをメモリに読み込

んだら、ドキュメント フィーダー トレイまたはスキャナー ガラスから原稿をすぐに取り除くことができます。

注記 モノクロ ファクスを送信できるのはメモリからだけです。

メモリ内のファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** をタッチして、**[ファクス オプション]** または**[ファクス設定]** をタッチします。
3. **[スキャンとファクス]** をタッチします。
4. キーパッドでファクス番号を入力するか、 (短縮ダイヤル) をタッチして短縮ダイヤルを選択するか、または (発着信履歴) をタッチして発信ダイヤル番号や着信ダイヤル番号を選択してください。
5. **[ファクス スタート]** をタッチします。
   プリンタは原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機が受信可能なときにファクスを送信します。

後で送信するためのファクスのスケジュール設定

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。これにより、たとえば電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。プリンタが、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

注記 ファクスはモノクロのみで送信できます。

プリンタのコントロール パネルからファクスをスケジュール設定するには

1. 原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス** をタッチして、**ファクス オプション** または**[ファクス設定]** をタッチします。

3. **[後でファクスを送信]** をタッチします。
4. 数値キーパッドで送信時間を入力して、**[AM]** または **[PM]** をタッチしてから **[完了]** を選択します。
5. キーパッドでファクス番号を入力するか、 (短縮ダイヤル) をタッチして短縮ダイヤルを選択するか、または (発着信履歴) をタッチして発信ダイヤル番号や着信ダイヤル番号を選択してください。
6. **[ファクス スタート]** をタッチします。
プリンタがすべてのページをスキャンすると、ディスプレイにファクスの予定送信時間が表示されます。予定送信時間にファクスが送信されます。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. ディスプレイの **[後でファクスを送信]** メッセージをタッチします。
または
[ファクス] をタッチして、**[ファクス オプション]** または **[ファクス設定]** を選択します。
2. **[ファクスのスケジュールをキャンセル]** をタッチします。

ファクスを複数の受信者に送信する

個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤル番号にまとめることにより、1 つのファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

グループ短縮ダイヤルを使用してファクスを複数の受信者に一度に送信するには

1. 原稿をセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットまたは自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス**、 (短縮ダイヤル) の順にタッチして、ファクスするグループを選択します。
3. **[スタート - モノクロ]** をタッチします。
   プリンタは、自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、グループ短縮ダイヤルの各番号にドキュメントを送信します。

   注記 メモリ容量に制限があるため、グループ短縮ダイヤル番号はモノクロ ファクス送信にしか使用できません。プリンタはファクスをメモリに読み込んでから、最初の番号にダイヤルします。接続が確立されると、プリンタはファクスを送信し、次の番号にダイヤルします。番号が使用中であったり応答しない場合、プリンタは **[ビジーリダイヤル]** または **[応答なしリダイヤル]** の設定に従って処理します。接続が確立できない場合、次の番号にダイヤルされエラー レポートが生成されます。

エラー補正モードでのファクス送信

[エラー補正モード] (ECM) は、ファクスの転送中に発生したエラーを検出し、自動的にエラー部分の再転送を要求することで、電話回線の不良によるデータの喪失を防止します。電話回線が良好な場合は、電話料金への影響はなく、さらに電話料金を下げることもあります。電話回線が不良な場合は、ECM によって送信時間が長くなり、そのため電話料金が上がりますが、データ送信の信頼性が増します。デフォルトの設定は **[オン]** です。ECM によって電話料金が極端に上がる場合や、電話料金を下げる代わりに品質が劣化してもかまわない場合にのみ、ECM をオフにしてください。

ECM 設定をオフにする前に、以下を検討してください。ECM をオフにした場合

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- **[ファクス速度]** が自動的に **[標準]** に設定されます。
- カラー ファクスの送受信を行うことができなくなります。

コントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. [ホーム] 画面から、右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
3. 下矢印 をタッチして、**[エラー補正モード]**を選択します。
4. **[オン]**または**[オフ]**を選択します。

ファクスの受信

ファクスは自動または手動で受信できます。**[自動応答]** オプションをオフにすると、ファクスは手動で受信しなければならなくなります。**[自動応答]** オプションをオン (デフォルト設定) にすると、プリンタは **[応答呼出し回数]** 設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答してファクスを受信します(デフォルトの**[応答呼出し回数]** 設定は、5 回です)。

プリンターでリーガルサイズの用紙が設定されていないときに、リーガルサイズ以上の大きさのファクスを受信すると、プリンターにセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。**[自動縮小]** 機能がオフになっていると、プリンターはファクスを 2 ページにわたって印刷します。

注記 ファクスの受信時にドキュメントをコピーしていると、受信されたファクスはコピーが完了するまでプリンタのメモリに保存されます。これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクスの設定
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷
- ポーリングしてファクスを受信する
- 別の番号へのファクスの転送

- ファクス受信用の用紙サイズの設定
- 受信したファクスを自動縮小に設定
- 迷惑なファクス番号の拒否
- ファクスのコンピューターへの受信 (PC ファクス受信および Mac にファクス)

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。 これをファクスの手動受信と呼びます。 このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

注記 受話器を取り上げて話すか、ファクス トーンを聞くことができます。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- プリンタの 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、プリンタに直接接続されていない電話

ファクスを手動で受信するには

1. プリンタの電源が入っていることと、メイン トレイに用紙がセットされていることを確認してください。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3. プリンタが応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、**[応答呼出し回数]** を多めに設定します。または、**[自動応答]** の設定をオフにし、プリンタが自動的に受信ファクスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で **[[スタート]]** を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
    a. **ファクス** をタッチして、**スタート - モノクロ** または **スタート - カラー** を選択します。
    b. ファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、通話を続けることもできます。ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

バックアップ ファクスの設定

ユーザーのプリファレンスとセキュリティ要件に応じて、プリンタが受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

次のバックアップ ファクス モードが利用できます。

[オン]	デフォルトの設定です。**[バックアップ ファクス]** が **[オン]** の場合、プリンターは受信したファクスをすべてメモリに保存します。これにより、印刷済みのファクスがまだメモリに保存されていれば、最近印刷した最大 8 件までのファクスを再印刷できます。 **注記** プリンタのメモリ容量が不足している場合、プリンタが新しいファクスを受信したときに最も古い印刷済みファクスが上書きされます。メモリが未印刷のファクスでいっぱいになると、プリンタは着信ファクスへの応答を停止します。 **注記** きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[エラーの場合のみ]	プリンタがファクスを印刷できないようなエラーが発生した場合のみ (プリンタに用紙がセットされていない場合など)、プリンタはファクスをメモリに保存します。プリンタは、使用可能なメモリが存在する間は着信ファクスの保存を継続します (メモリがいっぱいになると、プリンタは着信ファクスへの応答を停止します)。エラー状態が解決されると、メモリ内に保存されているファクスが自動的に印刷され、メモリから削除されます。
[オフ]	ファクスはメモリに保存されません。たとえば、セキュリティのために**[バックアップ ファクス]**をオフにする場合があります。プリンタがファクスを印刷できないようなエラーが発生した場合 (プリンタに用紙がセットされていないなど)、プリンタは着信ファクスへの応答を停止します。

注記 バックアップ ファクスがオンになっていてプリンターの電源がオフになっている場合、メモリ内に保存されたファクスは、プリンターがエラー状態のときに受信した未印刷ファクスも含めてすべて削除されます。未印刷のファクスを再送信してもらうように送信者に連絡してください。受信したファクス一覧を確認するには、**[ファクス ログ]**を印刷してください。プリンタがオフになっているときには、**[ファクス ログ]** は削除されません。

プリンタのコントロール パネルから、バックアップ ファクスを設定するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
3. **[バックアップ ファクス受信]** をタッチします。
4. **[オン]**、**[エラーの場合のみ]**、または **[オフ]** をタッチします。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[バックアップ ファクス] モードを **[オン]** に設定すると、プリンターにエラーがあるかどうかに関係なく、受信したファクスはメモリに保存されます。

注記 メモリがいっぱいになると、新しく受信されたファクスによって最も古い印刷済みのファクスが上書きされます。メモリに保存されているすべてのファクスが印刷されていない場合、メモリ内のファクスを印刷するかまたはメモリからファクスを削除するまで、プリンタは着信ファクスを受信しません。また、セキュリティまたはプライバシーのためにメモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

プリンタのコントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙がメイン トレイにセットされていることを確認します。
2. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。

3. **[ツール]** または **[ファクス ツール]** をタッチし、**[メモリ内のファクスを再印刷]** を選択します。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの再印刷を中止する場合は、**[キャンセル]** をタッチします。

ポーリングしてファクスを受信する

ポーリングは、現在プリンタのキューに入っているファクスの送信を、他のファクス機に要求する機能です。**[ポーリング受信]** 機能を使用すると、プリンタは指定された他のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求することができます。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 プリンタは、ポーリング パス コードをサポートしていません。ポーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているプリンタに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。ポーリングしているプリンタでパス コードが設定されていないこと (またはデフォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パス コードが設定されている場合、プリンタはファクスを受信できません。

プリンタのコントロール パネルから、ファクスのポーリング受信を設定するには

1. **[ファクス]** をタッチして、**[ファクス設定]** または **[その他の方法]** を選択します。
2. **[ポーリング受信]** をタッチします。
3. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
4. **[ファクス スタート]** をタッチします。

別の番号へのファクスの転送

ファクスを別のファクス番号に転送するようにプリンタを設定することができます。受信したカラー ファクスはモノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

プリンタのコントロール パネルからファクスを転送するには

1. **[セットアップ]**をタッチします。
2. **[ファクス設定]** または **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
3. **[ファクスの転送]** をタッチします。
4. **[オン (印刷および転送)]** をタッチしてファクスを印刷および転送するか、**[オン (転送)]** を選択してファクスを転送します。

    注記 プリンタが指定したファクス機にファクスを転送できない場合 (指定したファクス機の電源が入っていない場合など)、プリンタはファクスを印刷します。受信したファクスのエラー レポートを印刷するようにプリンタを設定する場合、エラー レポートも印刷されます。

5. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力して、**[完了]** をタッチします。以下の各指示画面で、この操作を繰り返します。開始日、開始時間、終了日、終了時間。
6. ファクス転送がオンになります。**[Ok]** をタッチして確定します。
    ファクスの転送が設定されているときに停電になると、プリンターはファクスの転送設定と電話番号を保存します。プリンターの電源が復帰したときには、ファクスの転送設定は **[オン]** の状態のままです。

    注記 **[ファクスの転送]** メニューの **[オフ]** を選択すると、ファクスの転送をキャンセルできます。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

ファクス受信用の用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、メイントレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスの受信時にメイン トレイに間違った用紙サイズがセットされていると、ファクスは印刷されず、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。レター、A4、リーガル用紙のいずれかをセットして、**[OK]** をタッチしてファクスを印刷します。

プリンタのコントロール パネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. 右矢印▶ をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[ファクス用紙サイズ]** をタッチして、オプションを選択します。

受信したファクスを自動縮小に設定

[自動縮小] 設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合にプリンタがどう対応するかの設定です。デフォルトの設定はオンで、受信したファクスの画像が 1 ページに収まるように縮小されます。この機能をオフにすると、1 ページ目に収まらなかった情報は 2 ページ目に印刷されます。**[自動縮小]**は、リーガルサイズのファクスを受信する場合やレターサイズの用紙をメイン トレイにセットする場合に便利です。

プリンタのコントロール パネルから自動縮小を設定するには

1. 右矢印▶ をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
3. **[自動縮小]** をタッチして、**[オン]** または **[オフ]** を選択します。

迷惑なファクス番号の拒否

電話会社を介して着信識別サービスに登録すると、特定のファクス番号を拒否して、このファクス番号から着信したファクスをプリンタが印刷しないようにすることができます。着信ファクスを受信すると、プリンタは迷惑ファクス番号一覧の番号と比較して、着信ファクスを拒否するかどうかを判断します。ファクス番号が拒否ファクス番号一覧内の番号に一致する場合、そのファクスは印刷されません (拒否できるファクス番号の最大件数はモデルによって異なります)。

注記 この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。お住まいの国/地域でサポートされていない場合、**[ファクス オプション]** または **[ファクス設定]** メニューに **[迷惑ファクスを拒否]** は表示されません。

注記 発信者 ID リストに電話番号が 1 つも追加されていない場合は、発信者 ID サービス契約が電話会社との間で結ばれていないと考えられます。

- 迷惑ファクス一覧に番号を追加
- 迷惑ファクス一覧から番号を削除
- 迷惑ファクス レポートの印刷

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス リストに特定番号を追加することで、その番号をブロックできます。

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには

1. **[セットアップ]** にタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[迷惑ファクスを拒否]** をタッチします。
4. 迷惑ファクスを拒否するために着信識別が必要であることを示すメッセージが表示されます。**[OK]** をタッチして続行します。
5. **[番号の追加]** をタッチします。
6. 着信識別一覧から拒否するファクス番号を選択するには、**着信識別履歴から選択** をタッチします。
   - または -
   拒否するファクス番号を手動で入力するには、**新しい番号を入力してください** をタッチします。
7. 拒否するファクス番号を入力したら、**[完了]** をタッチします。

   注記 受信したファクスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、コントロール パネルのディスプレイに表示されるファクス番号を入力してください。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. 下矢印をタッチし、**[迷惑ファクスを拒否]** または **[迷惑ファクスの拒否設定]** を選択します。
4. **[番号の削除]** をタッチします。
5. 削除するファクス番号を選択し、**[OK]** を選択します。

迷惑ファクス レポートの印刷

次の手順で拒否する迷惑ファクス番号リストを印刷します。

迷惑ファクス レポートを印刷するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. 下矢印 をタッチして、**[迷惑ファクスを拒否]** を選択します。
4. **[レポートの印刷]** をタッチして、**[迷惑ファクス一覧]** を選択します。

ファクスのコンピューターへの受信 (PC ファクス受信および Mac にファクス)

プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続している場合、[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスを自動的に受信し、コンピューターに直接ファクスを保存できます。[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスのデジタル コピーを簡単に格納できます。また、この機能を使用することにより、分厚い紙の束を扱うわずらわしさもなくなります。

注記 プリンターを Ethernet ケーブルまたはワイヤレス接続でネットワークに接続している場合は、代わりに [HP デジタル ファクス] を使用できます。詳細は、HP デジタル ソリューションを参照してください。

受信したファクスは TIFF (タグ付きイメージ ファイル形式) で保存されます。ファクスを受信すると、ファクスを保存したフォルダへのリンクを提供する通知を画面で受け取ります。

ファイルには、次の形式で名前が付けられます。XXXX_YYYYYYYY_ZZZZZZ.tif。この場合、「X」は送信者の情報、「Y」は日付、「Z」はファクスの受信時刻です。

注記 [PC ファクス受信] および [Mac にファクス] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。カラーファクスは、コンピュータに保存されず、印刷されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件

- PC ファクス受信および Mac にファクス機能を使用可能にする管理コンピュータには、常に電源を入れておく必要があります。PC ファクス受信またはMac にファクス管理コンピュータとして動作できるコンピュータは、1 台のみです。
- 宛先フォルダーのコンピューターまたはサービスは、常に電源を入れておく必要があります。宛先コンピュータもまた動作させておく必要があります。コンピュータがスリープ モードまたはハイバネート モードの場合、ファクスは保存されません。
- 用紙は給紙トレイにセットしておきます。

[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化

Windows を実行しているコンピューターでは、デジタル ファクスのセットアップ ウィザード を使用して [PC ファクス受信] 機能を使用可

能にできます。Macintosh コンピューターでは、HP ユーティリティを使用できます。

PC ファクス受信を設定するには (Windows)

1. HP プリンター ソフトウェアを開きます。詳細は、HP プリンタ ソフトウェア (Windows)を参照してください。
2. **[ファクス アクション]**、**[デジタル ファクスのセットアップ ウィザード]** の順にダブルクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。

Mac にファクスを設定するには (Mac OS X)

1. HP ユーティリティを開きます。詳細は、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. ツールバーで **[アプリケーション]** アイコンをクリックします。
3. **[HP セットアップ アシスタント]** をダブルクリックして、画面に表示される指示に従います。

[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する

コンピューター上の [PC ファクス受信] の設定は、[デジタル ファクスのセットアップ ウィザード] からいつでも更新できます。[Mac にファクス] の設定は、HP ユーティリティから更新できます。

[PC ファクス受信]、[Mac にファクス]、およびファクス印刷機能は、プリンターのコントロール パネルからオフに設定できます。

プリンターのコントロール パネルから設定を変更するには

1. ▶ (右の矢印ボタン) をタッチし、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、**[ファクスの基本設定]** の順にタッチし、**[HP デジタルファクス]**、**[ファクス印刷]**を選択します。
   - [オン」: ファクス印刷が有効 になります。
   - [オフ]: PCファクス受信又はMacにファクスをオフにします。

注記 PC ファクス受信または Mac にファクスをオンにするには、コンピューター上の HP ソフトウェアを使用します。

- **[ファクス印刷を無効にする]**：ファクスを受信したときに印刷する場合は、このオプションを選択します。印刷をオフにしても、カラー ファクスは印刷されます。

HP ソフトウェアから設定を変更するには (Windows)

1. HP プリンター ソフトウェアを開きます。詳細は、HP プリンタ ソフトウェア (Windows)を参照してください。
2. **[ファクス アクション]** 、**[デジタル ファクスのセットアップ ウィザード]** の順にダブルクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。

HP ソフトウェアから設定を変更するには (Mac OS X)

1. HP ユーティリティを開きます。詳細は、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. ツールバーで **[アプリケーション]** アイコンをクリックします。
3. **[HP セットアップ アシスタント]** をダブルクリックして、画面に表示される指示に従います。

PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。

1. ▶ (右の矢印ボタン) をタッチし、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、**[ファクスの基本設定]** の順にタッチし、**[PC ファクス受信]** を選択します。
3. **[オフにする]** をタッチします。

短縮ダイヤルの設定

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。そうすれば、プリンターのコントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。

ヒント プリンターのコントロール パネルから短縮ダイヤル エントリを作成および管理できるだけでなく、プリンターに付属の HP ソフトウェアやプリンターの組み込み Web サーバー (EWS) など、お使いのコンピューターで利用可能なツールを使用することもできます。詳細は、プリンタ管理ツールを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

短縮ダイヤルを設定および変更する

ファクス番号を短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。

短縮ダイヤル エントリを設定するには

1. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチして、**[設定]** をタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。
3. **[短縮ダイヤルの追加/編集]** をタッチしてから、未使用のエントリ番号をタッチします。

4. ファクス番号を入力し、**[次へ]** をタッチします。

   注記 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めてください。

5. 短縮ダイアル エントリの名前を入力し、**[完了]** をタッチします。

短縮ダイヤル エントリを変更するには

1. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチして、**[設定]** をタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。
3. **[短縮ダイヤルの追加/編集]** をタッチしてから、変更する短縮ダイヤル エントリをタッチします。
4. ファクス番号を変更する場合、新しい番号を入力し、**[次へ]** をタッチします。

   注記 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めてください。

5. 短縮ダイヤル エントリの名前を変更する場合、新しい名前を入力し、**[完了]** をタッチします。

グループ短縮ダイヤルを設定および変更する

ファクス番号のグループをグループ短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。

グループ短縮ダイヤルを設定するには

注記 グループ短縮ダイヤル エントリを作成する前に、少なくとも 1 つの短縮ダイヤル エントリを作成しておく必要があります。

1. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチして、**[設定]** をタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。

3. **[グループ短縮ダイヤル]** をタッチしてから、未使用のエントリ番をタッチします。
4. グループ短縮ダイヤル エントリに含める短縮ダイヤル エントリをタッチし、**[OK]** をタッチします。
5. 短縮ダイアル エントリの名前を入力し、**[完了]** をタッチします。

グループ短縮ダイヤルを変更するには

1. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチして、**[設定]** をタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。
3. **[グループ短縮ダイヤル]** を選択し、変更するエントリをタッチします。
4. 短縮ダイヤル エントリをグループに追加または削除する場合、追加または削除する短縮ダイヤル エントリをタッチし、**[OK]** をタッチします。
5. グループ短縮ダイヤルの名前を変更する場合、新しい名前を入力し、**[完了]** をタッチします。

短縮ダイヤルを削除する

短縮ダイアル エントリまたはグループ短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順を実行します。

1. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチし、**[セットアップ]** をタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。
3. **[短縮ダイヤルを削除]** をタッチしてから、削除するエントリをタッチし、**[はい]** をタッチして確定します。

注記　グループ短縮ダイヤル エントリを削除しても、個々の短縮ダイヤル エントリは削除されません。

短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷する

設定済みのすべての短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには、次の手順を実行します。

1. トレイに用紙をセットします。詳細は、メディアのセットを参照してください。
2. プリンターのコントロール パネルで、右矢印▶をタッチして、**[設定]** をタッチします。
3. **[ファクス設定]** をタッチし、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択します。
4. **[短縮ダイヤル一覧を印刷]** をタッチします。

ファクス設定の変更

プリンタに付属の [セットアップ ガイド] の手順を実行した後、初期設定を変更したり、ファクスのその他のオプションを設定したりするには、次の手順を実行します。

- ファクスのヘッダーの設定
- 応答モード (自動応答) の設定
- 応答までの呼び出し回数の設定
- 着信識別応答呼び出し音のパターンの変更
- ダイヤル方式の設定
- リダイヤル オプションの設定
- ファクス速度の設定
- ファクス音量の設定

ファクスのヘッダーの設定

送信する各ファクスの上部のファクスのヘッダーには、送信者名とファクス番号が印刷されます。プリンタに付属している HP ソフトウェアを使用してファクスのヘッダーを設定するようにしてください。また、ここでの説明に従ってプリンタのコントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

ファクスのヘッダーを設定または変更するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[ファクスのヘッダー]** をタッチします。
4. 個人または会社名を入力し、**[完了]** をタッチします。
5. 自分のファクス番号を入力し、**[完了]** をタッチします。

応答モード (自動応答) の設定

応答モードでは、プリンタが着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- ファクスに自動応答するには、**[自動応答]** 設定をオンにします。プリンタが、すべての着信とファクスに自動で応答します。
- ファクスに手動応答するには、**[自動応答]** 設定をオフにします。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、プリンターはファクスを受信しません。

応答モードを設定するには

1. **[セットアップ]** にタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[自動応答]** をタッチして、**[オン]** または **[オフ]** を選択します。
   [自動応答]が **[オン]** になっている場合は、プリンターが自動的に応答します。**[自動応答]**が **[オフ]** である場合、着信への応答を行いません。

応答までの呼び出し回数の設定

[自動応答] 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[応答呼出し回数]設定は、特にプリンタと同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。プリンタが応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。プリンタの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、プリンタの呼び出し回数を最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、プリンタが電話回線を監視します。プリンタがファクス受信音を検出した場合、プリンタはファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **[セットアップ]** にタッチします。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[応答呼出し回数]** をタッチします。
4. 上矢印▲ または 下矢印▼ をタッチして呼び出し回数を変更します。
5. **[完了]** をタッチして設定します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線で複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。プリンタが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線にプリンタを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。プリンタは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

ヒント プリンターのコントロール パネルにある呼出し音のパターン検出機能を使用して、着信識別を設定することもできます。この機能により、プリンターは着信に基づいてこの着信の呼び出し音のパターンを認識および記録し、電話会社によってファクス受信に割り当てられた着信識別音のパターンを自動的に特定します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン **[すべての呼び出し]** を使用してください。

注記 メインの電話番号の受話器が外れている場合、プリンターはファクスを受信できません。

着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. プリンタがファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. プリンターのコントロール パネルの **[セットアップ]** をタッチします。
3. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
4. **[応答呼出し音のパターン]** をタッチします。
5. 同じ電話回線に複数の番号がある場合以外はこの設定を変更しないように警告するメッセージが表示されます。**[はい]** をタッチして続行します。
6. 次のいずれかの操作を行います。
   - 電話会社によってファクス受信に割り当てられた呼び出し音のパターンをタッチします。
     -または-
   - **[呼び出し音のパターン検出]** をタッチし、プリンターのコントロール パネルの指示に従います。

   注記 呼出し音のパターン検出機能が呼出し音のパターンを検出できなかった場合、または検出の完了前にキャンセルした場合には、自動的に **[すべての呼び出し音]** に設定されます。

   注記 内線と外線の着信用に異なる呼び出し音のパターンを持つ PBX 電話システムを使用している場合、外線番号からファクス番号を呼び出す必要があります。

ダイヤル方式の設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードに設定するには、次の手順に従います。 工場出荷時のデフォルトの設定は **[トーン]** です。 電話回線でトーン ダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

注記 パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

ダイヤル方式を設定するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. 下矢印 をタッチして、**[トーン?、パルス選択]** を選択します。
4. **[トーン回線]** または **[パルス回線]** をタッチします。

リダイヤル オプションの設定

受信側のファクス機が応答しないか、ビジー状態であるためにプリンタがファクスを送信できなかった場合、プリンタはビジー リダイヤルまたは応答なしリダイヤル オプションの設定に応じてリダイヤルします。このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順を実行します。

- **ビジー リダイヤル**:このオプションがオンの場合、プリンタはビジー信号を受け取ると自動的にリダイヤルします。このオプションの工場出荷時のデフォルト設定は、**[オン]** です。
- **応答なしリダイヤル**:このオプションがオンの場合、受信側のファクス機が応答しないとプリンタは自動的にリダイヤルします。このオプションの工場出荷時のデフォルト設定は、**[オフ]** です。

リダイヤル オプションを設定するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス詳細設定]** を選択します。
3. **[ビジー リダイヤル]** または **[応答なしリダイヤル]** をタッチし、該当するオプションを選択します。

ファクス速度の設定

ファクスの送受信時に、お使いのプリンタと他のファクス機間でのデータ通信に使用するファクス速度を設定できます。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム

- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信時に問題が発生した場合、**[ファクス速度]** をより小さい値に設定しなおしてください。次の図に、使用可能なファクス速度の設定を示します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[おそい]	v.29 (9600 ボー)

ファクス速度を設定するには

1. 右矢印▶をタッチして、**[[セットアップ]]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、**[ファクス詳細設定]** の順にタッチします。
3. **[ファクス速度]** をタッチします。
4. オプションをタッチして選択します。

ファクス音量の設定

この手順を使用してファクスの音量を調整することができます。

ファクス音のボリュームを設定するには

1. 右矢印▶ をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクスの基本設定]** を選択します。
3. **[ファクス音のボリューム]** をタッチします。
4. **[小さい]**、**[大きい]**、**[オフ]** のいずれかをタッチして選択します。

ファクスおよびデジタル電話サービス

電話会社の多くは、次のようなデジタル電話サービスをお客様に提供しています。

- DSL：電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。
- PBX：構内交換機 (PBX) システム。

- ISDN：ISDN (総合デジタル通信網) システム。
- FoIP：インターネットを使用することで、プリンターを使用してファクスの送受信ができる低コストの電話サービス。この方法は FoIP (Fax over Internet Protocol) と呼ばれています。詳細は、インターネット プロトコル経由のファクスを参照してください。

HP プリンターは、従来のアナログ電話サービス専用に設計されています。プリンターをデジタル電話環境 (DSL/ADSL、PBX、ISDN など) で使用する場合、プリンターをファクスの送受信用に設定するときに、デジタルからアナログへのフィルターまたはコンバーターを使用する必要があります。

注記 すべてのデジタル環境で、またはデジタルからアナログへのコンバーターの使用により、プリンターとすべてのデジタル サービス回線またはプロバイダーとの互換性を確保できると保証することはできません。電話会社提供の回線サービスに基づく正しい設定オプションについて、電話会社に直接お問い合わせになることをお勧めします。

インターネット プロトコル経由のファクス

インターネットを使用することで、プリンターを使用してファクスの送受信ができる低コストの電話サービスに登録することもできます。この方法は FoIP (Fax over Internet Protocol) と呼ばれています。

次の条件に当てはまる場合、(契約している電話会社が提供する) FoIP サービス を使用できます。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 ファクスの送受信は、電話コードをプリンタの製品背面のプリンタの "1-LINE" ポートに接続しているときしか行えません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

ヒント インターネット プロトコルの電話システムを介した従来のファクス送信のサポートは、多くの場合、制限されています。ファクスの使用で問題が起きたら、ファクス速度を遅くするか、ファクスのエラー補正モード (ECM) を無効にしてください。ただし、ECM をオフにすると、カラーファクスを送受信できなくなります。ファクス速度の変更の詳細については、ファクス速度の設定を参照してください。ECM の使用の詳細については、エラー補正モードでのファクス送信を参照してください。

インターネット ファクスについて質問がある場合は、インターネット ファクス サービス サポート部門、またはお近くのサービス プロバイダにお問い合わせください。

レポートの使用

ファクスを送受信するたびに、エラー レポートおよび確認レポートを自動的に印刷するようにプリンタを設定できます。また、必要に応じてシステム レポートを手動で印刷できます。これらのレポートはプリンタに関する役に立つシステム情報を提供します。

デフォルトで、プリンタは、ファクスの送受信で問題が発生した場合にのみレポートを印刷するように設定されています。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージが、ファクスの送受信のたびにコントロール パネルのディスプレイに短い時間表示されます。

注記 レポートが判読できない場合は、コントロール パネル、HP ソフトウェア (Windows)、または HP ユーティリティ (Mac OS X) で推定インク レベルを確認します。詳細は、プリンタ管理ツールを参照してください。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

注記 プリントヘッドとインク カートリッジが良好な状態で、正しく取り付けられていることを確認してください。詳細は、インク カートリッジのメンテナンスを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。 **[オン(ファクス送信)]** または **[オン(ファクス送受信)]** を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、**[オフ]** です。 つまり、ファクスが送受信されるたびに確認レポートは印刷されません。 ただし、 送受信のたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

注記 **[オン (ファクス送信)]** または **[オン (ファクス送受信)]** を選択する場合と、メモリから送信するファクスをスキャンするか **[スキャンとファクス]** オプションを使用する場合は、ファクス送信確認レポートにファクスの最初のページの画像が含まれます。

ファクス送受信の確認を有効にするには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス レポート]** を選択します。
3. **[ファクスの確認]** をタッチします。
4. 次のいずれかのオプションをタッチして選択します。

[オフ]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。
[オン(ファクス送信)]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[オン(ファクス受信)]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

[オン(送受信)]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

レポートにファクスの画像を含めるには

1. **[セットアップ]** にタッチします。
2. **[ファクス レポート]** をタッチし、**[ファクスの確認]** を選択します。
3. **[オン (ファクス送信)]** または **[オン (ファクス送受信)]** をタッチします。
4. **[画像付きでファクスを確認]** をタッチします。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するようにプリンタを設定できます。

ファクス エラー レポートを自動的に印刷するようにプリンタを設定するには

1. 右矢印▶ をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、下矢印▼の順にタッチして、**[ファクス レポート]** を選択します。
3. **[ファクス エラー レポート]** をタッチします。
4. 次のいずれかをタッチして選択します。

[オン(送受信)]	送受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[オフ]	受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[オン(ファクス送信)]	ファックス エラーが発生するたびに印刷されます。これがデフォルト設定値です。
[オン(ファクス受信)]	ファックス エラー レポートは印刷されません。

ファクス ログの印刷と表示

プリンタが送受信したファクスのログを印刷できます。

プリンタのコントロール パネルからファクス ログを印刷するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、下矢印の順にタッチして、**[ファクス レポート]** を選択します。
3. **[ファクス ログ]** をタッチします。

ファクス ログの消去

次の手順でファクス ログを消去します。

注記 ファクス ログを消去すると、メモリに保存されているすべてのファクスが削除されます。

ファクス ログを消去するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います。
   - **[ツール]** をタッチします。
     -または-
   - **[ファクス設定]** をタッチし、**[ファクス ツール]** を選択します。
3. **[ファクス ログの消去]** をタッチします。

ファクス処理レポートの印刷

ファクス処理レポートには、最近行ったファクス処理の詳細が印刷されます。レポートには、ファクス番号、ページ数、ファクスのステータスが記載されます。

ファクス処理レポートを印刷するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、下矢印の順にタッチして、**[ファクス レポート]** を選択します。
3. **[最終の処理]** をタッチします。

発信者 ID レポートの印刷

次の手順で着信識別ファクス番号リストを印刷します。

着信識別履歴を印刷するには

1. 右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。
2. **[ファクス設定]**、下矢印の順にタッチして、**[ファクス レポート]** を選択します。
3. 下矢印 をタッチして、**[着信識別レポート]** を選択します。

発着信履歴の表示

プリンター上のすべての発着信を一覧表示するには、次の手順を使用します。

注記 発着信履歴一覧は印刷できません。発着信履歴は、プリンターのコントロール パネルのディスプレイからのみ見ることができます。

発着信履歴を表示するには

1. 右矢印 をタッチして、**[ファクス]** を選択します。
2. (発着信履歴) をタッチします。

7 Web

プリンターには、革新的な Web 対応のソリューションが用意されており、インターネットへの迅速なアクセス、文書の取得、手間なく高速な文書の印刷など、すべてコンピューターを使用せずに行うことができます。さらに、Web サービス (Marketsplash by HP) を使用して、プロフェッショナルな高画質のマーケティング資料を作成し印刷することもできます。

注記 これらの Web 機能を使用するには、プリンターをインターネットに接続する必要があります (Ethernet ケーブルまたはワイヤレス接続を使用)。プリンターが USB ケーブルを使用して接続されている場合は、これらの Web 機能を使用できません。

注記 これらのソリューションに加えて、印刷ジョブをモバイル デバイスからリモートでプリンターに送信することもできます。HP ePrint と呼ばれるこのサービスを使用すると、携帯電話、ネットブック、その他のモバイル デバイスに接続されている電子メールから、いつでもどこでも印刷できます。詳細は、HP ePrintを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

HP Apps

HP Apps では、コンピューターなしで、ビジネス情報へのアクセス、保存、および印刷をすばやく簡単に行うことができます。HP Apps を使用すると、ビジネス フォーム、ニュース、アーカイブなど Web に保存されているコンテンツに、プリンターのコントロール パネルのディスプレイからすぐアクセスできます。

HP Apps を使用するには、プリンターをインターネットに接続する必要があります (Ethernet ケーブルまたはワイヤレス接続を使用)。プリンターのコントロール パネルの指示に従って、このサービスを有効にし、設定します。

定期的に新しい Apps が追加されるので、お好みの Apps をプリンターのコントロール パネルにダウンロードして使用できます。

詳細については、www.hp.com/go/ePrintCenterを参照してください。

注記 この Web サイトのシステム要件の一覧については、HP Web サイトの仕様を参照してください。

Marketsplash by HP

オンラインの HP ツールとサービスを使用して、プロフェッショナルな高画質のマーケティング資料を作成し印刷することで、ビジネスを成長させてください。Marketsplash を使用すると、次のことが可能になります。

- 素晴らしいプロフェッショナル品質のカタログ、広告、名刺などをすばやく簡単に作成できます。賞を受賞したビジネス グラフィック デザイナーが作成した数千ものカスタマイズ可能なテンプレートの中から選択できます。
- さまざまな印刷オプションを使用すると、必要なものを必要なときに間違いなく得ることができます。結果を迅速に高品質で得るには、ご使用のプリンターで印刷してください。他のオプションは、HP および当社のパートナーからオンラインで入手できます。印刷コストを最小限に抑えながら、予期したプロフェッショナル品質を達成できます。
- すべてのマーケティング資料を、整理された状態で維持し、Marketsplash アカウントですぐにアクセス可能にし、任意のコンピューターおよびプリンターのコントロール パネルのディスプレイ (選択モデル上のみ) から直接入手できます。

最初に、プリンターに付属の HP プリンター ソフトウェアで **[Marketsplash by HP]** を選択します。または、詳細について、marketsplash.com を参照してください。

注記 この Web サイトのシステム要件の一覧については、HP Web サイトの仕様を参照してください。

注記 ただし、国、地域、言語によっては一部の Marketsplash ツールやサービスを販売していない場合があります。最新の情報については、marketsplash.com にアクセスしてください。

8 インク カートリッジのメンテナンス

プリンタの印刷が常に美しく仕上がるようにするには、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。このセクションでは、インク カートリッジの扱い方のガイドライン、インク カートリッジの交換、およびプリントヘッドの調整とクリーニングについて説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

インク カートリッジとプリントヘッドの情報

印刷の品質を保つために、HP インク カートリッジの取り扱い方について、次のことに注意してください。

• このユーザー ガイドの手順はインク カートリッジを交換するための手順です。初めて装着するための手順ではありません。
• インク カートリッジを交換する必要がある場合は、新しいインク カートリッジを用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。

△ **注意** 新しいインク カートリッジを手元に用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。インク カートリッジをプリンタから取り外したまま、長時間放置しないでください。

• インク カートリッジはパッケージを未開封のまま保管し、使用するときに開封してください。
• インク カートリッジはパッケージに販売時と同じ向きで保管し、パッケージを箱から出した場合はラベルを下にして保管します。
• プリンターの電源を確実にオフにします。詳細は、プリンタの電源を切るを参照してください。
• インク カートリッジは、常温 (15～35℃) で保管してください。
• プリンターによるプロンプトで求められるまで、カートリッジを交換する必要はありません。

- 印刷品質の著しい低下は、プリントヘッドが詰まっていることによる可能性があります。このようなときは、プリントヘッドをクリーニングしてみます。プリントヘッドのクリーニングには少量のインクが使用されます。
- プリントヘッドのクリーニングを不必要に行わないでください。インクの無駄になり、カートリッジの寿命を縮めます。
- インク カートリッジは注意深く取り扱ってください。装着するときに、落としたり振ったり乱暴に取り扱うと、印刷が不調になることがあります。
- プリンターを運搬する場合は次の項目に従い、プリンターからインクが漏れたり、プリンターに何らかの損傷が生じたりしないようにします。
  ◦ (電源) ボタンを押して確実に電源をオフにします。プリントヘッド部はプリンター右側のサービス ステーションで停止しているはずです。詳細については、プリンタの電源を切るを参照してください。
  ◦ インク カートリッジとプリントヘッドは装着されたままにしておきます。
  ◦ 運搬中は必ずプリンターを平らなところに置くようにします。プリンターの側面、背面、前面、上面を下に向けて置かないでください。

関連トピック

- 推定インクレベルの確認
- プリントヘッドをクリーニングするには

推定インクレベルの確認

プリンター ソフトウェアまたは組み込み Web サーバーを使用して推定インク残量を確認できます。これらのツールの使用方法については、プリンタ管理ツールを参照してください。プリンター ステータスページを印刷してもこの情報を確認することができます(自己診断テスト ページの理解を参照)。

注記 インクレベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷に遅れが生じないように印刷プリント カートリッジを交換してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

注記 再充填または再生されたプリント カートリッジや、別のプリンターで使用されていたプリント カートリッジを取り付けた場合、インク残量インジケーターが不正確であったり、表示されない場合があります。

注記 カートリッジ内のインクは、印刷処理のさまざまな場面で消費されます。初期化処理で、プリンタとカートリッジの印刷準備を行う際や、プリントヘッドのクリーニングで、プリント ノズルをクリーニングしてインクの流れをスムーズにする際にも消費されます。また、使用済みカートリッジ内には微量のインクが残っています。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

インク カートリッジの交換

注記 使用済みインク サプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

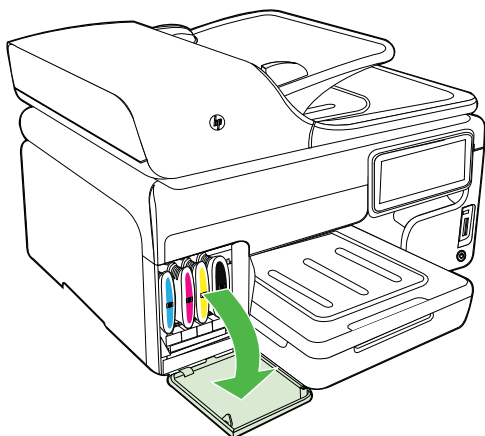
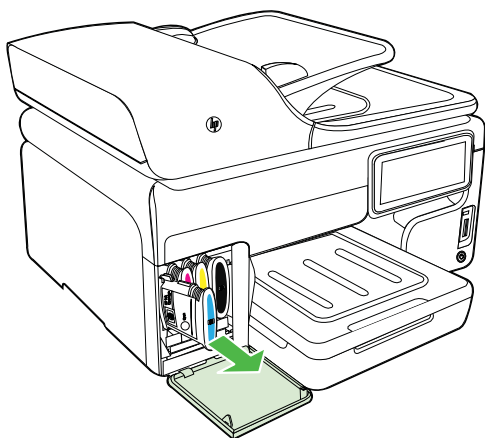
プリンターの交換用インク カートリッジを用意していない場合は、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部は英語版のみです。

△ **注意** 新しいインク カートリッジを手元に用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。インク カートリッジをプリンターから取り外したまま、長時間放置しないでください。プリンターとインク カートリッジの両方が損傷する恐れがあります。

インク カートリッジを交換するには

インク カートリッジを交換するには、次の手順を実行します。

1. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。

2. 交換の必要なインク カートリッジを持って手前に引き、取り外します。

3. パッケージから新しいインク カートリッジを取り出します。
4. カートリッジをカラーコードされたスロットに揃え、カートリッジをスロットに挿入します。 正しく接するようにカートリッジをしっかりと押し下げます。
5. インク カートリッジ カバーを閉じます。

印刷サプライ品の保管

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジの保管
- プリントヘッドの保管

インク カートリッジの保管

インク カートリッジは、プリンタ内に長期間置いておくことができます。インク カートリッジを取り外す場合は、ジッパー付きのビニール袋など、気密性の容器に保管してください。

プリントヘッドの保管

プリントヘッドは、プリンタ内に長期間置いておくことができます。ただし、プリントヘッドの最適な状態を確保するには、プリンタの電源を必ず正しく切ってください。詳細については、プリンタの電源を切るを参照してください。

9 問題の解決法

問題の解決法では、一般的な問題の解決法を提案しています。お使いのプリンタが正しく動作しないときに、ここに記載された提案にしたがっても問題が解決できなかった場合は、次のサポート サービスのいずれかを問題の解決にお役立てください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

HP サポート

問題がある場合は、次の手順を実行します

1. プリンタ付属のマニュアルを確認します。
2. www.hp.com/support の HP オンライン サポート Web サイトにアクセスします。 HP オンライン サポートは、HP カスタマーのどなたでもご利用いただけます。最新のプリンタ情報を最も早く入手でき、専門家による支援を受けることができ

ます。HP オンライン サポートでは次の機能を提供しています。

- 認定オンライン サポート スペシャリストへの迅速なアクセス
- HP プリンタの HP ソフトウェアおよびドライバのアップデート
- 一般的な問題に対する貴重なトラブルシューティング情報
- プリンタを登録すると利用できる予防的なプリンタの更新、サポート警告、および HP ニュース

詳細については、電子サポートの取得を参照してください。

3. HP サポートにお電話ください。ご利用いただけるサポートオプションは、プリンタ、国/地域、および言語によって異なります。詳細については、HP 社の電話によるサポートを参照してください。

電子サポートの取得

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を電子メールで HP に送信する。
- オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
- HP ソフトウェアのアップデートを確認する。

HP ソフトウェア (Windows または Mac OS X) からも、一般的な印刷に関する問題の簡単なステップ バイ ステップの解決法を入手できます。詳細は、プリンタ管理ツールを参照してください。

ご利用いただけるサポートオプションは、プリンタ、国/地域、および言語によって異なります。

HP 社の電話によるサポート

掲載されている電話サポート番号と費用は、この資料の発行時のもので、固定電話での電話に対してのみ適用されます。携帯電話の場合は、別料金が適用されます。

HP の電話サポート番号の最新リストと電話料金の情報については、www.hp.com/support を参照してください。

保証期間中は、HP カスタマ ケア センタから無料でサポートを受けることができます。

注記 HP では、Linux での印刷に関する電話サポートは提供していません。すべてのサポートは下記 Web サイトでオンラインで提供されます。https://launchpad.net/hplip。サポート プロセスを開始するには、**[質問する]** ボタンをクリックします。

HPLIP Web サイトは、Windows または Mac OS X に対するサポートは提供していません。これらのオペレーティング システムを使用している場合は、www.hp.com/support を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話をかける前の用意
- 電話サポート期間
- 電話サポート番号
- 電話無料サポート期間後

電話をかける前の用意

コンピュータおよびプリンタの前に立っている時に HP サポートまでご連絡ください。以下の情報をご用意ください。

- モデル番号(詳細については、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください)
- シリアル番号 (プリンタの背面または底部に記載)
- 問題が起こった際に表示されたメッセージ
- 次の質問に対する答え
  - この問題が以前にも起こったことがありますか？
  - 問題をもう1度再現できますか？
  - この問題が起こった頃に、お使いのコンピュータに新しいハードウェア、またはソフトウェアを追加しましたか？
  - この状況になる前に他に何か起こりましたか (落雷、プリンターを移動したなど)?

電話サポート期間

北米、アジア太平洋、および南米 (メキシコを含む) で 1 年間の電話サポートが受けられます。

電話サポート番号

多くの場所で、HP は保証期間中に無料の電話サポートを提供しています。ただし、サポート番号によっては料金がかかる場合があります。

電話サポート番号の最新リストについては、www.hp.com/support を参照してください。

www.hp.com/support

Africa (English speaking)	+27 11 2345872
Afrique (francophone)	+33 1 4993 9230
021 672 280	الجزائر
Algérie	021 67 22 80
Argentina (Buenos Aires)	54-11-4708-1600
Argentina	0-800-555-5000
Australia	1300 721 147
Australia (out-of-warranty)	1902 910 910
Österreich	+43 0820 87 4417 doppelter Ortstarif
17212049	البحرين
België	+32 078 600 019 Peak Hours: 0,055 € p/m Low Hours: 0,27 € p/m
Belgique	+32 078 600 020 Peak Hours: 0,055 €/m Low Hours: 0,27 €/m
Brasil (Sao Paulo)	55-11-4004-7751
Brasil	0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/la/soporte
Chile	800-360-999
中国	1068687980
中国	800-810-3888
Colombia (Bogotá)	571-606-9191
Colombia	01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222 1.53 CZN/min
Danmark	+45 70 202 845 Opkald: 0,145 (kr. pr. min.) Pr. min. man-lør 08.00-19.30: 0,25 Pr. min. øvrige tidspunkter: 0,125
Ecuador (Andinatel)	1-999-119 ☏ 800-711-2884
Ecuador (Pacifitel)	1-800-225-528 ☏ 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	+34 902 010 059 0.94 € p/m
France	+33 0969 320 435
Deutschland	+49 01805 652 180 0,14 €/Min aus dem deutschen Festnetz - bei Anrufen aus Mobilfunknetzen können andere Preise gelten
Ελλάδα	801-11-75400
Κύπρος	+800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
India	1-800-425-7737
India	91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	+353 1890 923 902 Calls cost Cost 5.1 cent peak / 1.3 cent off-peak per minute
Italia	+39 848 800 871 costo telefonico locale
Jamaica	1-800-711-2884
日本	0570-000511

日本	03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg (Français)	+352 900 40 006 0.15 €/min
Luxemburg (Deutsch)	+352 900 40 007 0.15 €/Min
Madagascar	262 262 51 21 21
Magyarország	06 40 200 629 7,2 HUF/perc vezetékes telefonra
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	262 262 210 404
México (Ciudad de México)	55-5258-9922
México	01-800-472-68368
Maroc	0801 005 010
Nederland	+31 0900 2020 165 0.10 €/Min
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	+47 815 62 070 starter på 0,59 Kr per min., deretter 0,39 Kr per min. Fra mobiltelefon gjelder mobiltelefontakster.
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	2 867 3551
Polska	(22) 583 43 73 Koszt połączenia:- z tel. stacjonarnego jak za 1 impuls wg taryfy operatora,- z tel. komórkowego wg taryfy operatora.
Portugal	+351 808 201 492 Custo: 8 cêntimos no primeiro minuto e 3 cêntimos restantes minutos
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390 (021 204 7090)
Россия (Москва)	495 777 3284
Россия (Санкт-Петербург)	812 332 4240
800 897 1415	السعوبية
Singapore	+65 6272 5300
Slovenská republika	0850 111 256
South Africa (RSA)	0860 104 771
Suomi	+358 0 203 66 767
Sverige	+46 077 120 4765 0,23 kr/min
Switzerland	+41 0848 672 672 0,08 CHF/min.
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Tunisie	23 926 000
Türkiye (İstanbul, Ankara, İzmir & Bursa)	0(212) 444 0307 Yerel numara: 444 0307
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	0844 369 0369 0.50 £ p/m
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas)	58-212-278-8666
Venezuela	0-800-474-68368
Viêt Nam	+84 88234530

電話無料サポート期間後

電話サポート期間後も、追加料金で HP のヘルプをご利用いただけます。 Web サイトの HP オンライン サポートもご利用いただけます。 www.hp.com/supportサポート オプションの詳細については、お近くの HP 取扱店にお問い合せいただくか、お住まいの国/地域のサポートサービスの電話番号までご連絡ください。

一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース

注記 以下の手順のほとんどで HP ソフトウェアが必要です。HP ソフトウェアをインストールしていない場合、プリンタに付属している HP ソフトウェア CD を使用してこのソフトウェアをインストールするか、HP サポート Web サイト (www.hp.com/support) から HP ソフトウェアをダウンロードしてください。

印刷問題のトラブルシューティングを開始する場合は、以下の操作を試してみてください。

- 用紙詰まりは、メディア詰まりの除去を参照してください。
- 用紙が曲がったり持ち上がってしまうなどの給紙の問題は、給紙の問題の解決 を参照してください。
- 電源ランプが点灯していて、点滅していないことを確認します。プリンタ本体に初めて電源を入れた場合、インク カートリッジへの取り付け後、初期化に約 12 分間かかります。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、プリンタにしっかりと接続されている。正しく機能している交流 (AC) 電源にプリンタ本体がしっかりと接続されていることを確認します。電圧の要件については、電気仕様を参照してください。
- 用紙が給紙トレイに正しくセットされていて、紙詰まりがないことを確認します。
- 梱包テープと梱包材が取り外してある。
- プリンタがデフォルト プリンタに設定されていることを確認します。Windows の場合、[プリンタ]フォルダでデフォルトに設定します。Mac OS X の場合、[システム環境設定] の [プリントとファクス] セクションでデフォルトに設定します。詳細については、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。

- Windows 起動中のコンピュータで **[印刷の一時停止]** が選択されていない。
- タスクの実行中に、実行しているプログラム数が多すぎない。 タスクを再試行する前に、使っていないプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します。

印刷上の問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリンタの電源が突然切れる
- 調整に失敗
- プリンタが応答しない (何も印刷されない)
- 印刷に長時間かかる
- 空白ページまたはページの一部だけが印刷される
- ページの一部が印刷されない、または正しくない
- テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

プリンタの電源が突然切れる

電源と電源接続の確認

正しく機能している交流 (AC) 電源にプリンタ本体がしっかりと接続されていることを確認します。電圧の要件については、電気仕様を参照してください。

調整に失敗

調整プロセスに失敗した場合は、給紙トレイに未使用の普通紙がセットされていることを確認してください。インク カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。

引き続き調整に失敗する場合は、センサーかインク カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートに連絡します。www.hp.com/support にアクセスしてください。情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

プリンタが応答しない (何も印刷されない)

印刷キューで印刷ジョブがつかえています

印刷キューを開き、すべてのドキュメントを取り消して、コンピュータを再起動します。 コンピュータが再起動したら、印刷を実行してみます。 詳細については、オペレーティング システムのヘルプを参照してください。

プリンタ設定を確認する

詳細については、一般的なトラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。

HP ソフトウェアのインストールの確認

印刷中にプリンタをオフにすると、警告メッセージがコンピュータの画面に表示されます。表示されない場合は、プリンタ付属の HP ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。これを解決するには、HP ソフトウェアを完全にアンインストールした後、再インストールします。詳細については、HP ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ケーブル接続の確認

- USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。
- プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下を確認します：
  - プリンタ後部のリンク ランプを確認します。
  - プリンタの接続に電話線を使っていないことを確認します。

コンピュータにパーソナル ファイアウォール ソフトウェアがインストールされているかどうかの確認

パーソナル ソフトウェア ファイアウォールはセキュリティ プログラムで、コンピュータを侵入から保護します。ただし、ファイアウォールはコンピュータとプリンタの通信を妨げることがあります。プリンタとの通信に問題が生じた場合は、ファイアウォールを一時的に無効にします。問題が解決しない場合は、ファイアウォールは通信問題の原因ではありません。ファイアウォールを再度有効にします。

印刷に長時間かかる

システム構成とリソースを確認してください

コンピュータがプリンタの最小システム要件を満たしていることを確認します。詳細については、システム要件を参照してください。

HP ソフトウェアの設定の確認

高品質設定を選択すると印刷速度が遅くなります。印刷速度を上げるには、プリンター ドライバで別の印刷設定を選択します。詳細については、印刷を参照してください。

空白ページまたはページの一部だけが印刷される

プリント ヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。プリンタの電源を誤った方法でオフにした場合、プリントヘッドのクリーニングが必要となる場合があります。

注記 プリンタの電源を正しくオフにしないと、空白ページまたは部分ページのような印刷品質問題が発生する可能性があります。プリントヘッドのクリーニングによって、これらの問題を解消できますが、プリンタの電源を正しくオフにすれば、問題を最初に回避することができます。プリンタの電源をオフにするには、必ずプリンタの **[電源]** ボタンを押します。**[電源]** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜くかテーブル タップをオフにしてください。

メディア設定を確認します

- トレイにセットされたメディアに対して正しい印刷品質がプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。
- プリンタ ドライバで選択したページ設定と トレイにセットされている用紙サイズが一致していることを確認してください。

用紙が複数枚給紙される

給紙の問題の詳細については、給紙の問題の解決を参照してください。

ファイルに空白ページがある

ファイルをチェックして空白ページがないことを確認してください。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

印刷品質ページの確認

印刷品質ページを印刷して、印刷出力の品質を改善するためにメンテナンス ツールを実行する必要があるかどうかを判断できます。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。

余白設定の確認

原稿の余白設定値は、プリンタの印刷可能領域を超えないようにしてください。詳細については、最小余白の設定を参照してください。

カラー印刷設定を確認します

[グレースケールで印刷する] がプリンター ドライバで選択されていないか確認します。

プリンタ本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルによって生成されたものなど) によってプリントアウトが若干歪む場合があります。プリンタは電磁界の発生源から離してください。また、3 メートル (9.8 フィート) 未満の長さの USB ケーブルを使用して、高電磁波領域の影響を最小限に抑えることをお勧めします。

テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

メディアがセットされている方法を確認します

メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、トレイにセットされたメディアが多すぎないことを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

メディア サイズを確認します

- 文書サイズが使用中のメディアより大きい場合、ページがはみ出すことがあります。
- プリンタ ドライバで選択したメディア サイズとトレイにセットされているメディアのサイズが一致していることを確認してください。

余白設定の確認

ページの端からテキストまたはグラフィックスがはみ出す場合は、文書のマージン設定が、プリンタの印刷可能領域以内であることを確認します。詳細については、最小余白の設定を参照してください。

印刷の向きの設定を確認します

アプリケーションで選択したメディアのサイズおよびページの方向がプリンタ ドライバでの設定と一致していることを確認します。 詳細については、印刷を参照してください。

プリンタ本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルによって生成されたものなど) によってプリントアウトが若干歪む場合があります。プリンタは電磁界の発生源から離してください。また、3 メートル (9.8 フィート) 未満の長さの USB ケーブルを使用して、高電磁波領域の影響を最小限に抑えることをお勧めします。

前述の解決策でも問題が解決しない場合、アプリケーションが印刷設定を正しく解釈できないことにより問題が生じている場合があります。特定のヘルプについては、リリース ノートで既知のソフトウェアの競合がないかを確認するか、アプリケーションのマニュアルを参照するか、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

印刷品質の問題の解決

- 一般的な印刷品質のトラブルシューティング
- 無意味な文字が印刷される
- インクがにじむ
- テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る
- 印字が薄いか色が鮮やかでない
- カラーが白黒で印刷される
- 間違った色で印刷される
- 印刷結果のカラーがにじむ
- フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある
- 色が正しい位置に印刷されない
- テキストまたはグラフィックスにインクの筋が出ている
- ページの一部が印刷されない、または正しくない
- プリントヘッドのメンテナンス

一般的な印刷品質のトラブルシューティング

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

注記 HP は詰め替え、再生、または他社製のインク カートリッジの品質を保証できません。

用紙品質の確認

メディアが HP 仕様を満たしていることを確認し、再度印刷してみます。詳細については、メディア仕様を参照してください。

プリンタにセットされているメディアのタイプの確認

- セットしたメディアのタイプがトレイにサポートされていることを確認します。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
- プリンター ドライバで、使用するメディアを含むトレイを選択していることを確認します。

プリンタ本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。別の USB ケーブルを接続して、その USB ケーブルに不具合があるのかを確認することもできます。

無意味な文字が印刷される

印刷中のジョブが中断されると、プリンタがジョブの残りを認識しない場合があります。

その場合は、印刷ジョブをキャンセルして、印刷できる状態になるまで待ちます。プリンタがレディー状態に戻らない場合は、プリンタ ド

ライバのすべてのジョブをキャンセルし、プリンタの電源をオフにしてからオンに戻して文書を印刷します。

ケーブル接続の確認

プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合、ケーブル接続が不良なために問題が生じることがあります。

ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。問題が解決しない場合はプリンタの電源を切り、プリンタからケーブルを外してからプリンタの電源を入れ、プリンタ スプーラから残りのジョブを削除します。電源ランプが点滅せずにオンになったら、ケーブルを再度接続します。

文書ファイルの確認

文書ファイルが損傷していることがあります。 同じアプリケーションから他の文書を印刷できる場合は、文書のバックアップ コピーを使用して印刷してください (バックアップされている場合)。

インクがにじむ

印刷設定の確認

- インク量を多く使用する文書を印刷している場合、プリント結果を扱う前に十分乾燥させてください。OHP フィルムの場合は特に注意してください。プリンタ ドライバで **[高画質]** 印刷品質を選択し、インクの乾燥時間を増やして、詳細設定 (Windows) またはインク機能 (Mac OS X) のインク量を使用してインクの彩度を減らします。ただし、インク彩度を減らすとプリント結果が洗い流されたような品質になる場合があります。
- リッチでブレンドされたカラーのあるカラー文書は、**[高画質]** 印刷結果を使用して印刷した場合にシワがよる場合があります。 **[きれい]** などの別の印刷モードを使用してみるか、または鮮やかなカラーのある文書印刷用にデザインされた HP プレミアム用紙を使用してみます。詳細については、印刷を参照してください。

メディア タイプの確認

- メディアの種類によっては、インクをうまく受け入れないものがあります。このような種類のメディアでは、インクが乾くのに時間がかかり、インクがにじむ場合があります。詳細については、メディア仕様を参照してください。
- トレイにセットされている用紙と、プリンタ ドライバで選択されている用紙の種類が一致していることを確認します。

テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る

メディア タイプの確認

用紙の種類によっては、プリンタでの使用に適していない場合があります。詳細については、メディア仕様を参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

印字が薄いか色が鮮やかでない

印刷モードの確認

プリンタ ドライバの **[ドラフト]** モードまたは **[高速]** モードでは、すばやく印刷でき、ドラフトの印刷に適しています。 よりよい結果を得るには、**[きれい]** または **[高画質]** を選択します。詳細については、印刷を参照してください。

用紙タイプ設定の確認

OHP フィルムまたは他の特殊なメディア タイプで印刷する場合は、プリンタ ドライバで対応するメディア タイプを選択してください。詳細については、特殊な用紙およびカスタムサイズの用紙の印刷を参照してください。

カラーが白黒で印刷される

印刷設定の確認

[グレースケールで印刷する] がプリンタ ドライバで選択されていないか確認します。プリンタ付属の HP ソフトウェアを開いて、**[詳細設**

定] タブをクリックして、**[グレースケールで印刷]** ドロップダウン メニューから **[オフ]** を選択します。

間違った色で印刷される

印刷設定の確認

[グレースケールで印刷する] がプリンタ ドライバで選択されていないか確認します。プリンタ付属の HP ソフトウェアを開いて、**[詳細設定]** タブをクリックして、**[グレースケールで印刷]** ドロップダウン メニューから **[オフ]** を選択します。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

プリント カートリッジを確認します。

HP は詰め替え、再生、または他社製のインク カートリッジの品質を保証できません。

印刷結果のカラーがにじむ

インク カートリッジの確認

HP 純正インクを使用していることを確認します。HP は詰め替え、再生、または他社製のインク カートリッジの品質を保証できません。注文の詳細については、サプライ品を参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある

用紙の種類を確認する

HP 用紙またはプリンタに適したその他の用紙の使用をお勧めします。印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。フォト用紙は、元の

袋に戻し、その上からさらにジッパー付きのビニール袋に入れてください。また温度が低い平らな場所で保管してください。印刷準備ができたら、すぐに使用する用紙だけを取り出してください。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙は元の袋に戻して、もう一度封をしてください。フォト用紙がカールするのを防げます。詳細については、メディア仕様を参照してください。

設定品質を高くする

印刷品質設定が低すぎないか確認してください。**高画質** や **最大 dpi** などの高画質設定で画像を印刷します。

イメージを回転する

- それでも問題が解決しない場合は、プリンタ付属の HP ソフトウェアまたは別のソフトウェア アプリケーションを使って、画像の水色、灰色、または茶色の色調がページの下部分に印刷されないように、画像を180 度回転させてください。均一な明るい色の部分で問題が目立ちやすいため、画像の回転が役立つ可能性があります。
- プリントヘッドに問題がある可能性があります。プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。

色が正しい位置に印刷されない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

画像の配置の確認

ソフトウェア アプリケーションのズーム機能または印刷プレビュー機能を使用して、グラフィックスが配置されている間隔を確認してください。

テキストまたはグラフィックスにインクの筋が出ている

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

余白設定の確認

原稿の余白設定値は、プリンタの印刷可能領域を超えないようにしてください。詳細については、最小余白の設定を参照してください。

カラー印刷設定を確認します

[グレースケールで印刷する] がプリンター ドライバで選択されていないか確認します。

プリントヘッドのメンテナンス

印刷された文字が完全でないときや、プリント結果にインクの筋が見られる場合、インク ノズルが詰まっているか、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

プリント結果の品質が低下した場合は、これらの手順を実行します。

1. プリントヘッドの状態を確認します。 詳細については、プリントヘッドの状態を確認するにはを参照してください。
2. きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。 問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。 詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。
3. プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
4. クリーニングを行っても問題が解決しない場合は、プリントヘッドを交換します。 詳細については、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

このセクションでは、次のプリントヘッドのメンテナンス作業について説明します。

- プリントヘッドの状態を確認するには
- 印刷品質診断ページを印刷するには
- プリントヘッドの位置を調整するには
- ライン フィード キャリブレーションを行うには

- プリントヘッドをクリーニングするには
- プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには
- プリントヘッドを交換するには

プリントヘッドの状態を確認するには

以下のいずれかの方法を使用して、プリントヘッドの状態を確認します。プリントヘッドのどれかの状態が [交換] になっている場合は、メンテナンス機能のいずれかを実行するか、プリントヘッドをクリーニングまたは交換します。

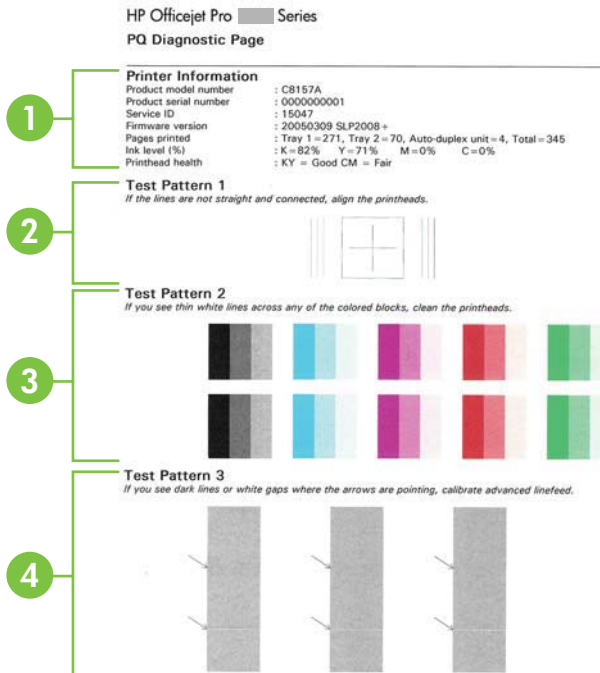
- **自己診断テスト レポート**： きれいな白い用紙に自己診断テスト レポートを印刷し、プリントヘッドの状態セクションを確認します。詳細は、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
- **組み込み Web サーバ**： 組み込み Web サーバを開きます。 詳細については、組み込み Web サーバを開くにはを参照してください。**[情報]** タブをクリックし、左枠の **[インク サプライ品]** をクリックします。
- **HP ソフトウェア (Windows):** プリンタに添付された HP ソフトウェアを開きます。詳細については、HP ソフトウェアを開くを参照してください。**[情報]** タブをクリックし、**[プリントヘッド状態]** をクリックします。

印刷品質診断ページを印刷するには

印刷品質診断ページを使用して、製品の印刷品質に影響を与える問題を診断します。これにより、印刷出力を改善するためにメンテナンスツールを実行する必要があるかどうかを判断できます。診断ページには、インク量情報やプリントヘッドの状態も表示されます。

注記 印刷品質診断ページを印刷する前に、用紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

- **コントロール パネル：** 右矢印▶**[レポート]** をタッチして、**[印刷品質ページ]** を選択します。
- **組み込み Web サーバ：[設定]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[PQ (印刷品質) 診断ページを印刷する]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **HP ソフトウェア (Windows):** プリンタに添付された HP ソフトウェアを開きます。**[デバイス サービス]** タブをクリックしてから、**[印刷品質診断ページの印刷]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP ユーティリティ (Mac OS X):** Dock で **[HP ユーティリティ]** アイコンをクリックし、**[印刷品質診断]** をクリックします。

1	**プリンタ情報：** プリンタ情報 (プリンタ モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、トレイと両面

(続き)

	印刷ユニットから印刷されたページ数、インク量情報やプリントヘッドの状態が表示されます。 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。
2	**テスト パターン 1**： 線が直線でなかったりつながっていない場合は、プリントヘッドの位置調整を行います。 詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。
3	**テスト パターン 2**： 色のついたブロックのどれかに細い白線がある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。 **注記** 色のついたブロックのすべてに細い白線があり、細い白線がテスト パターン 3 の灰色のブロックを横切る場合は、プリントヘッドのクリーニングを行わないでください。代わりに、ライン フィード キャリブレーションを行います。詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。
4	**テスト パターン 3**： 矢印の向いている箇所に濃い線や白のギャップがある場合は、ライン フィード キャリブレーションを行います。 詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。

プリントヘッドの位置を調整するには

プリントヘッドの交換後はいつでも、最高のプリント品質を得るためにプリントヘッドの位置調整が行われます。ただし、印刷品質診断ページのテスト パターン 1 の線が直線でなくて、つながっていない場合は、プリントヘッドを手動で位置調整できます。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。

注記 プリントヘッドの位置調整をする前に、普通紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

- **コントロール パネル**： 右矢印▶、**[セットアップ]**、**[ツール]** の順にタッチして、**[プリンタの調整]** をタッチします。
- **組み込み Web サーバ**：**[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリンタの調整]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **HP ソフトウェア (Windows):** プリンタに添付された HP ソフトウェアを開きます。**[プリンタ アクション]**、**[メンテナンス タスク]**、**[プリントヘッドの調整]** の順にクリックします。
- **HP ユーティリティ (Mac OS X):** Dock で **[HP ユーティリティ]** アイコンをクリックし、**[位置調整]** をクリックします。

ライン フィード キャリブレーションを行うには

印刷品質診断ページのテスト パターン 3 で白いすき間または黒線が見える場合、ライン フィード キャリブレーションを行う必要があります。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。

- **コントロール パネル**： 右矢印▶にタッチし、**[ツール]** を選択し、**[ライン フィード キャリブレーション]** を選択します。
- **組み込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックし、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[行送りの調整]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **HP ソフトウェア (Windows):** プリンタに添付された HP ソフトウェアを開きます。**[デバイス サービス]** タブ、**[ライン フィード キャリブレーション]** の順にクリックし、画面の指示に従います。
- **HP ユーティリティ (Mac OS X):** Dock で **[HP ユーティリティ]** アイコンをクリックし、**[行送りの調整]** をクリックします。

プリントヘッドをクリーニングするには

プリントヘッドでクリーニングが必要になるかどうかを確認するには、印刷品質診断ページを印刷します。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。

注記 クリーニングにはインクが使用されるため、プリントヘッドのクリーニングは必要な場合しか行わないでください。

クリーニングには数分かかります。処理中に雑音が発生することがあります。

プリントヘッドをクリーニングする前に、用紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

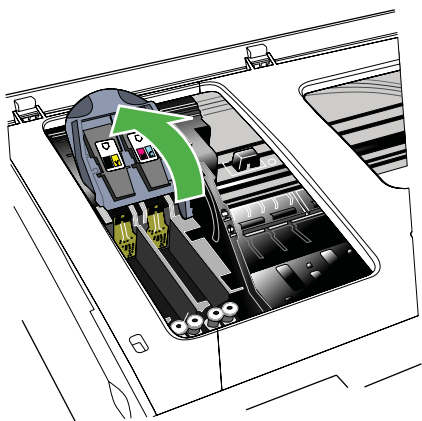
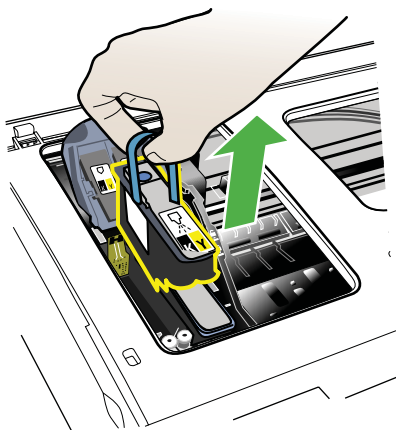
- **コントロールパネル**：**[セットアップ]**を押し、**[ツール]**、**[プリントヘッドのクリーニング]** の順に選択します。
- **組み込み Web サーバ**： **[デバイス設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリントヘッドのクリーニング]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **HP ソフトウェア (Windows):** プリンタに添付された HP ソフトウェアを開きます。**[デバイス サービス]**、**[プリントヘッドのクリーニング]** の順にクリックして、画面の指示に従います。
- **HP ユーティリティ (Mac OS X):** Dock で **[HP ユーティリティ]** アイコンをクリックし、**[プリントヘッドのクリーニング]** をクリックします。

プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには

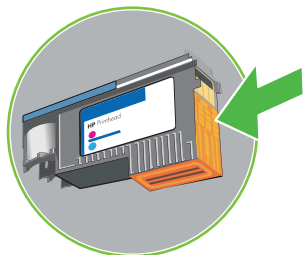
プリントヘッドを取り付けた後、印刷できないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、プリントヘッドおよびプリンタ内の電気コンタクトのクリーニングを行います。開始前に、プリンタに用紙がセットされていることを確認してください。詳細については、メディアのセットを参照してください。

△ **注意** 電気コンタクトには、破損しやすい電子部品が装着されています。

1. 上部カバーを開きます。
2. プリンタのコントロール パネルで、**[プリントヘッドの変更]** をタッチします。インクホルダーが止まるのを待ち、電源コードをプリンタから外します。

3. プリントヘッド ラッチを上げます。

4. コントロール パネルのメッセージに対応するプリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。

5. きれいで乾いた柔らかな糸くずのない布を用意します。 コーヒー フィルタ用紙やメガネのレンズ クリーニング用紙などが適しています。

△ **注意** 水を使用しないでください。

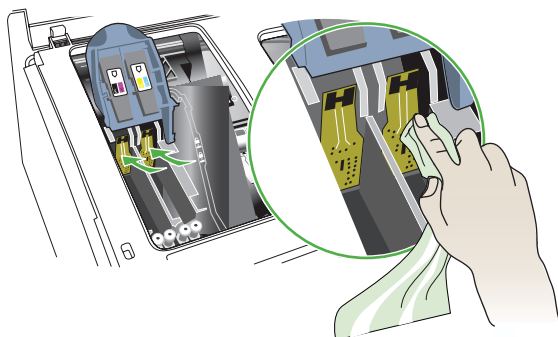
6. プリントヘッドの電気コンタクトを拭きますが、ノズルには触れないでください。

注記 電気コンタクトは小さな銅色の正方形で、プリントヘッドの片面にかたまっています。

ノズルは、プリントヘッドの別の面にあります。ノズルにはインクが見えます。

△ **注意** ノズルに触れると、損傷することがあります。

注意 インクが衣類に付着すると落ちないことがあります。

7. クリーニング後、プリントヘッドを紙かペーパー タオルの上に置きます。 ノズルが上を向き、用紙に触れていないことを確認してください。

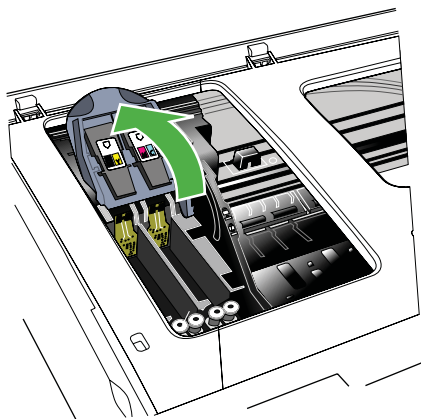
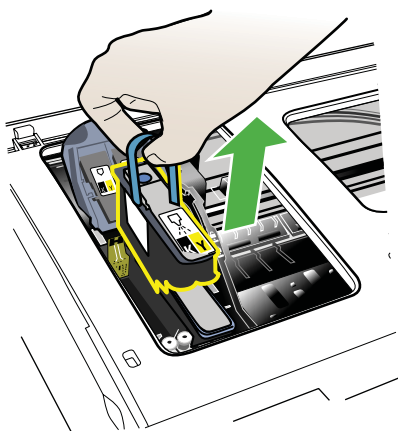
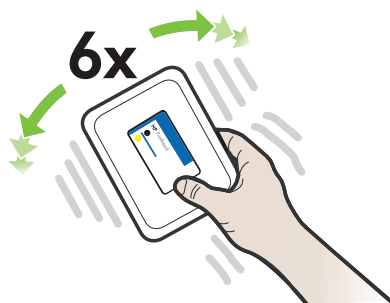
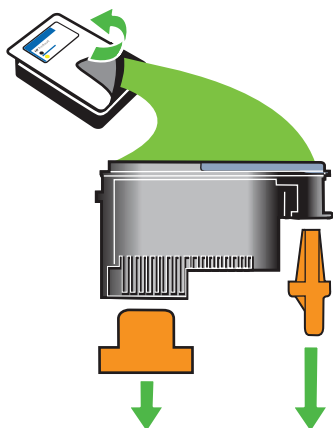
8. プリンタ内のプリントヘッド スロットの電気コンタクトを、きれいで乾いた柔らかい糸くずのない布でクリーニングします。

9. 電源コードを接続し、プリンタの電源を入れます。コントロール パネルには、プリントヘッドがないと表示されているはずです。
10. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッド ラッチの色と一致しなければなりません)。 正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
11. 必要に応じて、残りのプリントヘッドにも手順を繰り返します。
12. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
13. 上部カバーを閉じます。
14. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、メッセージに対応するプリントヘッドのクリーニング手順を行います。

15. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、メッセージに対応するプリントヘッドを交換します。
16. プリンタがプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。プリンタがページを印刷しない場合は、プリントヘッドを手動で位置調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

プリントヘッドを交換するには

注記 お使いのプリンタと使用するプリントヘッドについては、サプライ品 を参照してください。

プリントヘッドは、プリントヘッドの状態で交換が必要なことが示されている場合のみ交換してください。詳細については、プリントヘッドの状態を確認するにはを参照してください。

1. 上部カバーを開きます。
2. プリンタのコントロール パネルで、**[プリントヘッドの変更]** をタッチします。カートリッジが停止するのを待ちます。
3. プリントヘッド ラッチを上げます。

4. プリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。

5. プリントヘッドを取り付ける前に、プリントヘッドをパッケージに入れたまま、上下に少なくとも 6 回振ります。

6. 新しいプリント ヘッドをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップを取ります。

△ **注意** キャップを取り外した後でプリントヘッドを振らないでください。

7. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッドラッチの色と一致しなければなりません)。正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
8. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
9. 上部カバーを閉じます。
10. プリンタがプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。プリンタがページを印刷しない場合は、プリントヘッドを手動で位置調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

給紙の問題の解決

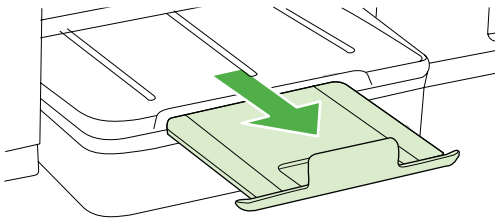
メディアがプリンタまたはトレイにサポートされていない場合

プリンタと使用しているトレイがサポートしている用紙のみを使用します。詳細については、メディア仕様を参照してください。

メディアがトレイから供給されない

- トレイにメディアがセットされていることを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。 メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイのメディアが丸まっていないことを確認します。 丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。 必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。

メディアが正しく排出されない

- 排紙トレイの拡張部が引き出されていることを確認します。排紙トレイが引き出されていないと、印刷ページがプリンタから落下することがあります。

- 余分なメディアは排紙トレイから取り除いてください。 トレイにセットできる枚数には制限があります。

ページが曲がっている

- トレイにセットされたメディアが用紙ガイドにぴったり収まっていることを確認します。必要に応じて、プリンタからトレイを引き出してメディアを正しくセットし直して、用紙ガイドが正しく調整されていることを確認してください。
- 印刷中はプリンタにメディアをセットしないでください。

一度に 2 枚以上給紙される

- メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイに用紙がセットされすぎていないことを確認します。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。
- 最高のパフォーマンスと効率を実現するには、HP メディアを使用してください。

コピーの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、HP サポート を参照して HP にサポートを依頼してください。

- コピーが排出されない
- 何もコピーされない
- 原稿の一部がコピーされない、または薄い
- サイズが小さくなる
- コピーの品質が悪い
- 正しくコピーされない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される
- 用紙の不一致

コピーが排出されない

- **電源の確認**
  電源コードがしっかりと接続され、プリンタ本体の電源がオンになっていることを確認します。
- **プリンタ本体のステータスの確認**
  - プリンタが別のタスクでビジー状態であることがあります。ジョブのステータス情報を参照するため、コントロール パネルのディスプレイを確認します。処理中のジョブがあればそのジョブが完了するのを待ちます。
  - 紙詰まりが発生している場合があります。紙詰まりを確認します。メディア詰まりの除去を参照してください。
- **トレイの確認**
  用紙がセットされていることを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

何もコピーされない

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
- **設定の確認**
  コントラスト設定が明るすぎる可能性があります。プリンタのコントロール パネルで、**[コピー]**、**[薄く/濃く]** の順にタッチして、矢印でコピーを濃くします。
- **トレイの確認**
  自動ドキュメント フィーダー (ADF) からコピーしている場合は、原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細は、自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。

原稿の一部がコピーされない、または薄い

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
- **設定の確認**
  品質の設定が **[はやい]** (ドラフト品質のコピーが作成されます) になっていると、原稿の一部がコピーされないことや、コピーが薄くなることがあります。 設定を **[標準]** または **[高画質]** に変更します。
- **原稿の確認**
  ◦ コピーの正確さは、原稿の品質やサイズによって異なります。 **[コピー]** メニューを使用してコピーの明るさを調整します。 原稿が明るすぎる場合、コントラストを調整しても、原稿の一部がコピーされないことがあります。
  ◦ 背景に色が付いていると、前景が背景に混ざることや、背景の影が原稿と異なることがあります。
  ◦ フチ無しの原稿をコピーする場合は、原稿を ADF ではなくスキャナのガラス面にセットします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
  ◦ 写真をコピーしている場合、スキャン ベッドのアイコンに示すようにスキャナー ガラスにセットしてください。

サイズが小さくなる

- プリンタのコントロール パネルから拡大/縮小またはその他のコピー機能が設定されていて、スキャンした画像が縮小される場合があります。コピー ジョブの設定が標準サイズになっているようにこの設定を確認してください。
- HP ソフトウェア設定が、スキャンした画像を縮小するように設定されている場合があります。必要に応じて、この設定を変更してください。詳細については、HP ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コピーの品質が悪い

- **コピーの品質を高めるための手順の実行**
  - 品質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。 メディアが正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にコピーされないことがあります。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- **プリンタの確認**
  - スキャナのカバーが正しく閉じられていない可能性があります。
  - スキャナのガラス面、または保護シートにクリーニングが必要です。詳細については、プリンタの保守を参照してください。
  - 自動ドキュメント フィーダー (ADF) をクリーニングする必要があります。詳細については、プリンタの保守を参照してください。
- 印刷品質診断ページを印刷してください。インクの筋、色の間違い、その他コピーの印刷品質の問題が生じた場合は、ノズルに問題がないかどうか確認してください。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

正しくコピーされない

- **縦方向の白いまたはかすれたしま模様**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **不要な線**
  スキャナのガラス面、保護シート、またはフレームにクリーニングが必要です。詳細については、プリンタの保守を参照してください。
- **黒い点または縞が現れる**
  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナのガラス面または保護シートに付着している可能性があります。プリンタをクリーニングします。詳細については、プリンタの保守を参照してください。

- **斜めまたはゆがんでコピーされる**
  自動ドキュメント フィーダー (ADF) を使用している場合、以下を確認してください。
  - ADF 給紙トレイにセットされているメディアの量が多すぎないことを確認します。
  - ADF のメディア幅アジャスタがメディアの端にぴったりと合っていることを確認します。
- **テキストがはっきりしない**
  - コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
  - デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **テキストまたはグラフィックスにムラがある**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **大きなものモノクロ文字がまだらで、なめらかでない**
  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **ライト グレーからミディアム グレーの部分にざらざらしたまたは白い横線が現れる**
  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

正しいインク カートリッジが装着され、インク カートリッジのインクが残りわずかではないこと確認してください。詳細については、プリンタ管理ツールおよび自己診断テスト ページの理解を参照してください。

HP では、他社製のインク カートリッジの品質を保証することはできません。

用紙の不一致

設定の確認

セットしたメディアのサイズおよび種類がコントロール パネルの設定に一致していることを確認してください。

スキャンの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、HP サポート を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 コンピュータからスキャンを開始している場合は、HP ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- スキャナが動作しない
- スキャンに時間がかかりすぎる
- 文書の一部またはテキストがスキャンされない
- テキストを編集できない
- エラー メッセージが表示される
- スキャンした画像の品質が良くない
- 正しくスキャンされない

スキャナが動作しない

- **原稿の確認**
  原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
- **プリンタの確認**
  プリンタは、非動作状態の後に PowerSave モードからの移行状態となり、ほんの一瞬処理が遅れることがあります。プリンタが**[準備完了]**ステータスになるまで待機してください。

スキャンに時間がかかりすぎる

- **設定の確認**
  - 解像度の設定が高すぎると、スキャンに時間がかかり、作成されるファイルのサイズも大きくなります。良い結果を得るには、解像度を必要以上高く設定しないようにします。解像度の設定を低くするとスキャンの速度が向上します。
  - TWAIN 経由で画像を取得する場合は、原稿をモノクロでスキャンするように設定を変更すると、問題が解決することがあります。 詳細については、TWAIN プログラムのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
- **プリンタ本体のステータスの確認**
  スキャンの前に印刷ジョブまたはコピー ジョブを送信した場合は、スキャナがビジー状態でなければ、スキャンが開始されます。 ただし、その場合は、印刷またはコピーとスキャンとでメモリが共有されるため、スキャンの速度が遅くなる可能性があります。

文書の一部またはテキストがスキャンされない

- **原稿の確認**
  - 原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
  - 原稿を ADF からスキャンした場合は、スキャナ ガラスから直接スキャンしてみます。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像が背景に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。
- **設定の確認**
  - メディアのサイズがスキャン原稿に対して十分であることを確認します。
  - HP プリンタ ソフトウェアを使用する場合、HP プリンタ ソフトウェアのデフォルトの設定が、ユーザーが実行しようとしているタスク以外のタスクを自動的に実行するように設定されている場合があります。プロパティの変更手順については、HP プリンタ ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

テキストを編集できない

- **設定の確認**
  - OCR ソフトウェアがテキストを編集するように設定されていることを確認します。
  - 原稿をスキャンするとき、編集可能なテキストが生成される文書の種類を選択します。 テキストがグラフィックスと認識されると、テキストに変換されません。
  - OCR が、OCR タスクを実行しないワード プロセッサ プログラムにリンクされている場合があります。リンクの問題の詳細については、HP ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **原稿の確認**
  - OCR の場合、原稿を ADF にセットするときは、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
  - 文字間の狭いテキストは OCR プログラムによって認識されない可能性があります。 OCR プログラムで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。
  - OCR プログラムの正確さは、画像の品質、テキストのサイズ、原稿の構造、スキャン自体の品質によって異なります。 原稿の画像の品質が良いことを確認してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。 原稿に対して OCR 操作を実行する場合、原稿上の色付きのテキストは適切にスキャンされません。

エラー メッセージが表示される

- **[TWAIN ソースを有効にできません]** または **[画像の取得中にエラーが発生しました]**
  - デジタル カメラや別のスキャナなど、画像を別のデバイスに取り込んでいる場合、デバイスが TWAIN 準拠であることを確認します。TWAIN 準拠でないデバイスは、プリンタ付属の HP ソフトウェアでは動作しません。
  - USB 接続を使用している場合、USB デバイス ケーブルをコンピュータ背面の正しいポートに接続していることを確認します。
  - 正しい TWAIN ソースが選択されていることを確認します。HP ソフトウェアで、**ファイル** メニューの **スキャナの選択** を選択します。
- **[原稿をセットし直した後、ジョブを再開してください]**

  プリンタのコントロール パネルで **[OK]**をタッチしてから、残りのドキュメントを ADF にリロードします。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。

スキャンした画像の品質が良くない

原稿が二次的な写真または画像である

新聞や雑誌などの印刷された写真は、細かなドットで元の写真を再現する方法が使用されているため、品質が低下しています。 多くの場合、インクのドットは、画像のスキャンや印刷を行うとき、または画像を画面上に表示するときに不要なパターンを生み出す可能性があります。 以下の方法で問題が解決しない場合は、現在よりも品質の良い原稿を使用する必要があります。

- パターンを削除するには、スキャン後に画像のサイズを縮小してみます。
- スキャンした画像を印刷し、品質が改善されるかどうかを確認します。
- 解像度と色の設定がスキャン ジョブの種類に適していることを確認します。
- 最良の結果を得るには、スキャンには ADF ではなく、スキャナ ガラスを使用します。

原稿の裏面のテキストや画像がスキャンされる

薄いメディアまたは透明度の高いメディアに印刷されている両面原稿は、裏側のテキストまたは画像が表面に透け、スキャナに取り込まれることがあります。

スキャンした画像がゆがんでいる (曲がっている)

原稿が正しくセットされていない可能性があります。 原稿を ADF にセットするときは必ずメディア ガイドを使用してください。詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。

印刷した方が画質が良い

画面に表示される画像は、スキャンの質を必ずしも正確に表現しているとは限りません。

- コンピュータ モニタの設定を調整して、使用する色数 (グレーのレベル数) を増やしてみます。 Windows コンピュータでこの調整を行うには、通常、Windows のコントロール パネルの **[画面]** を使用します。
- 解像度と色の設定を調整してみます。

スキャンした画像に汚れ、線、縦の白いストライプなどの問題がある

- スキャナ ガラスが汚れていると、最適な鮮明度の画像が得られません。プリンタの保守を参照してクリーニングを実施します。
- スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

グラフィックスが原稿と異なって見える

解像度を上げてスキャンしてください。

注記 高解像度でスキャンすると時間がかかり、コンピュータの容量を大量に使用する可能性があります。

スキャンの質を高めるための手順の実行

- ADF ではなく、スキャナのガラス面を使用してスキャンを実行します。
- 質の良い原稿を使用します。
- メディアを正しく置きます。 メディアがスキャナのガラス面に正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にスキャンされないことがあります。 詳細については、スキャナのガラス面への原稿のセットを参照してください。
- スキャンしたページの用途に応じて、HP ソフトウェアの設定を調整します。
- 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- スキャナ ガラスをクリーニングします。詳細については、スキャナ ガラスのクリーニングを参照してください。

正しくスキャンされない

- **空白ページ**

  原稿が正しくセットされていることを確認します。 フラットベッド型スキャナでは、原稿の表を下に向け、原稿の左上隅をスキャナ ガラスの右下隅に合わせてセットします。

- **明るすぎる、または暗すぎる**
  - 設定を調整してみます。 正しい解像度と色設定を必ず使用してください。
  - 原稿が非常に明るい (または暗い) か、色の付いた用紙に印刷されている可能性があります。

- **不要な線**

  スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着している可能性があります。スキャナ ガラスをクリーニングしてみてください。詳細については、プリンタの保守を参照してください。

- **黒い点または縞**
  - スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、または不要物が付着しているか、スキャナ ガラスに汚れまたは傷があるか、スキャナの原稿押さえが汚れている可能性があります。スキャナ ガラスと原稿押さえをクリーニングしてみてください。詳細については、プリンタの保守を参照してください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、必要に応じて、スキャナ ガラスまたはスキャナの原稿押さえを交換します。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

- **テキストが鮮明でない**

  設定を調整してみます。 解像度と色の設定が正しいことを確認してください。

- **サイズが小さくなる**

  HP ソフトウェア設定が、スキャンした画像を縮小するように設定されている場合があります。この設定の変更の詳細については、HP プリンタ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ファクスの問題の解決

このセクションでは、プリンタのセットアップについてのトラブルシューティングを説明します。ファクスを使用するためにプリンタが正

しく設定されていない場合、ファクスの送受信時に問題が発生する可能性があります。

ファクスに問題が発生したときには、ファクス テスト レポートを印刷してプリンタのステータスを確認できます。ファクスを使用するためにプリンタが正しく設定されていないと、テストに失敗します。ファクスを使用するためにプリンタを設定したら、このテストを実行してください。詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、ファクス テストに失敗したを参照してください。

- ファクス テストに失敗した
- ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される
- ファックスの送受信がうまくできない
- 手動によるファックスの送信がうまくできない
- ファックスを受信できないが、送信はできる
- ファックスを送信できないが、受信はできる
- ファクス トーンが留守番電話に録音される
- プリンタ付属の電話コードの長さが十分でない
- カラー印刷できません
- コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信および Mac にファクス)

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した
- 「ファクス回線状態」テストに失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

- プリンタのコントロール パネルの **[電源]** ボタンを押して、プリンタの電源をオフにし、プリンタの背面から電源コードを抜きます。数秒経ってから、再度電源コードを差し込んで、電源をオンにします。もう一度テストを実行します。またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[HP セットアップ アシスタント]** (Mac OS X) からテストを実行している場合、プリンタがファクスの受信やコピー作成など別のタスクを完了しようとしてビジーになっていないことを確認します。コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、プリンタがビジー状態であるか確認してください。ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。
- 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、プリンタでファクスを利用する準備ができています。**[ファクス ハードウェア テスト]** の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

- 電話の壁側のモジュラージャックとプリンタの接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- プリンタが壁側のモジュラージャックに正しく接続されていることを確認します。プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。ファクスを使用できるようにプリンタをセットアップする方法については、追加のファクス セットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、製品に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

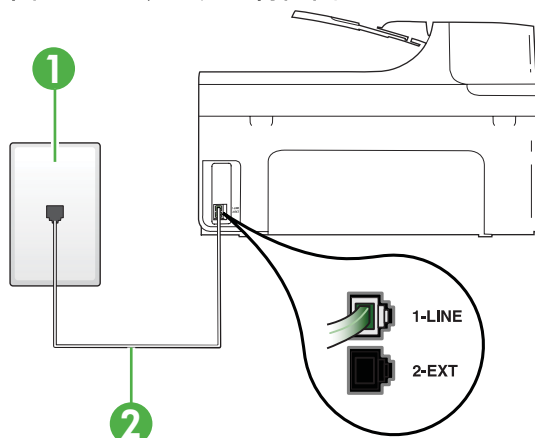
問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、プリンタでファクスを利用する準備ができています。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 注記 2-EXT を使用して壁側のモジュラージャックに接続する場合、ファクスの送受信ができません。2-EXT ポートは、留守番電話などの他の機器に接続する場合にのみ使用します。

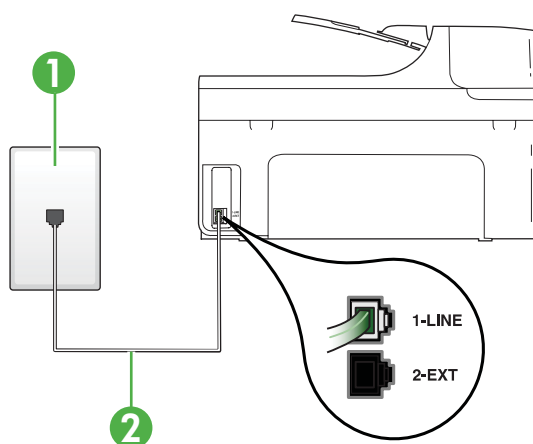
図 9-1 プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します

2. 1-LINE と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストが成功したら、プリンタでファクスを利用する準備ができています。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法:

- プリンタ付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。図に示すように、電話コードの一方の端をプリンタの後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します

プリンタ付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っ

ている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要になります。

- 電話の壁側のモジュラージャックとプリンタの接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した

解決方法:

- プリンタと同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。他の機器がないときに **[ダイヤルトーン検出テスト]** に合格した場合、1つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に1つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、製品に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- プリンタが壁側のモジュラージャックに正しく接続されていることを確認します。プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

• 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
• PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。テスト ファクスを送信または受信してみてください。
• お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
• プリンタをアナログ回線に接続していることを確認します。その以外の場合、ファクスの送受信はできません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。プリンタをアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
• 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、プリンタでファクスを利用する準備ができています。**[ダイヤル トーン検出]** テストの失敗が続く場合は、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストに失敗した

解決方法:

- プリンタをアナログ回線に接続していることを確認します。その以外の場合、ファクスの送受信はできません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。プリンタをアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラージャックとプリンタの接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認してください。
- プリンタが壁側のモジュラージャックに正しく接続されていることを確認します。プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- プリンタと同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  ◦ 他の機器を外したときに **[ファクス回線状態テスト]** に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
  ◦ 他の機器が無くても、**[ファクス回線状態テスト]** に失敗する場合は、正常に機能している電話回線にプリンタを接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。
- 必ずプリンタに付属している電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。プリンタに付属している電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、プリンタでファクスを利用する準備ができています。**[ファクス回線状態]** テストに引き続き失敗し、ファクスができない場合、電話会社に連絡して電話回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法: 誤った種類の電話コードを使用しています。プリンタと電話回線を接続するためにプリンタ付属の電話コードを使用していることを確認してください。プリンタ付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要になります。

解決方法: プリンタと同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。内線電話 (同じ電話回線上にあるがプリンタには接続されていない電話) や他の機器などが使用されていないこと、また受話器が外れていないことを確認してください。内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

ファックスの送受信がうまくできない

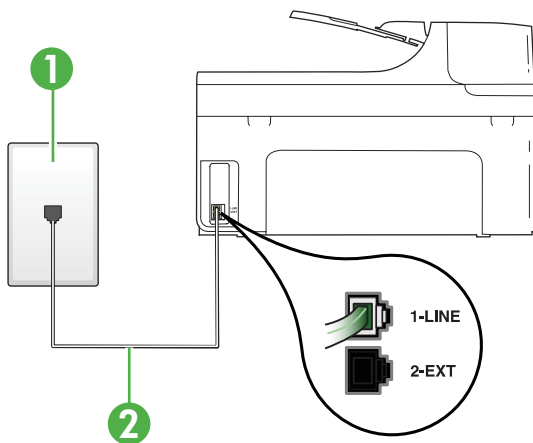
解決方法: プリンタの電源がオンであることを確認します。プリンタのディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、**[電源]** ランプが点灯していない場合は、プリンタの電源が入っ

ていません。電源ケーブルがプリンタに接続され、電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認します。**[電源]** ボタンを押して、プリンタの電源を入れてください。

プリンタの電源をオンにしたら、5 分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。電源をオンにしても、初期化中はファクスを送受信できません。

解決方法: [PC ファクス受信]または[Mac にファクス]が有効になっていると、ファクス メモリがいっぱいである場合 (プリンタメモリによって制限) ファクスの送受信ができない場合があります。

解決方法:

• プリンタ付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。図に示すように、電話コードの一方の端をプリンタの後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します

プリンタ付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っ

ている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要になります。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、製品に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- プリンタと同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。
- 別の処理が原因でエラーが発生していないかどうかを確認します。ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。エラーが解決するまで、ファクスの送受信をすることができません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。ノイズが聞こえたら、**[エラー補正モード]** (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。ECM の変更方法の詳細については、エラー補正モードでのファクス送信を参照してください。問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。詳細については、ケース B:DSL 環境でのプリンタのセットアップを参照してください。
- プリンタが、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されていないことを確認します。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。
- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、プリンタが正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。詳細については、ケース C:PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンタのセットアップを参照してください。

- プリンタが DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。DSL モデムをもう一度オンにして、発信音を聞いてください。

  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。プリンタでファクスの送受信ができない場合は、この手順を繰り返してください。

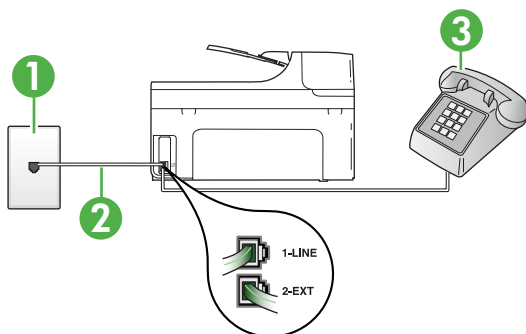
  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。 DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです)。スプリッターを取り除き、プリンタを壁側のモジュラージャックに直接接続してください。

手動によるファックスの送信がうまくできない

解決方法:

注記 この解決策は、プリンタに 2 線式電話コードが付属している次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- ファクスを実行するために使用する電話機が、直接プリンタに接続されていることを確認してください。ファクスを手動で送

信するには、図に示すように、プリンタの後部にある 2-EXT と書かれたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します
3	電話

- プリンタに直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。プリンタのコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

注記 シリアル方式の電話を使用している場合、壁のプラグが接続された本体ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

ファックスを受信できないが、送信はできる

解決方法:

- 着信識別サービスを使用していない場合は、プリンタの **[応答呼出し音のパターン]** 機能が **[すべての呼び出し]** になっていることを確認します。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。
- **[自動応答]** が **[オフ]** に設定されている場合ファクスを手動で受信する必要があります。そうしなければ、プリンタでファクスを受信できません。ファクスを手動で受信する方法については、ファクスの手動受信を参照してください。

- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスを使用している場合は、ファクスを自動ではなく手動で受信しなければなりません。また、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。ボイス メール サービスを使用しているときにプリンタをセットアップする方法については、ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用するを参照してください。ファクスを手動で受信する方法については、ファクスの手動受信を参照してください。
- プリンタと同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、すべての受信ファクスを受け取るため、自動的に電話回線を引き継ぐので、プリンタがファクスを受信できなくなります。
- プリンタ本体と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話がプリンタに対して適切にセットアップされていない。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるためにプリンタがファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断される。
  - プリンタがファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。
  - ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話をプリンタ本体に直接接続してください。
  - プリンタが自動的にファクスを受信するように設定されていることを確認します。ファクスを自動的に受信するようにプリンタをセットアップする方法については、ファクスの受信を参照してください。
  - **[応答呼出し回数]** 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

◦ 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみます。 この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
    ◦ 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。 音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記 デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。 外出メッセージを再生して確認してください。

- プリンタが、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。
  他の機器が問題の原因となっているかどうかを確認するため、本プリンタ以外の機器すべてを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。他の機器を接続しないでファクスを正常に受信できた場合は、他の機器のいずれかが問題の原因になっています。機器を 1 つずつ追加し、問題の原因となっている機器を特定してください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、それに合致するようにプリンタの **[応答呼出し音のパターン]** 設定を確認してください。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

ファックスを送信できないが、受信はできる

解決方法:

- プリンタのダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555のように間隔を挿入します。9-555-5555. 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、ディスプレイにダッシュ記号 (**[-]**) が表示されるまで **[スペース (#)]** ボタンをタッチします。
  ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信を参照してください。
- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音される

解決方法:

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話をプリンタ本体に直接接続してください。HP の推奨する方法に従って留守番電話が接続されていない場合、留守番電話にファクス トーンが録音されないことがあります。
- プリンタが自動的にファクスを受信するように設定されていること、さらに **[応答呼出し回数]** 設定が正しいことを確認します。プリンタの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。留守番電話の応答回数と応答呼び出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼出し回数を少なくし、プリンタの呼出し回数を最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。この設定では、留守番電話が電話に応答し、プリンタが電話回線を監視します。プリンタがファクス受信音を検出した場合、プリンタはファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

プリンタ付属の電話コードの長さが十分でない

解決方法: プリンタ付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要になります。

ヒント プリンタに2 線式電話コード アダプタが付属している場合、これを 4 線式電話コードと共に使用して電話コードを延長させることができます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください。

電話コードを延長するには

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端をプリンタ本体背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、カプラーの空いているポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。

カラー印刷できません

原因: Incoming Fax Printing (受信ファクス印刷) オプションがオフです。

解決方法: カラー ファクスを印刷するには、プリンタのコントロール パネルの[受信ファクス印刷]オプションがオンになっていることを確認します。

コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信および Mac にファクス)

原因: ファクスの受信用として選択したコンピュータがオフです。

解決方法: ファクス受信用として選択したコンピュータが常にオンであるようにしてください。

原因: セットアップ用とファクス受信用に設定したコンピュータが異なり、いずれかの電源がオフです。

解決方法: ファクスを受信するコンピュータがセットアップに使用したコンピュータと異なる場合、両方のコンピュータの電源が常に入っている必要があります。

原因: [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] が無効になっているか、コンピュータがファクスを受信するように設定されていません。

解決方法: [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] を有効にし、コンピュータがファクスを受信するように設定されていることを確認します。

HP Web サイトとサービスの使用に関する問題の解決

このセクションでは、HP Web サイトとサービスの使用に関する一般的な問題の解決法を提案しています。

- HP Web サービスの使用に関する問題を解決する
- HP Web サイトの使用に関する問題を解決する

HP Web サービスの使用に関する問題を解決する

プリンターのコントロール パネルから HP Apps またはその他の Web サービスを使用できない場合、次の点を確認してください。

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認します。

  注記 プリンターの Web 機能を使用するには、プリンターをインターネットに接続する必要があります (Ethernet ケーブルまたはワイヤレス接続を使用)。プリンターが USB ケーブルを使用して接続されている場合は、これらの Web 機能を使用できません。

- ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターがオンになり、正しく作動していることを確認します。
- Ethernet ケーブルを使用してプリンターを接続している場合、電話コードまたはクロスオーバー ケーブルを使用してプリンターをネットワークに接続していないこと、および Ethernet ケーブルがプリンター本体にしっかりと接続されていることを確認します。詳細は、有線 (Ethernet) ネットワークの問題の解決を参照してください。
- ワイヤレス接続を使用してプリンターを接続している場合は、ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。詳細は、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

HP Web サイトの使用に関する問題を解決する

コンピューターから HP Web サイトを使用できない場合、次の点を確認してください。

- お使いのコンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。
- Web ブラウザがシステム最小要件を満たしていることを確認します。詳細は、HP Web サイトの仕様を参照してください。
- お使いの Web ブラウザでインターネットに接続するためにプロキシ設定を使用している場合は、これらの設定をオフに設定してみてください。詳細については、使用している Web ブラウザで使用可能なマニュアルを参照してください。

HP デジタル ソリューションの問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP ダイレクト デジタル ファイリングの問題の解決
- HP デジタル ファイルの問題を解決する

HP ダイレクト デジタル ファイリングの問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 共通の問題
- ネットワーク フォルダにスキャンできない
- 電子メールへのスキャンができない
- HP ダイレクト デジタル ファイリング (Windows) を設定した後に、共有ダイアログ ボックスが違っている

共通の問題

用紙サイズを [自動] に設定するとスキャン画像が正しくトリミングされない

可能な場合は適切な用紙サイズを使用し、小さいメディア/写真の場合のみ、[自動] を使用してください。

プリンターがネットワーク上で正しく設定されていない

プリンターが適切に設定され、ネットワークに接続されていることを確認します。

- プリンターを使用して文書を印刷してみてください。
- プリンターに対するネットワーク設定を確認し、有効な IP アドレスがあることを確認します。
- プリンターに対して PING コマンドを実行し、本体が応答することを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- Ethernet ケーブルを使用してプリンターを接続している場合、電話コードまたはクロスオーバー ケーブルを使用してプリンターをネットワークに接続していないこと、および Ethernet ケーブルがプリンター本体にしっかりと接続されていることを確認します。詳細は、有線 (Ethernet) ネットワークの問題の解決を参照してください。
- ワイヤレス接続を使用してプリンターを接続している場合は、ワイヤレス ネットワークが正しく動作していることを確認します。詳細については、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

サーバ名が見つからない、または解決できない

セットアップ時に指定したサーバ名を特定の IP アドレスに解決できないと、サーバへの接続に失敗することがあります。

- サーバーの IP アドレスを使用してみてください。
- DNS を使用している場合は、以下を必ず行ってください。
  - 完全修飾 DNS 名を使用します。
  - プリンターで DNS サーバーが正しく設定されていることを確認します。

ヒント DNS の設定を最近変更した場合は、プリンターの電源をいったんオフにした後、再びオンにします。

詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークを設定した人物に連絡してください。

ネットワーク フォルダにスキャンできない

注記 HP ダイレクト デジタル ファイリングは、Active Directory をサポートしていません。

ネットワーク フォルダのあるコンピュータの電源がオフになっている

ネットワーク フォルダが格納されているコンピュータの電源がオンになっていて、ネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク フォルダが正しく設定されていない

- サーバ上にフォルダが作成されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダが共有され、ユーザがフォルダの読み取りと書き込みの両方を実行できることを確認します。Macintosh コンピュータを使用している場合は、SMB 共有が有効になっていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダ名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダー名が HP ソフトウェアに正しい形式で入力されていることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。
- 有効なユーザ名とパスワードを入力していることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。

ディスクがいっぱい

ネットワーク フォルダが存在するサーバのディスクに十分な空き領域があることを確認します。

割り当てられたプレフィックスとサフィックスを使用して一意のファイル名を作成できない

同じプレフィックスとサフィックスで作成できるのは最大 9,999 ファイルです。フォルダに多くのファイルをスキャンしている場合は、プレフィックスを変更します。

ファイルのプレフィックスが正しく設定されていない

フォルダ名とファイル名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

電子メールへのスキャンができない

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

電子メールのプロファイルが正しく設定されていない

有効な送信 SMTP サーバー設定が HP ソフトウェアで指定されていることを確認します。SMTP サーバ設定の詳細については、電子メール サービス プロバイダから提供された文書を参照してください。

複数の受信者に送信した電子メール メッセージが一部の受信者にしか送信されない

電子メール アドレスが間違っている、または電子メール サーバに認識されていない可能性があります。電子メール アドレスが HP ソフトウェアに正しい形式で入力されていることを確認します。電子メールの受信箱に、電子メール サーバからの送信エラー通知メッセージがないか確認します。

容量の大きい電子メールのメッセージを送信している

一部の電子メール サーバは、事前設定されたサイズより大きい電子メール メッセージを拒否する設定になっています。電子メール サーバに最大ファイル サイズの制限があるかを確認するには、電子メール サービス プロバイダから提供された文書を参照してください。電子メール サーバにこのような制限がある場合は、送信メール プロファイルでメールの添付ファイルの最大サイズを電子メール サーバの制限より小さい値にしてください。

HP ダイレクト デジタル ファイリング (Windows) を設定した後に、共有ダイアログ ボックスが違っている

Windows XP を実行しているコンピュータを使用している場合は、簡易ファイルの共有 (SFS) を使用してフォルダを設定できます。SFS を使用して設定したフォルダは匿名で共有されます。ユーザ名やパスワードは要求されず、すべてのユーザーにフォルダの読み取りと書き込みが可能になります。また、共有の有効化に使用されるダイアログ ボックスは、標準の Windows の共有ダイアログ ボックスとは異なっています。

ただし、プリンターから送信されるデータのセキュリティを確保するため、[ネットワーク フォルダーにスキャンのウィザード] は、SFS をサポートしていません。このため、コンピューターは、SFS ダイアログ ボックスの代わりに、標準の共有ダイアログ ボックスを表示します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

HP デジタル ファイルの問題を解決する

注記 ネットワーク フォルダにファクス機能は、Active Directory をサポートしていません。

注記 HP Officejet Pro 8500A (A910a-f) を使用している場合、ネットワーク フォルダーにスキャンおよびネットワーク フォルダーにファクスのみ使用できます。モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

ネットワーク フォルダのあるコンピュータの電源がオフになっている

ネットワーク フォルダにファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信に選択したコンピュータが常にオンになっていて、ネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク フォルダが正しく設定されていない

ネットワーク フォルダにファクス機能を使用している場合は、以下を確認します。

- サーバ上にフォルダが作成されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダが共有され、ユーザーがフォルダの読み取りと書き込みの両方を実行できることを確認します。Macintosh コンピュータを使用している場合は、SMB 共有が有効になっていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- フォルダ名にオペレーティング システムでサポートされている文字のみが使用されていることを確認します。詳細については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

- フォルダー名が HP ソフトウェアに正しい形式で入力されていることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。
- 有効なユーザー名とパスワードを入力していることを確認します。詳細については、ウィザード、またはセットアップ アシスタントの情報を参照してください。

エラー状態で HP デジタル ファクスが妨害されている

受信ファクスを印刷するように設定しているプリンタに用紙がセットされていない場合、給紙トレイに用紙をセットするか、エラー状態を解決します。受信ファクスを印刷すると、ファクスはネットワーク フォルダに保存されるか、印刷後に指定した電子メール アドレスに転送されます。

内部メモリがいっぱいになっている

プリンタの内部メモリがいっぱいになっていると、ファクスの送受信ができません。保存されている未保存のファクスが多すぎてメモリがいっぱいになっている場合、プリンタのコントロール パネルの指示に従ってください。

△ **注意** ファクス ログと内部メモリを消去すると、プリンタのメモリ内に保存されている未保存のファクスが削除されます。

ファクスの日付と時刻が間違っている

サマータイムを使用している国/地域の場合、ファクスのタイム スタンプが必ずしもローカル タイム ゾーンの正確な時刻を反映しているとは限りません。また、アーカイブされたファクスのタイム スタンプを含むデフォルトのファイル名が、影響している可能性もあります。

ファクスを受信したときの正確な時間を確認するには、プリンタのコントロール パネルからファクス ログを印刷してください。

サマータイム中のファクスについて正確な時間をレポートできるようにするには、EWS を使用して、プリンタが使用するタイム ゾーンを正確な時間を示すタイム ゾーンに手動で変更します。

◦ 使用しているコンピュータでサポートされている Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer、Opera、Mozilla Firefox、または Safari) を開きます。
◦ プリンタに割り当てられている IP アドレスを入力してください。
  例えば、IPv4 ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
  「http://123.123.123.123」
  IPv6 専用ネットワーク環境を使用していて、IP アドレスが FE80::BA:D0FF:FE39:73E7 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。
  「http://[FE80::BA:D0FF:FE39:73E7]」
  Web ブラウザのウィンドウに EWS ページが表示されます。
  EWS の使用の詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
◦ **[設定]** タブをクリックし、**[基本設定]** の下の **[タイム ゾーン]** をクリックします。
◦ 正しい時刻に対応するタイム ゾーンを選択します (通常は使用するタイム ゾーンの 1 時間前)。

注記 標準時間に戻ったら、実際のタイム ゾーンの時刻を反映するように変更します。

メモリ デバイスに関する問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、HP サポート を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 メモリ デバイスの操作をコンピューターから開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

• メモリ デバイスを読み取ることができない
• プリンターがメモリ デバイス内の写真を読み取れない

メモリ デバイスを読み取ることができない

- **メモリ デバイスを確認する**
  - 使用中のメモリ デバイスのタイプが本体でサポートされているタイプであることを確認します。詳細は、メモリ デバイスの仕様を参照してください。
  - 一部のメモリ デバイスには、その使用方法を制御するスイッチがあります。スイッチの設定でメモリ デバイスの読み取りが可能になっていることを確認します。
  - メモリ デバイスの両端を調べ、穴にゴミが詰まっていないこと、および金属の接点が汚れて接触不良を起こしていないことを確認します。糸くずのない布と少量のイソプロピル アルコールで接点をクリーニングします。
  - 他のデバイスでテストすることによって、メモリ デバイスが適切に機能していることを確認してください。
- **メモリ デバイスのスロットを確認する**
  - メモリ デバイスが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します。詳細は、メモリ デバイスの挿入を参照してください。
  - メモリ カードを取り外し (ランプが点滅していないとき)、懐中電灯で照らして空のスロットを調べます。内部にある小さいピンが曲がっていないことを確認します。コンピュータの電源をオフにしてから、先が尖ったボールペンの先端を使ってわずかに曲がったピンをまっすぐにできます。ピンが別のピンに触れるほど曲がっている場合は、メモリ カード リーダーを交換するか、プリンタを修理してください。詳細については、HP サポートを参照してください。
  - スロットにメモリ デバイスが 1 枚だけ挿入されていることを確認します。同時に 2 枚以上のメモリ デバイスを挿入すると、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

プリンターがメモリ デバイス内の写真を読み取れない

メモリ デバイスを確認する

メモリ デバイスが壊れている可能性があります。

有線 (Ethernet) ネットワークの問題の解決

プリンタを有線 (Ethernet) ネットワークに接続できない場合、以下のタスクを実行します。

注記 以下を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

- 一般的なネットワークのトラブルシューティング
- 作成されたネットワーク ポートがプリンタの IP アドレスと一致しない (Windows)

一般的なネットワークのトラブルシューティング

プリンタ付属の HP ソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します。

- コンピュータとプリンタにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
- ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。
- ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、およびファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが Windows を実行中のコンピュータで終了しているか、または無効にされている。
- プリンタを使用するコンピュータと同じサブネット上にプリンタがインストールされていることを確認する。

インストール プログラムがプリンタを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

プリンタに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

作成されたネットワーク ポートがプリンタの IP アドレスと一致しない (Windows)

Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、プリンタドライバに作成されたネットワーク ポートがプリンタの IP アドレスと一致していることを確認します。

1. プリンタのネットワーク設定ページを印刷します。
2. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
3. プリンタのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
4. プリンタの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。
5. ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
6. **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

ワイヤレスの問題の解決

ワイヤレス設定とソフトウェアのインストールを行った後にネットワークと通信できない場合は、これらの作業の 1 つ以上を以下の順に実行します。

- ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング
- ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング

下記の手順を記載された順序で実行します。

注記 ワイヤレス接続をセットアップするのが初めてで、付属ソフトウェアを使用している場合は、プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認します。

手順 1 - ワイヤレス (802.11) ランプがオンになっていることを確認します。

プリンタのワイヤレス ボタン近くの青いランプが点灯していない場合、ワイヤレス機能がオンになっていない可能性があります。ワイヤレス機能をオンにするには、右矢印▶、**[ネットワーク]**、**[ワイヤレス]**、**[ワイヤレス ラジオ]** の順にタッチして、**[はい]** を選択します。

> **注記** プリンタが Ethernet ネットワークをサポートしている場合、Ethernet ケーブルが接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを接続すると、プリンタのワイヤレス機能はオフになります。

手順 2 - ワイヤレス ネットワークのコンポーネントを再起動します。

ルータおよびプリンタの電源をオフにしてから、最初にルータ、次にプリンタの順番で電源をオンにします。まだ接続できない場合、ルーター、プリンタ、そしてコンピュータをオフにします。電源を再投入することで、ネットワーク通信が回復する場合があります。

手順 3 - ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。

ワイヤレス ネットワークの問題に対しては、ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。[ワイヤレス ネットワーク テスト]ページを印刷するには、右矢印▶、**[ネットワーク]**、**[ワイヤレス]** の順にタッチして、**[ワイヤレス ネットワーク テスト]** を選択します。問題が検出された場合、問題解決に役立つ推奨する解決方法がレポートに記載されます。

ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

基本的トラブルシューティングに記載された解決方法を試してもまだプリンタをワイヤレス ネットワークに接続できない場合、以下の解決方法を記載順に実行してください。

- ステップ 1:コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。
- ステップ 2:プリンタがネットワークに接続されていることを確認する
- ステップ 3:ファイアウォール ソフトウェアが通信をブロックしていないかどうか確認する
- ステップ 4:プリンタがオンラインで使用可能であることを確認する

- ステップ 5:ワイヤレス対応のプリンタがデフォルトのプリンタ ドライバとして設定されていることを確認する (Windows のみ)
- ステップ 6:HP ネットワーク デバイス サポート サービスが実行中であることを確認する (Windows のみ)
- ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

ステップ 1:コンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

有線 (Ethernet) 接続の状態を確認するには

▲ 多くの場合、ルータからの Ethernet ケーブルがコンピュータに接続するポートの横には、インジケータ ランプがあります。通常ランプは 2 つあり、1 つは点灯し、もう 1 つは点滅しています。お使いのコンピュータにインジケータ ランプがある場合は、インジケータ ランプが点灯していることを確認してください。ランプが点灯していない場合は、Ethernet ケーブルをコンピュータとルータに接続し直してください。ランプがまだ点灯しない場合は、ルータ、Ethernet ケーブル、またはコンピュータに問題が生じている可能性があります。

注記 Macintosh コンピュータにはインジケータ ランプがありません。Macintosh コンピュータで Ethernet 接続を確認するには、Dock で **[システム環境設定]** をクリックしてから、**[ネットワーク]** をクリックします。Ethernet 接続が正常に動作していると、接続のリストに **[内蔵 Ethernet]** が IP アドレスおよびその他のステータス情報と共に表示されます。**[内蔵 Ethernet]** がリストに表示されない場合は、ルータ、Ethernet ケーブル、またはコンピュータに問題がある可能性があります。詳細については、ウィンドウ内の [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

ワイヤレス接続の状態を確認するには

1. コンピュータのワイヤレスがオンになっていることを確認します。(詳細は、コンピュータに付属するドキュメントを参照してください)。
2. 固有のネットワーク名 (SSID) を使用しないと、お使いのワイヤレス コンピュータが、近隣で使われている別のネットワークにつながってしまう可能性があります。
次の手順で、コンピュータが自分のネットワークにつながっているかどうかを確認することができます。

Windows

a. **[スタート]** をクリックし、**[コントロール パネル]** をクリックし、**[ネットワーク接続]** をポイントしてから、**[ネットワークの状態と][タスクの表示]** をクリックします。
または
[スタート] をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** をクリックして、**[ネットワーク接続]** をダブルクリックし、**[表示]** メニューをクリックしてから **[詳細]** を選択します。
次の手順に進んでもネットワークのダイアログ ボックスは開いておきます。

b. 電源コードをワイヤレス ルーターから取り外します。コンピュータの接続状態が **[未接続]** に変わるはずです。

c. 電源コードをワイヤレス ルーターに再び差し込みます。コンピュータの接続状態が **[接続]** に変わるはずです。

Mac OS X

▲ 画面上部のメニューバーの **[AirPort]** アイコンをクリックします。表示されたメニューから、AirPort をオンにするかどうかとどのワイヤレス ネットワークをコンピュータの接続先にするかを指定できます。

注記 AirMac 接続の詳細については、Dock で **[システム環境設定]** をクリックしてから、**[ネットワーク]** をクリックしてください。。AirMac 接続が正常に動作していると、接続のリストで AirMac の横に緑色の点が表示されます。詳細については、ウィンドウ内の [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

お使いのコンピュータをネットワークに接続できない場合、ネットワークを設定した担当者またはルーターの製造元に問い合わせてください。ルーターまたはコンピュータのハードウェアに問題がある可能性があります。

インターネットへのアクセスが可能であり Windows を実行しているコンピュータを使用している場合、ネットワーク設定に役立つ HP Network Assistant (www.hp.com/sbso/wireless/tools-setup.html?jumpid=reg_R1002_USEN) にアクセスすることもできます。(この Web サイトは英語版のみです)。

ステップ 2: プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

プリンタがコンピュータと同じネットワークに接続されていない場合、ネットワーク経由でプリンタを使用できません。このセクションで説明する手順に従って、プリンタが正しいネットワークにアクティブに接続されているかどうか確認してください。

注記 ワイヤレス ルーターまたは Apple AirPort Base Station で隠れた SSID を使用している場合、プリンタはネットワークを自動検出できません。

A: プリンタがネットワークに接続されていることを確認する

1. プリンタが Ethernet ネットワークをサポートしており、Ethernet ネットワークに接続している場合、Ethernet ケーブルがプリンタ背面に差し込まれていないことを確認します。Ethernet ケーブルが背面に差し込まれていると、ワイヤレス接続機能は無効になります。
2. プリンタがワイヤレス ネットワークに接続されている場合、プリンタのワイヤレス構成ページが印刷されます。詳細につ

いては、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

▲ ページが印刷されたら、ネットワーク状態と URL を確認します。

ネットワークのステータス	• ネットワーク状態が準備完了の場合、プリンタはネットワークにアクティブに接続されています。 • ネットワーク状態がオフラインの場合、プリンタはネットワークに接続されません。ワイヤレス ネットワーク テストを実行して (本セクションの最初に記載された手順を使用)、画面に表示される指示に従ってください。
URL	ここで表示される URL はルータによってプリンタに割り当てられたネットワーク アドレスです。このアドレスは組み込み Web サーバへの接続に必要です。

B:EWS にアクセスできるかどうか確認する

▲ コンピュータとプリンタ両方のネットワーク接続が確立すると、これらが同一のネットワーク上にあるかどうかをプリン

タの EWS にアクセスして確認することができます詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

EWS にアクセスするには

a. コンピュータで、Internet Explorer や Safari など通常使う Web ブラウザを開いてインターネットにアクセスします。アドレス ボックスに、ネットワーク設定ページに記載されているプリンタの URL を入力します (例: http://192.168.1.101)。

注記 ブラウザでプロキシ サーバを使用している場合は、EWS にアクセスする前に無効にしておいてください。

b. EWS にアクセスできる場合、プリンタをネットワーク経由で印刷などに使用してみて、ネットワークのセットアップが正しいかどうか確認します。

c. EWSにアクセスできなかったり、ネットワーク経由でまだプリンタを使用できない場合、ファイアウォールに関する次のセクションに進んでください。

ステップ 3:ファイアウォール ソフトウェアが通信をブロックしていないかどうか確認する

コンピュータとプリンタの両方が同一ネットワークに確実に接続されているのに EWS にアクセスできない場合、ファイアウォール セキュリティ ソフトウェアが通信をブロックしている可能性があります。コンピュータで実行中のすべてのファイアウォール セキュリティ ソフトウェアを一時的にオフにしてから、EWS に再度アクセスしてください。EWS にアクセスできたら、印刷などにプリンタを使用してみます。

EWS にアクセスでき、ファイアウォールをオフにした状態でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタがネットワーク上で互いに通信できるように、ファイアウォール設定を再構成する必要があります。詳細については、プリンタを使用できるようにファイアウォールを設定するを参照してください。

EWS にアクセスできるがファイアウォールをオフにしてもプリンタがまだ使用できない場合は、ファイアウォール ソフトウェアがプリンタを認識できるようにしてください。

ステップ 4:プリンタがオンラインで使用可能であることを確認する

HP ソフトウェアをインストールしている場合、プリンタが一時停止またはオフラインのため使用不可になっていないかどうか、コンピュータからプリンタの状態を確認することができます。

プリンタの状態を確認するには、以下の手順を実行します。

Windows

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. コンピュータ上のプリンタが詳細ビューに表示されていない場合は、**[表示]** メニューをクリックしてから、**[詳細]** をクリックします。
3. プリンタの状態に応じて、次のいずれかの操作を行います。
   a. プリンタが **[オフライン]** の場合、プリンタを右クリックして **[プリンタをオンラインで使用する]** をクリックします。
   b. プリンタが **[一時停止]** の場合、プリンタを右クリックして **[印刷の再開]** をクリックします。
4. ネットワーク上でプリンタを使ってみます。

Mac OS X

1. Dock の **[システム環境設定]** で、**[プリントとファクス]** をクリックします。
2. プリンタを選択して **[プリントキュー]** をクリックします。
3. 表示されたウィンドウに **[ジョブは停止されました]** と示される場合、**[ジョブを開始]** をクリックします。

上記の手順を実行してプリンタが使用可能になっても、使用に伴いこのような現象がまだ続く場合、ファイアウォールが妨害している可能性があります。ネットワークを介してプリンタをまだ使用できない場合、次のセクションに進んで別の解決方法をご覧ください。

ステップ 5:ワイヤレス対応のプリンタがデフォルトのプリンタ ドライバとして設定されていることを確認する (Windows のみ)

ソフトウェアを再インストールすると、インストーラにより 2 つめのプリンター ドライバが **[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダに作成される場合があります。プリンターに印刷または接続できない場合、正しいバージョンのプリンター ドライバがデフォルトとして設定されていることを確認します。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダのプリンタ ドライバのバージョンがワイヤレスで接続されているかどうかを確認してください。
   a. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
   b. **[ポート]** タブで、チェックマークの付いたリスト内のポートを探します。ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンには、チェックマークの横にポート説明として **[Standard TCP/IP ポート]** と表示されています。
3. ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

注記 プリンタのフォルダ内に複数のアイコンがある場合、ワイヤレス接続しているプリンタ ドライバのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

ステップ 6:HP ネットワーク デバイス サポート サービスが実行中であることを確認する (Windows のみ)

HP ネットワーク デバイス サポート サービスを再起動するには

1. 印刷待ちのすべての印刷ジョブを削除します。
2. デスクトップで、**[マイ コンピュータ]** または **[コンピュータ]** を右クリックしてから、**[管理]** をクリックします。

3. **[サービスとアプリケーション]** をダブルクリックし、**[サービス]** をクリックします。
4. サービス一覧を下にスクロールし、**[HP ネットワーク デバイス サポート]** を右クリックし、**[再起動]** をクリックします。
5. サービスが再起動したら、ネットワーク上でもう一度プリンタを使ってみます。

ネットワークを介してプリンタを使用できる場合、ネットワーク セットアップは正しく行われています。

ネットワークを介してプリンタをまだ使用できなかったり、ネットワークを介して使用するために、このような手順を定期的に実行しなければならない場合、ファイアウォールが通信を妨害している可能性があります。

それでもまだ使用できない場合、ネットワーク構成またはルーターに問題がある可能性があります。ネットワークをセットアップした担当者またはルーターの製造元にお問い合わせください。

ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストを WAP で構成します。ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。WAP が MAC アドレスをフィルタすると、プリンタの MAC アドレスは WAP の許可された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

- ネットワーク構成ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
- WAP の構成ユーティリティを開き、プリンタのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

プリンタを使用できるようにファイアウォールを設定する

コンピュータでパーソナル ファイアウォールなどのセキュリティ ソフトウェアが動作していると、プリンタとコンピュータ間のネットワーク通信がブロックされることがあります。

このような場合、次のような問題が発生します。

- HP ソフトウェアのインストール中にプリンタが見つからない
- 印刷できない、印刷待ちのジョブが残ったり、プリンタがオフラインになる
- スキャン通信エラーまたはスキャナがビジー状態というメッセージが表示される
- コンピュータでプリンタの状態を確認できない

ファイアウォールにより、プリンタがネットワーク上のコンピュータに自分の場所を知らせることができていない可能性があります。プリンタがネットワーク接続されているのに HP ソフトウェアがインストール中にプリンタを検出できない場合 、または HP ソフトウェアが正しくインストールされているのに問題が発生した場合は、次の方法を実行します。

1. Windows を実行するコンピュータの場合、ファイアウォール構成ユーティリティで、ローカル サブネット (スコープまたはゾーンとも呼びます) 上のコンピュータを信頼するオプションを探します。ローカルサブネット上のすべてのコンピュータを信頼することで、自宅またはオフィスのコンピュータやデバイスはインターネットから保護された状態で互いに通信できるようになります。これが最も簡単な解決方法です。
2. ローカル サブネット上のコンピュータを信頼するオプションが見つからない場合、受信 UDP ポート 427 をファイアウォールの許可ポート リストに追加します。

   注記 すべてのファイアウォールで受信ポートと送信ポートの区別をつける必要はありませんが、その必要があるものがあります。

HP ソフトウェアがファイアウォールによって信頼済みソフトウェアとして設定されていないため、ネットワークにアクセスできないという問題もよくあります。これは、HP ソフトウェアのインストール時に表示される、ファイアウォールに関するダイアログボックスで、[ブロックする] と答えてしまったときに起こります。

Windows を実行しているコンピュータでこれが起きた場合、ファイアウォールの信頼済みアプリケーションのリストに次のプログラムがあることを確認し、なければ追加します。

- **[hpqkygrp.exe]** (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。
- **[hpqscnvw.exe]** (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。
  - または -
  [hpiscnapp.exe] (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。
- **[hpqste08.exe]** (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。
- **[hpqtra08.exe]** (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。
- **[hpqthb08.exe]** (**[C:\program files\HP\digital imaging\bin]** にある)。

注記 ファイアウォールのポートの設定方法および HP ファイルの「信頼」リストへの追加方法については、ファイアウォールの説明書を参照してください。

ファイアウォールによっては、無効に設定したとしても障害を引き起こすものがあります。上記の方法でファイアウォールを構成した後もまだ問題が続く場合、Windows を実行するコンピュータでは、ネットワーク上でプリンタを使用するためにファイアウォールソフトウェアをアンインストールする必要があります。

高度なファイアウォール情報

次のポートは、お使いのプリンタでも使用されるため、ファイアウォールの構成時に開けておく必要があります。受信ポート (UDP) はコンピュータ上の宛先ポートであり、送信ポート (TCP) はプリンタ上の宛先ポートです。

- **受信 (UDP) ポート:** 137, 138, 161, 427
- **送信 (TCP) ポート:** 137, 139, 427, 9100, 9220, 9500

これらのポートは以下の機能のために使用されます。

印刷

- **UDP ポート:** 427, 137, 161
- **TCP ポート:** 9100

フォトカードのアップロード

- **UDP ポート:** 137, 138, 427
- **TCP ポート:** 139

スキャン

- **UDP ポート:** 427
- **TCP ポート:** 9220, 9500

HP プリンタのステータス

UDP ポート: 161

ファクス通信

- **UDP ポート:** 427
- **TCP ポート:** 9220

HP プリンタのインストール

UDP ポート: 427

プリンタの管理に関する問題の解決

このセクションでは、プリンタの管理を含む一般的な問題の解決法を提示します。このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 組み込み Web サーバを開くことができない

注記 組み込み EWS を使用するには、プリンタを Ethernet またはワイヤレス接続でネットワークに接続する必要があります。プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合は組み込み Web サーバを使用できません。

組み込み Web サーバを開くことができない

ネットワーク設定の確認

- 電話コードまたはクロスオーバー ケーブルを使用してプリンタをネットワークに接続していないことを確認します。
- ネットワーク ケーブルがプリンタ本体にしっかりと接続されていることを確認します。
- ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターがオンになり、正しく作動していることを確認します。

コンピュータの確認

お使いのコンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

注記 EWS を使用するには、プリンタを Ethernet またはワイヤレス接続でネットワークに接続する必要があります。プリンタとコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合は組み込み Web サーバを使用できません。

Web ブラウザの確認

- Web ブラウザがシステム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、システム要件を参照してください。
- お使いの Web ブラウザでインターネットに接続するためにプロキシ設定を使用している場合は、これらの設定をオフに設定してみてください。詳細については、使用している Web ブラウザで使用可能なマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザで JavaScript と cookies が有効になっていることを確認してください。詳細については、使用している Web ブラウザで使用可能なマニュアルを参照してください。

プリンタの IP アドレスの確認

- プリンタの IP アドレスを確認するには、ネットワーク設定ページを印刷して IP アドレスを取得します。**[右矢印]** をタッチして、**[セットアップ]**、**[ネットワーク]**、**[ネットワーク設定の印刷]** の順に選択します。
- コマンド プロンプトから、プリンタの IP アドレスを使用して PING コマンドを実行します。

  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを MS-DOS プロンプトに入力します。

  C:\Ping 123.123.123.123

  または Mac OS X の場合、次のいずれかの方法を使用します。

  ◦ ターミナル ([アプリケーション] > [ユーティリティ] フォルダで使用可能) を開いて、次のように入力します。ping 123.123.123

  ◦ ネットワーク ユーティリティ ([アプリケーション] > [ユーティリティ] フォルダから使用可能) を開いて、**[Ping]** タブをクリックします。

  応答が表示された場合、IP アドレスは正しいということです。 タイムアウト応答が表示された場合は、IP アドレスが間違っています。

インストール時の問題のトラブルシューティング

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、HP サポート を参照して HP にサポートを依頼してください。

- ハードウェアのインストールに関する提案
- HP ソフトウェアのインストールに関する提案
- ネットワークの問題の解決

ハードウェアのインストールに関する提案

プリンタの確認

- プリンタの外部および内部からすべての梱包材や梱包用テープが取り外されていることを確認します。
- プリンタに用紙がセットされていることを確認します。
- 準備完了ランプが点灯している以外、点灯または点滅しているランプがないことを確認します。注意ランプが点滅している場合は、プリンタのコントロール パネルに表示されているメッセージを確認してください。

ハードウェアの接続状態を確認する

- 使用しているコードやケーブルが良好な状態であることを確認します。
- プリンタが電源コードでコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

- すべてのプリントヘッドとインク カートリッジが、色分けされたスロットに正しくしっかりと装着されていることを確認します。プリントヘッドをしっかり押し込み、正しく装着したことを確認してください。プリンターは、すべてが取り付けられていないと機能できません。
- プリントヘッドのラッチが正しく閉じられていることを確認します。
- 画面にプリントヘッドのエラー メッセージが表示された場合は、プリントヘッドの接触面をクリーニングします。

HP ソフトウェアのインストールに関する提案

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。
- Windows デバイス マネージャで、USB ドライバが無効にされていないことを確認します。
- コンピュータで Windows を実行していて、コンピュータがプリンターを検知できない場合は、アンインストール ユーティリティ (インストール CD の util\ccc\uninstall.bat) を実行してプリンター ドライバのクリーン アンインストールを実行します。コンピュータを再起動し、プリンター ドライバを再インストールします。

インストールの準備

- オペレーティング システムに対応した HP ソフトウェアが収録されているインストール CD を使用します。
- HP ソフトウェアをインストールする前に、それ以外のプログラムがすべて終了していることを確認します。

- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブのインストール CD を認識できない場合は、インストール CD が破損していないかどうか調べます。プリンタードライバは、HP Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

注記 問題を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

ネットワークの問題の解決

一般的なネットワーク トラブルシューティング

- HP ソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します:
  - コンピュータとプリンタにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
  - ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。
  - Windows を実行しているコンピュータで、ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、ファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが終了しているか、または無効にされている。
  - プリンタを使用するコンピュータと同じサブネット上にプリンタがインストールされていることを確認する。
  - インストール プログラムがプリンタを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、プリンター ドライバに作成されたネットワーク ポートがプリンターの IP アドレスと一致していることを確認します。
  - プリンタのネットワーク設定ページを印刷します。
  - **[スタート]** をクリックして、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
    -または-
    [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。

- ◦ プリンタのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
- ◦ プリンタの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。
- ◦ ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
- ◦ **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

ワイヤ ネットワークへの接続問題

- プリンタのコントロール パネルの **[ネットワーク]** ランプが点灯しない場合は、「一般的なネットワーク トラブルシューティング」の項目がすべて該当することを確認します。
- プリンタに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

プリンタのネットワーク設定をリセットするには

1. 右矢印▶、**[ネットワーク]**、**[デフォルトのネットワークに戻す]** の順にタッチして、**[はい]** を選択します。デフォルトのネットワークに戻ったことを知らせるメッセージが表示されます。
2. 右矢印▶、**[レポート]** の順にタッチして、**[ネットワーク設定ページの印刷]** を選択してネットワーク設定ページを印刷してネットワーク設定がリセットされていることを確認します。

自己診断テスト ページの理解

自己診断テスト ページを使用すると、現在のプリンター情報とインクカートリッジの状態がわかります。自己診断テスト ページは、プリンターの問題のトラブルシューティングに役立てることもできます。

自己診断テスト ページには、最新イベントのログも含まれます。

HP に連絡する場合は、電話をする前に自己診断テスト ページを印刷すると役立ちます。

HP Officejet Pro 8500 A910 Series
Self Test Diagnostic Page

Printer Information

Product name: HP Officejet Pro 8500 A910
Product model number: CM758A
Product serial number: CN01615075
Service ID: 20070
Firmware version: LRL2FA00301N
Auto-duplex unit: Installed
Pages printed: Tray 1=25, Tray 2=0, Total=25, Auto-duplex unit=0
Country/Region: USA
HP-P2(1)
URL: http://0.0.0.0

Ink Cartridge Status

Color	Black	Yellow	Magenta	Cyan
Ink cartridge level*				
Part number	HP 940	HP 940 INTRODUCTORY	HP 940 INTRODUCTORY	HP 940 INTRODUCTORY
Expiration date (Y-M-D)	2012-09-16	2012-09-16	2012-09-16	2012-09-16

*Estimates only. Actual ink levels may vary.

IK 103

Supported Ink Cartridges
Black
-HP 940XL, HP 940
Yellow, Magenta, Cyan
-HP 940XL, HP 940

*Cartridge numbers may differ in some countries/regions.
*Not all cartridges are available in all regions.

Printhead Status

Color	Black/Yellow	Magenta/Cyan
Print Head Health	Good	Good
Part number	HP 940 (C4900A)	HP 940 (C4901A)
Serial #	5185079	5180042
End of warranty date (Y-M-D)	2011-07-16	2011-07-16
Accumulated ink usage (ml)	Black 10/Yellow 4	Magenta 3/Cyan 4

1. **プリンタ情報**： プリンター情報 (プリンター名、モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、取り付けられているアクセサリ (両面印刷ユニットなど)、およびトレイとアクセサリから印刷されたページ数が表示されます。
2. **インク カートリッジの状態**： インクの推定残量レベル (グラフィックスによって表示)、パーツ番号、およびインク カートリッジの有効期限が表示されます。

   注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

3. **プリントヘッドの状態**： プリントヘッドの状態、パーツ番号、最初に取り付けられた日付、およびプリントヘッドの保証期限日、累計インク使用量が表示されます。プリントヘッドのステータス オプションは次のとおりです。良好、正常、および交換です。ステータスが「正常」である場合は印刷品質を監視する必要がありますが、プリントヘッドを交換する必要はありません。ステータスが「交換」であれば、プリントヘッドを交換する必要があります。

自己診断テスト ページを印刷するには

[ホーム] 画面から、右矢印▶ をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。**[レポート]** をタッチして、**[プリンター ステータス レポート]** を選択します。

ネットワーク設定ページの理解

プリンタをネットワークに接続すると、ネットワーク設定ページを印刷してプリンタのネットワーク設定を確認できます。ネットワーク接続に関する問題の解決に役立てるために、ネットワーク設定ページを

使用できます。HP に問い合わせるとき、事前にこのページを印刷しておくと、問題の解決に役立ちます。

1. **一般情報:** ネットワークの現在の状態とアクティブな接続タイプに関する情報と、組み込み Web サーバの URL などのそれ以外の情報が表示されます。
2. **802.3 有線 LAN:** IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどのアクティブな有線ネットワーク接続に関する情報と、プリンタのハードウェア アドレスが表示されます。
3. **802.11 ワイヤレス (一部のモデル):** ホスト名、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイ、サーバなどのワイヤレス ネットワーク接続に関する情報が表示されます。

4. **その他**： より詳細なネットワーク設定に関する情報が表示されます。
   - **ポート 9100**：プリンターでは、TCP ポート 9100 経由の Raw IP 印刷がサポートされています。プリンターにある HP 独自のこの TCP/IP ポートは、印刷用のデフォルト ポートです。このポートには、HP ソフトウェアからアクセスします (例：HP Standard Port)。
   - **LPD**：LPD (Line Printer Daemon) とは、各種の TCP/IP システムにインストールされるラインプリンタのスプーリング・サービスに関係するプロトコルとプログラムのことです。

     注記 LPD の機能は、RFC 1179 文書に準拠する LPD のホスト インプリメンテーションのすべてに使用できます。ただし、プリンター スプーラーの設定手順は異なる場合があります。プリンター スプーラーの設定方法については、システムのマニュアルを参照してください。

   - **Bonjour**：Bonjour サービス (mDNS、つまり、Multicast Domain Name System を使用している) は主に、従来の DNS サーバーが使用されていない小規模なネットワークで (UDP ポート 5353 を介した) IP アドレスと名前の解決に使用されます。
   - **SLP**：SLP (Service Location Protocol) はインターネットの標準的なネットワーク プロトコールで、ネットワーク アプリケーションがエンタープライズ　ネットワークのネットワーク　サービスの存在、位置、および構成を発見するようにフレームワークを提供します。このプロトコルは、プリンター、Web サーバー、ファクス機、ビデオ カメラ、ファイル システム、バックアップ デバイス (テープ ドライブ)、データベース、ディレクトリ、メール サーバー、カレンダーなどのネットワーク リソースの検出と使用を単純化します。

- **Microsoft Web Services**：プリンターでサポートされている Microsoft Web Services Dynamic Discovery (WS Discovery) プロトコルまたは Microsoft Web Services for Devices (WSD) Print サービスの有効/無効を切り替えます。使用されていない印刷サービスを無効にし、それらのサービスからのアクセスを遮断します。

  注記 WS Discovery と WSD Print の詳細については、www.microsoft.com を参照してください。

- **SNMP**：SNMP (Simple Network Management Protocol) は、デバイス管理のために、ネットワーク管理アプリケーションが使用します。プリンタは IP ネットワーク上で SNMPv1 プロトコルをサポートしています。
- **WINS**：ネットワークに DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーがある場合、WINS サーバーの IP アドレスが指定されている限り、プリンターは DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得し、その名前を RFC 1001 と 1002 適合のダイナミック ネーム サービスに登録します。

5. **接続されている PC**：このプリンターに接続されているコンピューター、およびそれらのコンピューターが前回プリンターにアクセス時刻をリストします。

プリンタのコントロール パネルからネットワーク設定ページを印刷するには

[ホーム] 画面から、右矢印 をタッチして、**[セットアップ]** を選択します。**[レポート]** をタッチして、**[ネットワーク設定ページ]** を選択します。

メディア詰まりの除去

ジョブの実行中、本体内にメディアが詰まることがあります。 詰まったメディアを取り除く前に、以下のことを確認してください。

- 仕様に準拠したメディアで印刷していることを確認します。 詳細については、メディア仕様を参照してください。
- しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、傷んでいるメディアを使用していないことを確認します。

- プリンターが汚れていないことを確認します。詳細については、プリンタの保守を参照してください。
- トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 紙詰まりの除去
- 紙詰まりの防止

紙詰まりの除去

給紙トレイに用紙をセットした場合は、必要に応じて、印刷ユニットから詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。 次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。自動ドキュメント フィーダにセット可能な原稿の最大数については、メディア仕様を参照してください。
- プリンターで厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用する。
- プリンターの給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加する。

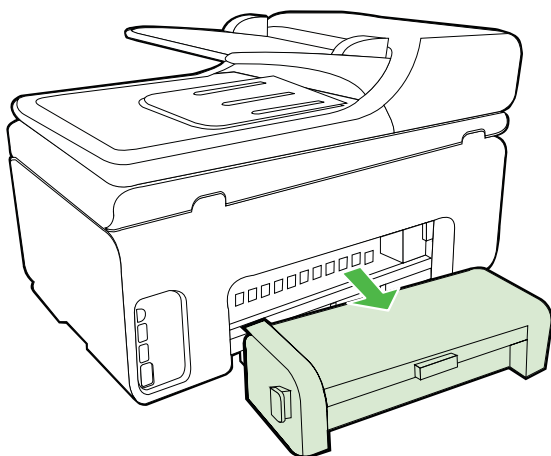
メディア詰まりを除去するには

紙詰まりを解消するには、次の手順を実行します。

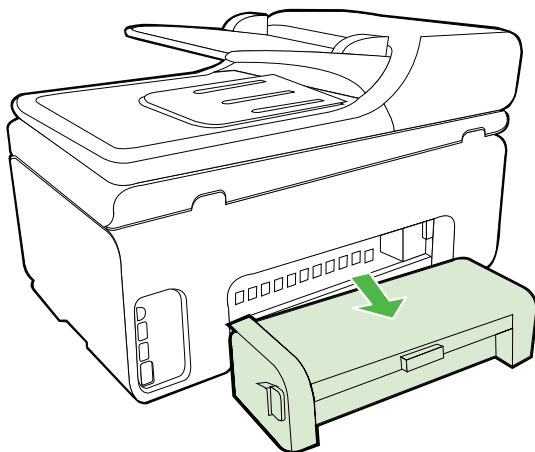
1. すべてのメディアを排紙トレイから取り除きます。

   △ **注意** プリンターの正面から詰まった紙を取り除くと、プリンター本体が損傷する場合があります。必ず両面印刷ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。

2. 両面印刷ユニットを確認します。

   a. 両面印刷ユニットの両側にあるボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。

   b. プリンター内部につまったメディアを見つけ、両手でつかんで手前に引きます。

   c. そこにメディアがない場合は、両面印刷ユニット上部のラッチを押し、ユニットのカバーを下げます。 内部にメディ

アが詰まっている場合は、メディアを慎重に取り除きます。 カバーを閉じます。

d. 両面印刷ユニットをプリンターに再挿入します。

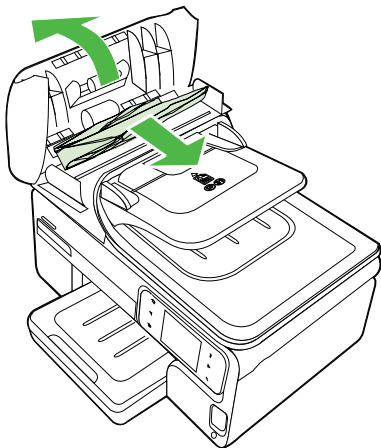
3. 上部カバーを開けて、ゴミがあれば取り除きます。
4. メディアが見つからず、トレイ 2 が挿入されている場合は、トレイを引き出して詰まったメディアを取り除きます。 取り除くことができない場合は、以下を行います：
   a. プリンターの電源が切ってあることを確認し、電源コードを外します。
   b. プリンターを持ち上げてトレイ 2 から外します。
   c. プリンターの下部またはトレイ 2 から詰まっているメディアを取り除きます。
   d. 再度トレイ 2 の上にプリンターをセットします。

5. プリントキャリッジ アクセス ドアを開きます。プリンター内に用紙が残っている場合は、キャリッジがプリンターの右端に戻っていることを確認し、紙切れやしわのよったメディアを取り除いてプリンター上部からメディアを手前に引きます。

   ⚠ **警告**　プリンターの電源が入っていて、キャリッジが戻っていない場合は、プリンター内部に手を入れないでください。プリントキャリッジ アクセス ドアを開くと、通常、キャリッジはプリンターの右側の位置に戻ります。右端に戻らない場合は、紙詰まりを取り除く前にプリンターの電源を切ります。

6. メディア詰まりを除去した後は、すべてのカバーを閉じてプリンターの電源を入れ (電源が入っていない場合)、印刷ジョブを再度送信します。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

△ **注意** ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、プリンターの中に紙切れが残っていないか確認してください。プリンター本体に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットする用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用のプリンターで推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、メディア仕様を参照してください。

A　技術情報

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 保証情報
- プリンタの仕様
- 法規について
- 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム
- サードパーティ ライセンス

保証情報

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- Hewlett-Packard による限定保証保証保証
- インク カートリッジ保証情報

Hewlett-Packard による限定保証保証保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア メディア	90 日
プリンタ	1 年
プリントまたはインク カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
印字ヘッド（顧客が交換可能な製品にのみ適用）	1 年
アクセサリ	90 日

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定
   国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

インク カートリッジ保証情報

HP によるカートリッジの保証は、製品が指定された HP の印刷デバイスで使用されている場合に適用されます。本保証は、補充、再製品化、修理調整されたもの、または改ざんされた HP 純正インク製品については対象外になります。

保証期間中、HP 製インクが消耗していないことと、保証期限日付に達していないことを条件として、製品に保証が適用されます。保証期間終了日は、製品に YYYY-MM 形式で表示されている場合があります。

プリンタの仕様

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

物理的仕様

注記 モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

サイズ (幅 x 高さ x 奥行き)

HP OfficeJet Pro 8500A (A910a-f)：502 x 283 x 472 mm (19.8 x 11.1 x 18.6 インチ)

HP OfficeJet Pro 8500A (A910g-z)：502 x 306 x 472 mm (19.8 x 12.1 x 18.6 インチ)

トレイ 2 取り付け時: 67 mm (2.6 インチ) をプリンタの高さに追加します。

プリンタ重量 (印刷サプライ品は含まず)

HP OfficeJet Pro 8500A (A910a-f) 11.5 kg (25.4 lb)

HP OfficeJet Pro 8500A (A910g-z)：12.3 kg (27.1 lb)

トレイ 2 取り付け時: 2.7 kg (6.0 ポンド) を追加します。

製品機能と容量

機能	容量
接続	• USB 2.0 準拠 • USB ホスト コネクタは、フル スピードまでしかサポートされていません。 • 802.11b/g/n ワイヤレス • 有線ネットワーク
印刷方式	オンデマンド型サーマル インクジェット印刷
インク カートリッジ	4 種類のインク カートリッジ (黒、シアン、マゼンタ、およびイエロー各 1 つ) **注記** 一部のインク カートリッジは、国/地域によっては取り扱われていません。
プリントヘッド	2 種類のプリントヘッド (黒、シアン、イエロー、およびマゼンタ各 1 つ)
印刷可能枚数	インク カートリッジの推定残量の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies/ を参照してください。
プリンターの言語	HP PCL 3
サポートするフォント	US フォント： CG Times、CG Times Italic、Universe、Universe Italic、Courier、Courier Italic、Letter Gothic、Letter Gothic Italic。
負荷サイクル	15,000 ページ/月まで
プリンターのコントロール パネルの言語のサポート	ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、

機能	容量
使用可能な言語は国/地域によって異なります。	ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語、トルコ語。

プロセッサとメモリの仕様

プリンター プロセッサ

ARM R4

プリンター メモリー

HP OfficeJet Pro 8500A (A910a-f)：64 MB 内蔵 RAM

HP OfficeJet Pro 8500A (A910g-z)：128 MB 内蔵 RAM

システム要件

注記 サポートされているオペレーティング システムとシステム要件の最新情報については、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。

オペレーティング システムとの互換性

- Windows XP サービスパック 2、Windows Vista、Windows 7
- Mac OS X v10.5、v10.6
- Linux (詳細については、http://hplipopensource.com/hplip-web/index.html を参照してください)

最小システム要件

- Microsoft Windows 7：1 GHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサー、1 GB (32 ビット) または 2 GB (64 ビット) RAM、1.5 GB のハード ディスク空き容量、CD-ROM/DVD ドライブまたはインターネット接続、USB ポート
- Microsoft Windows Vista: 800 MHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサー、512 MB RAM、2.0 GB のハード ディスク空き容量、CD-ROM/DVD ドライブまたはインターネット接続、USB ポート

- Microsoft Windows XP (32 ビット) サービスパック 2: Intel® Pentium® II、Celeron® または互換性のあるプロセッサー、233 MHz 以上、128 MB RAM、750 MB のハード ディスク空き容量、CD-ROM/DVD ドライブまたはインターネット接続、USB ポート
- Mac OS X v10.5.8、v10.6：PowerPC G4、G5、または Intel Core プロセッサー、300 MB のハード ディスク空き容量

ネットワーク プロトコルの仕様

ネットワーク オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows XP (32 ビット) (Professional および Home Edition)、Windows Vista 32 ビットおよび 64 ビット (Ultimate、Enterprise および Business Edition)、Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット)。
- Windows Small Business Server 2003 32 ビットおよび 64 ビット、Windows 2003 Server 32 ビットおよび 64 ビット、Windows 2003 Server R2 32 ビットおよび 64 ビット (Standard Edition、Enterprise Edition)
- Windows Small Business Server 2008 64 ビット、Windows 2008 Server 32 ビットおよび 64 ビット、Windows 2008 Server R2 64 ビット (Standard Edition、Enterprise Edition)
- Citrix XenDesktop 4
- Citrix XenServer 5.5
- Mac OS X v.10.5、v10.6
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.5
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix XenApp 5.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2003 Small Business Server Terminal Services
- Microsoft Windows Server 2008 Terminal Services
- Microsoft Windows Small Business Server 2008 Terminal Services
- Microsoft Windows 2008 Server Terminal Services と Citrix XenApp 5.0
- Novell Netware 6.5、Open Enterprise Server 2

互換性のあるネットワーク プロトコル

TCP/IP

ネットワーク管理

組み込み Web サーバー (ネットワーク プリンターをリモート設定および管理する機能)

組み込み Web サーバの仕様

必要な条件

- TCP/IP ベースのネットワーク (IPX/SPX ベースのネットワークはサポートされていません)
- Web ブラウザー (Microsoft Internet Explorer 7.0 以降、Opera 8.0 以降、Mozilla Firefox 2.0 以降、Safari 3.0 以降、または Google Chrome 3.0 以降)
- ネットワーク接続 (USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、組み込み Web サーバは使用できません)
- インターネット接続 (一部の機能で必要)

注記 組み込み Web サーバーはインターネットに接続せずに開くことができます。ただし、一部の機能が使用できません。

注記 組み込み Web サーバは、プリンタとファイアウォールの同じ側になければなりません。

メディア仕様

これらの表を使用して、プリンタで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

- サポートされたメディアの仕様の理解
- 最小余白の設定
- ページの両面に印刷する場合のガイドライン

サポートされたメディアの仕様の理解

表を使用して、プリンタで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

- 使用可能なサイズの理解
- 使用可能なメディアのタイプと重量の理解

使用可能なサイズの理解

注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
標準サイズのメディア				
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔	✔
216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)*	✔	✔		
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔	✔		✔
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)*	✔	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	✔	✔
U.S. ステートメント (140 x 216 mm、5.5 x 8.5 インチ)	✔			
B5 (JIS) (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)*	✔	✔	✔	✔
A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)*	✔		✔	
6 x 8 インチ	✔		✔	
封筒				
米国 10 号封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)	✔			
Monarch 封筒 (98 x 191 mm、3.88 x 7.5 インチ)	✔			
カード封筒 (111 x 152 mm;4.4 x 6 インチ)	✔			

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
A2 招待状用封筒 (111 x 146 mm、4.37 x 5.75 インチ)	✔			
DL 封筒 (110 x 220 mm、4.3 x 8.7 インチ)	✔			
C5 封筒 (162 x 229 mm、6.4 x 9 インチ)	✔			
C6 封筒 (114 x 162 mm、4.5 x 6.4 インチ)	✔			
封筒長形 3 号 (120 x 235 mm、4.7 x 9.3 インチ)	✔			
封筒長形 4 号 (90 x 205 mm、3.5 x 8.1 インチ)	✔			
カード				
インデックス カード (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)	✔			
インデックス カード (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		✔	
インデックス カード (127 x 203 mm、5 x 8 インチ)	✔		✔	
A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)*	✔		✔	
A4 インデックス カード (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔		✔	

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
はがき** (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)*	✔			
往復ハガキ** (200 x 148 mm、7.8 x 5.8 インチ)	✔			
フォト メディア				
フォト メディア (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)	✔			
フォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔			
フォト メディア (5 x 7 インチ)*	✔			
フォト メディア (8 x 10 インチ)*	✔			
フォト メディア (8.5 x 11 インチ)*	✔			
L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)*	✔			
2L 判 (127 x 178 mm)*	✔			
13 x 18 cm*	✔			
それ以外のメディア				
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 356 mm まで (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 5 ～ 14 インチまで) のカスタムサイズの用紙	✔			
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm まで (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチま				✔

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
で) のカスタムサイズのメディア (ADF)				

* これらのサイズはフチ無し印刷に使用できます。

** 本プリンタは日本郵政公社の普通ハガキおよびインクジェットハガキにのみ対応しています。日本郵政公社の写真用ハガキには対応していません。

使用可能なメディアのタイプと重量の理解

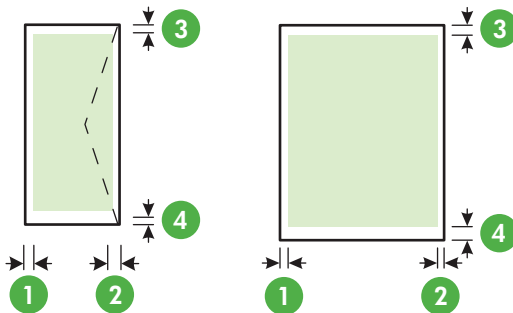
注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。

トレイ	種類	重量	容量
トレイ 1	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1 インチ)
	OHP 用紙		最高 70 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト メディア	250 g/m^2 (66 lb ボンド紙)	最高 100 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		最高 100 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75 ～ 90 g/m^2 (ボンド紙封筒 20 ～ 24 ポンド)	最高 30 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m^2 まで	80 枚まで

(続き)

トレイ	種類	重量	容量
		(インデックス カード 110 ポンド)	
トレイ 2	普通紙のみ	60 ～ 105 g/m² (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙で 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1.0 インチ)
両面印刷ユニット	用紙	60 ～ 105 g/m² (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	該当せず
排紙ビン	使用可能なすべてのメディア		普通紙 150 枚まで (テキスト印刷)
自動ドキュメント フィーダ	用紙	60～75 g/m² (16 ～ 20 lb ボンド)	50 枚

最小余白の設定

文書のマージンは、縦方向に指定されたマージン以上に設定する必要があります。

メディア	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下余白
U.S. レター	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 イ

(続き)

メディア	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下余白
U.S. リーガル A4 U.S. エグゼクティブ U.S. ステートメント 8.5 x 13 inch B5 A5 カード カスタムサイズのメディア フォト メディア				ンチ (Windows) 0.47 インチ (Macintosh および Linux))
封筒	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)

注記 両面印刷ユニット使用中、上部と下部の最小余白は 12 mm (0.47 インチ) 以上でなければなりません。

ページの両面に印刷する場合のガイドライン

- プリンタの仕様に適合した用紙を必ず使用してください。詳細については、メディア仕様を参照してください。
- アプリケーションまたはプリンタ ドライバで 2 面印刷オプションを指定します。
- OHP フィルム、封筒、フォト用紙、光沢のあるメディア、60 g/m ^{2} (ボンド紙 16 ボンド) 未満の用紙、または 105 g/m ^{2} (ボンド紙 28 ポンド) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。 これらの用紙では、紙詰まりの原因となる場合があります。
- メディアの種類によっては、ページの両面に印刷する際に特定の方向にセットする必要があります。このようなメディアには、レターヘッド、プレプリント用紙、透かし模様やあらかじめ穴があけられている用紙などが含まれます。Windows を実行しているコンピュータから印刷すると、メディアの最初の面から印刷されます。正面を下に向けてメディアをセットします。

- 両面印刷でメディアの片面に印刷されると、インクが乾燥する間、プリンタはメディアを保留して待機します。インクが乾燥すると、メディアはプリンタに再度給紙され、2 番目の面が印刷されます。印刷が完了すると、用紙は排紙トレイに排出されます。印刷が完了するまで、用紙をつかまないでください。
- サポートされているカスタムサイズのメディアの両面に印刷するには、用紙の上下を逆にして、もう一度プリンタに給紙します。詳細については、メディア仕様を参照してください。

印刷の仕様

モノクロ印刷の解像度

ピグメント ブラック インクで最高 1200 dpi

カラー印刷の解像度

HP ではフォト品質を Vivera インクにより改善しています (最高 4800 X 1200 dpi 最適化、1200 X 1200 入力 dpi で HP プレミアム プラス フォト用紙使用)

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 99 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25～400% (モデルによって異なります)
- 用紙適合、コピーのプレビュー

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能。
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)。
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート。
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)。
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 33.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え。

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

PC ファクス受信の仕様

- サポートされるファイルの種類： 未圧縮 TIFF
- サポートされるファクス形式： モノクロ ファクス

スキャンの仕様

- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ）
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度: 4800 x 4800 ppi 光学解像度
- カラー : 24 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調)
- ガラス面からの最大スキャン サイズ:
  HP Officejet Pro 8500A (A910a-f)：216 x 297 mm 8.5 x 11.7 インチ
  HP Officejet Pro 8500A (A910g-z)：216 x 356 mm 8.5 x 14 インチ

注記 モデル番号を調べるには、プリンタのモデル番号を調べるを参照してください。

- ADF からの最大スキャン サイズ： 216 x 356 mm 8.5 x 14 インチ

HP Web サイトの仕様

このプリンターには、次の Web 対応機能を使用できます。

- HP Apps
- Marketsplash by HP
- HP ePrint

必要な条件

- Web ブラウザー (Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Mozilla Firefox 2.0 以降、または Safari 3.2.3 以降、または Google Chrome 3.0) と Adobe Flash プラグイン (バージョン 10 以降)
- インターネット接続

環境仕様

動作環境

動作温度： 摂氏 5°～ 40°C (華氏 41°～ 104°F)

動作時推奨条件: 摂氏 15°～ 32°C (華氏 59°～ 90°F)

推奨相対湿度: 25 ～ 75% 結露しないこと

保管環境

保管温度:-40° ～ 60° C (-40° ～ 140° F)

保管相対湿度:60°C (140°F) の温度で最高 90%、結露しないこと

電気仕様

電源

ユニバーサル電源アダプタ (外部)

所要電力

入力電圧: 100 ～ 240 VAC (± 10%)、50/60 Hz (± 3Hz)

出力電圧：2500 mA で 32 Vdc

電力消費

印刷時 30 W (高速ドラフト モード)、コピー時 32 W (高速ドラフト モード)

発生音量仕様

ドラフト モードで印刷、ISO 7779 に基づくノイズ レベル

HP Officejet Pro 8500A (A910a-f)

- 音圧 (そばに立っている状態)
  LpAm 57 (dBA) (mono Draft print)
- 音響
  LwAd 7.1 (BA)

HP Officejet Pro 8500A (A910g-z)

- 音圧 (そばに立っている状態)
  LpAm 56 (dBA) (mono Draft print)
- 音響
  LwAd 7.0 (BA)

メモリ デバイスの仕様

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- メモリ カードの仕様
- USB フラッシュ ドライブ

メモリ カードの仕様

仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 推奨最大ファイル サイズ(個別): 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- 推奨最大メモリ カード サイズ: 1 GB (半導体メモリのみ)

> **注記** メモリ カードの最大推奨値に近づくと、プリンタのパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- Secure Digital
- High Capacity Secure Digital
- Memory Stick
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

USB フラッシュ ドライブ

USB フラッシュ ドライブ

HP では、このプリンタで次の USB フラッシュ ドライブを完全にテストしています。

- **SanDisk Cruzer Micro**： 高速、0120-256、256 MB
- **Iomega Micro Mini**： フル速度、064-0417450-YCAE032171、128 MB
- **Kingston DataTraveler II**： 高速、KF112504 f5274-006、128 MB および 256 MB
- **Lexar Media JumpDrive:** 256 MB

> **注記** プリンタには他の USB フラッシュ ドライブを使用できる場合もあります。ただし、他のプリンタは完全にテストされていないため、プリンタで適切に動作するかどうかは保証できません。

法規について

プリンタは、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- FCC 準拠声明
- 韓国のユーザーに対する告知
- 日本のユーザーに対するVCCI (Class B) 準拠規定
- 日本のユーザーに対する電源コードに関する告知
- ドイツにおけるノイズ発生量声明書
- LED 表示に関する声明
- ドイツ向け周辺機器の筐体の光沢
- Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements
- カナダ電話網ユーザーへの告知
- ヨーロッパエコノミックエリア電話網ユーザーへの告知
- Notice to users of the German telephone network
- Australia wired fax statement
- ワイヤレス製品の法規規定
- 規制モデル番号
- 適合宣言書

FCC 準拠声明

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company
3000 Hanover Street
Palo Alto, Ca 94304
(650) 857-1501

Modifications (part 15.21)

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP may void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

韓国のユーザーに対する告知

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本のユーザーに対するVCCI (Class B) 準拠規定

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

日本のユーザーに対する電源コードに関する告知

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

ドイツにおけるノイズ発生量声明書

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

LED 表示に関する声明

LED indicator statement

The display LEDs meet the requirements of EN 60825-1.

ドイツ向け周辺機器の筐体の光沢

Das Gerät ist nicht für die Benutzung im unmittelbaren Gesichtsfeld am Bildschirmarbeitsplatz vorgesehen. Um störende Reflexionen am Bildschirmarbeitsplatz zu vermeiden, darf dieses Produkt nicht im unmittelbaren Gesichtsfeld platziert werden.

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service. If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.

Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

カナダ電話網ユーザーへの告知

Note à l’attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/Notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d’Industrie Canada. Le numéro d’enregistrement atteste de la conformité de l’appareil. L’abréviation IC qui précède le numéro d’enregistrement indique que l’enregistrement a été effectué dans le cadre d’une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d’Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l’appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s’assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d’alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d’alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d’une interface peut se composer de n’importe quelle combinaison d’appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The REN (Ringer Equivalence Number) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

ヨーロッパエコノミックエリア電話網ユーザーへの告知

Notice to users in the European Economic Area

CE

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

Hinweis für Benutzer des deutschen Telefonnetzwerks

Dieses HP-Fax ist nur für den Anschluss eines analogen Public Switched Telephone Network (PSTN) gedacht. Schließen Sie den TAE N-Telefonstecker, der im Lieferumfang des HP All-in-One enthalten ist, an die Wandsteckdose (TAE 6) Code N an. Dieses HP-Fax kann als einzelnes Gerät und/oder in Verbindung (mit seriellem Anschluss) mit anderen zugelass-enen Endgeräten verwendet werden.

Australia wired fax statement

In Australia, the HP device must be connected to Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

ワイヤレス製品の法規規定

このセクションでは、ワイヤレス製品に関する以下の規制事項について説明します。

- Exposure to radio frequency radiation
- Notice to users in Brazil

- Notice to users in Canada
- Notice to users in Taiwan
- European Union regulatory notice

Exposure to radio frequency radiation

Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

Notice to users in Brazil

Aviso aos usuários no Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001).

Notice to users in Canada

Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs canadiens

For Indoor Use. This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 and RSS GEN of Industry Canada.

Utiliser à l'intérieur. Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 and RSS GEN d'Industrie Canada.

Notice to users in Taiwan

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫藥用電波輻射性電機設備之干擾。

European Union regulatory notice

European Union Regulatory Notice

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

CE compliance of this product is valid only if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

If this product has telecommunications functionality, it also complies with the essential requirements of the following EU Directive:

- R&TTE Directive 1999/5/EC

Compliance with these directives implies conformity to harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family. This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product.

The wireless telecommunications functionality of this product may be used in the following EU and EFTA countries:

Austria, Belgium, Bulgaria, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovak Republic, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland and United Kingdom.

Products with 2.4-GHz wireless LAN devices

France

For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This product may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band (channels 1-9) may be used. For the latest requirements, see http://www.art-telecom.fr.

Italy

License required for use. Verify with your dealer or directly with the General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

規制モデル番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。ご使用の製品の規制モデル番号は、SNPRC-1000-01 です。この法規モデル番号は、マーケティング用の名前 (HP Officejet Pro 8500A (A910) e-All-in-One series) または製品番号と混乱しないようにしてください。

適合宣言書

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name:	Hewlett-Packard Company	DoC#: SNPRC-1001-01-A
Supplier's Address:	138, Depot Road, #02-01,#04-01 Singapore 109683	

declares, that the product

Product Name and Model:	HP Officejet Pro 8500A e-All-in-One, HP Officejet Pro 8500A Plus e-All-in-One HP Officejet Pro 8500A Premium e-All-in-One
Regulatory Model Number:[1)]	SNPRC-1001-01
Product Options:	C9101A / Automatic 2-Sided Printing Device CM759A / 2nd Tray
Power adaptor:	0957-2262, 0957-2283
Radio Module Number:	SDGOB-0892

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

Safety:	IEC 60950-1, Ed 2 (2005) / EN 60950-1, Ed 2 (2006) EN 62311:2008
EMC:	CISPR 22:2005 +A1:2005 / EN55022:2006 +A1:2007 Class B EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003 EN 61000-3-2:2006 EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001 + A2:2005 FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B
Telecom:	EN 301 489-1 V1.8.1:2008 / EN 301 489-17 V1.3.2:2008 EN 300 328 V1.7.1 : 2006 TBR 21: 1998[3)] FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68 TIA-968-A-1+A-2+A-3+A-4+A-5 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005
Energy Use:	Regulation (EC) No. 1275/2008 ENERGY STAR® Qualified Imaging Equipment Operational Mode (OM) Test Procedure Regulation (EC) No. 278/2009 Test Method for Calculating the Energy Efficiency of Single-Voltage External AC-DC and AC-AC Power supplies

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC, EuP Directive 2005/32/EC, the R&TTE Directive 99/5/EC and the European Council Recommendation 1999/519/EC on the limitation of Electromagnetic fields to the general public and carries the CE marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.
6. The power adapter 0957-2283 is for India and China market only.

Singapore
January 2010

Yik Hou Meng
Product Regulations Manager
Customer Assurance, Business Printing Division

Local contact for regulatory topics only:
EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品では、再利用を考慮した設計を取り入れています。高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類は最小限にとどめられています。素材が異なる部分は、簡単に分解できるように作られています。金具などの接合部品は、作業性を考慮した分かりやすい場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。重要な部品も手の届きやすい場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

詳細については、 HP Web サイトの次のアドレスにある「環境保護ホーム」にアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

用紙の使用

本製品は DIN 19309 と EN 12281:2002 にしたがったリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

化学物質安全性データシート

化学物質等安全データシート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

リサイクルプログラム

HP は世界中の国/地域で、大規模なエレクトロニクス リサイクルセンターと提携して、さまざまな製品回収およびリサイクルプログラムを次々に実施しております。また、弊社の代表的製品の一部を再販することで、資源を節約

しています。HP製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HPのインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジおよびインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

English

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Households in the European Union
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Français

Évacuation des équipements usagés par les utilisateurs dans les foyers privés au sein de l'Union européenne
La présence de ce symbole sur le produit ou sur son emballage indique que vous ne pouvez pas vous débarrasser de ce produit de la même façon que vos déchets courants. Au contraire, vous êtes responsable de l'évacuation de vos équipements usagés et, à cet effet, vous êtes tenu de les remettre à un point de collecte agréé pour le recyclage des équipements électriques et électroniques usagés. Le tri, l'évacuation et le recyclage séparés de vos équipements usagés permettent de préserver les ressources naturelles et de s'assurer que ces équipements sont recyclés dans le respect de la santé humaine et de l'environnement. Pour plus d'informations sur les lieux de collecte des équipements usagés, veuillez contacter votre mairie, votre service de traitement des déchets ménagers ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Deutsch

Entsorgung von Elektrogeräten durch Benutzer in privaten Haushalten in der EU
Dieses Symbol auf dem Produkt oder dessen Verpackung gibt an, dass das Produkt nicht zusammen mit dem Restmüll entsorgt werden darf. Es obliegt daher Ihrer Verantwortung, das Gerät an einer entsprechenden Stelle für die Entsorgung oder Wiederverwertung von Elektrogeräten aller Art abzugeben (z.B. ein Wertstoffhof). Die separate Sammlung und das Recyceln Ihrer alten Elektrogeräte zum Zeitpunkt ihrer Entsorgung trägt zum Schutz der Umwelt bei und gewährleistet, dass sie auf eine Art und Weise recycelt werden, die keine Gefährdung für die Gesundheit des Menschen und der Umwelt darstellt. Weitere Informationen darüber, wo Sie alte Elektrogeräte zum Recyceln abgeben können, erhalten Sie bei den örtlichen Behörden, Wertstoffhöfen oder dort, wo Sie das Gerät erworben haben.

Italiano

Smaltimento di apparecchiature da rottamare da parte di privati nell'Unione Europea
Questo simbolo che appare sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere smaltito assieme agli altri rifiuti domestici. Gli utenti devono provvedere allo smaltimento delle apparecchiature da rottamare portandole al luogo di raccolta indicato per il riciclaggio delle apparecchiature elettriche ed elettroniche. La raccolta e il riciclaggio separati delle apparecchiature da rottamare in fase di smaltimento favoriscono la conservazione delle risorse naturali e garantiscono che tali apparecchiature vengano rottamate nel rispetto dell'ambiente e della tutela della salute. Per ulteriori informazioni sui punti di raccolta delle apparecchiature da rottamare, contattare il proprio comune di residenza, il servizio di smaltimento dei rifiuti locale o il negozio presso il quale è stato acquistato il prodotto.

Español

Eliminación de residuos de aparatos eléctricos y electrónicos por parte de usuarios domésticos en la Unión Europea
Este símbolo en el producto o en el embalaje indica que no se puede desechar el producto junto con los residuos domésticos. Por el contrario, si debe eliminar este tipo de residuo, es responsabilidad del usuario entregarlo en un punto de recogida designado de reciclado de aparatos electrónicos y eléctricos. El reciclaje y la recogida por separado de estos residuos en el momento de la eliminación ayudará a preservar recursos naturales y a garantizar que el reciclaje proteja la salud y el medio ambiente. Si desea información adicional sobre los lugares donde puede dejar estos residuos para su reciclado, póngase en contacto con las autoridades locales de su ciudad, con el servicio de gestión de residuos domésticos o con la tienda donde adquirió el producto.

Česky

Likvidace vysloužilého zařízení uživateli v domácnosti v zemích EU
Tato značka na produktu nebo na jeho obalu označuje, že tento produkt nesmí být likvidován prostým vyhozením do běžného domovního odpadu. Odpovídáte za to, že vysloužilé zařízení bude předáno k likvidaci do stanovených sběrných míst určených k recyklaci vysloužilých elektrických a elektronických zařízení. Likvidace vysloužilého zařízení samostatným sběrem a recyklací napomáhá zachování přírodních zdrojů a zajišťuje, že recyklace proběhne způsobem chránícím lidské zdraví a životní prostředí. Další informace o tom, kam můžete vysloužilé zařízení předat k recyklaci, můžete získat od úřadů místní samosprávy, od společnosti provádějící svoz a likvidaci domovního odpadu nebo v obchodě, kde jste produkt zakoupili.

Dansk

Bortskaffelse af affaldsudstyr for brugere i private husholdninger i EU
Dette symbol på produktet eller på dets emballage indikerer, at produktet ikke må bortskaffes sammen med andet husholdningsaffald. I stedet er det dit ansvar at bortskaffe affaldsudstyr ved at aflevere det på dertil beregnede indsamlingssteder med henblik på genbrug af elektrisk og elektronisk affaldsudstyr. Den separate indsamling og genbrug af dit affaldsudstyr på tidspunktet for bortskaffelse er med til at bevare naturlige ressourcer og sikre, at genbrug finder sted på en måde, der beskytter menneskers helbred samt miljøet. Hvis du vil vide mere om, hvor du kan aflevere dit affaldsudstyr til genbrug, kan du kontakte kommunen, det lokale renovationsvæsen eller den forretning, hvor du købte produktet.

Nederlands

Afvoer van afgedankte apparatuur door gebruikers in particuliere huishoudens in de Europese Unie
Dit symbool op het product of de verpakking geeft aan dat dit product niet mag worden afgevoerd met het huishoudelijk afval. Het is uw verantwoordelijkheid uw afgedankte apparatuur af te leveren op een aangewezen inzamelpunt voor de verwerking van afgedankte elektrische en elektronische apparatuur. De gescheiden inzameling en verwerking van uw afgedankte apparatuur draagt bij tot het sparen van natuurlijke bronnen en tot het hergebruik van materiaal op een wijze die de volksgezondheid en het milieu beschermt. Voor meer informatie over waar u uw afgedankte apparatuur kunt inleveren voor recycling kunt u contact opnemen met het gemeentehuis in uw woonplaats, de reinigingsdienst of de winkel waar u het product hebt aangeschaft.

Eesti

Eramajapidamistes kasutuselt kõrvaldatavate seadmete käitlemine Euroopa Liidus
Kui tootel või toote pakendil on see sümbol, ei tohi seda toodet visata olmejäätmete hulka. Teie kohus on viia tarbetuks muutunud seade selleks ettenähtud elektri- ja elektroonikaseadmete utiliseerimiskohta. Utiliseeritavate seadmete eraldi kogumine ja käitlemine aitab säästa loodusvarasid ning tagada, et käitlemine toimub inimeste tervisele ja keskkonnale ohutult. Lisateavet selle kohta, kuhu saate utiliseeritava seadme käitlemiseks viia, saate küsida kohalikust omavalitsusest, olmejäätmete utiliseerimispunktist või kauplusest, kust te seadme ostsite.

Suomi

Hävitettävien laitteiden käsittely kotitalouksissa Euroopan unionin alueella
Tämä tuotteessa tai sen pakkauksessa oleva merkintä osoittaa, että tuotetta ei saa hävittää talousjätteiden mukana. Käyttäjän velvollisuus on huolehtia siitä, että hävitettävä laite toimitetaan sähkö- ja elektroniikkalaiteromun keräyspisteeseen. Hävitettävien laitteiden erillinen keräys ja kierrätys säästää luonnonvaroja. Näin toimimalla varmistetaan myös, että kierrätys tapahtuu tavalla, joka suojelee ihmisten terveyttä ja ympäristöä. Saat tarvittaessa lisätietoja jätteiden kierrätyspaikoista paikallisilta viranomaisilta, jäteyhtiöiltä tai tuotteen jälleenmyyjältä.

Ελληνικά

Απόρριψη άχρηστων συσκευών στην Ευρωπαϊκή Ένωση
Το παρόν σύμβολο στον εξοπλισμό ή στη συσκευασία του υποδεικνύει ότι το προϊόν αυτό δεν πρέπει να πεταχτεί μαζί με άλλα οικιακά απορρίμματα. Αντίθετα, ευθύνη σας είναι να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές σε μια καθορισμένη μονάδα συλλογής απορριμμάτων για την ανακύκλωση άχρηστου ηλεκτρικού και ηλεκτρονικού εξοπλισμού. Η χωριστή συλλογή και ανακύκλωση των άχρηστων συσκευών θα συμβάλει στη διατήρηση των φυσικών πόρων και στη διασφάλιση ότι θα ανακυκλωθούν με τέτοιον τρόπο, ώστε να προστατεύεται η υγεία των ανθρώπων και το περιβάλλον. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με το πού μπορείτε να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές για ανακύκλωση, επικοινωνήστε με τις κατά τόπους αρμόδιες αρχές ή με το κατάστημα από το οποίο αγοράσατε το προϊόν.

Magyar

A hulladékanyagok kezelése a magánháztartásokban az Európai Unióban
Ez a szimbólum, amely a terméken vagy annak csomagolásán van feltüntetve, azt jelzi, hogy a termék nem kezelhető együtt az egyéb háztartási hulladékkal. Az Ön feladata, hogy a készülék hulladékanyagait eljuttassa olyan kijelölt gyűjtőhelyre, amely az elektromos hulladékanyagok és az elektronikus berendezések újrahasznosításával foglalkozik. A hulladékanyagok elkülönített gyűjtése és újrahasznosítása hozzájárul a természeti erőforrások megőrzéséhez, egyúttal azt is biztosítja, hogy a hulladék újrahasznosítása az egészségre és a környezetre nem ártalmas módon történik. Ha tájékoztatást szeretne kapni azokról a helyekről, ahol leadhatja újrahasznosításra a hulladékanyagokat, forduljon a helyi önkormányzathoz, a háztartási hulladék begyűjtésével foglalkozó vállalathoz vagy a termék forgalmazójához.

Latviski

Lietotāju atbrīvošanās no nederīgām ierīcēm Eiropas Savienības privātajās mājsaimniecībās
Šis simbols uz ierīces vai tās iepakojuma norāda, ka šo ierīci nedrīkst izmest kopā ar pārējiem mājsaimniecības atkritumiem. Jūs esat atbildīgs par atbrīvošanos no nederīgās ierīces, to nododot norādītajā savākšanas vietā, lai tiktu veikta nederīgā elektriskā un elektroniskā aprīkojuma otrreizējā pārstrāde. Speciāla nederīgās ierīces savākšana un otrreizējā pārstrāde palīdz taupīt dabas resursus un nodrošina tādu otrreizējo pārstrādi, kas sargā cilvēku veselību un apkārtējo vidi. Lai iegūtu papildu informāciju par to, kur otrreizējai pārstrādei var nogādāt nederīgo ierīci, lūdzu, sazinieties ar vietējo pašvaldību, mājsaimniecības atkritumu savākšanas dienestu vai veikalu, kurā iegādājāties šo ierīci.

Lietuviškai

Europos Sąjungos vartotojų ir privačių namų ūkių atliekamos įrangos išmetimas
Šis simbolis ant produkto arba jo pakuotės nurodo, kad produktas negali būti išmestas kartu su kitomis namų ūkio atliekomis. Jūs privalote išmesti savo atliekamą įrangą atiduodami ją į atliekamos elektronikos ir elektros įrangos perdirbimo punktus. Jei atliekama įranga bus atskirai surenkama ir perdirbama, bus išsaugomi natūralūs ištekliai ir užtikrinama, kad įranga yra perdirbta žmogaus sveikatą ir gamtą tausojančiu būdu. Dėl informacijos apie tai, kur galite išmesti atliekamą perdirbti skirtą įrangą kreipkitės į atitinkamą vietos tarnybą, namų ūkio atliekų išvežimo tarnybą arba į parduotuvę, kurioje pirkote produktą.

Polski

Utylizacja zużytego sprzętu przez użytkowników domowych w Unii Europejskiej
Symbol ten umieszczony na produkcie lub opakowaniu oznacza, że tego produktu nie należy wyrzucać razem z innymi odpadami domowymi. Użytkownik jest odpowiedzialny za dostarczenie zużytego sprzętu do wyznaczonego punktu gromadzenia zużytych urządzeń elektrycznych i elektronicznych. Gromadzenie osobno i recykling tego typu odpadów przyczynia się do ochrony zasobów naturalnych i jest bezpieczny dla zdrowia i środowiska naturalnego. Dalsze informacje na temat sposobu utylizacji zużytych urządzeń można uzyskać u odpowiednich władz lokalnych, w przedsiębiorstwie zajmującym się usuwaniem odpadów lub w miejscu zakupu produktu.

Português

Descarte de equipamentos por usuários em residências da União Européia
Este símbolo no produto ou na embalagem indica que o produto não pode ser descartado junto com o lixo doméstico. No entanto, é sua responsabilidade levar os equipamentos a serem descartados a um ponto de coleta designado para a reciclagem de equipamentos eletro-eletrônicos. A coleta separada e a reciclagem dos equipamentos no momento do descarte ajudam na conservação dos recursos naturais e garantem que os equipamentos serão reciclados de forma a proteger a saúde das pessoas e o meio ambiente. Para obter mais informações sobre onde descartar equipamentos para reciclagem, entre em contato com o escritório local de sua cidade, o serviço de limpeza pública de seu bairro ou a loja em que adquiriu o produto.

Slovenčina

Postup používateľov v krajinách Európskej únie pri vyhadzovaní zariadenia v domácom používaní do odpadu
Tento symbol na produkte alebo na jeho obale znamená, že nesmie by vyhodený s iným komunálnym odpadom. Namiesto toho máte povinnos odovzda toto zariadenie na zbernom mieste, kde sa zabezpečuje recyklácia elektrických a elektronických zariadení. Separovaný zber a recyklácia zariadenia určeného na odpad pomôže chráni prírodné zdroje a zabezpečí taký spôsob recyklácie, ktorý bude chráni ľudské zdravie a životné prostredie. Ďalšie informácie o separovanom zbere a recyklácii získate na miestnom obecnom úrade, vo firme zabezpečujúcej zber vášho komunálneho odpadu alebo v predajni, kde ste produkt kúpili.

Slovenščina

Ravnanje z odpadno opremo v gospodinjstvih znotraj Evropske unije
Ta znak na izdelku ali embalaži izdelka pomeni, da izdelka ne smete odlagati skupaj z drugimi gospodinjskimi odpadki. Odpadno opremo ste dolžni oddati na določenem zbirnem mestu za recikliranje odpadne električne in elektronske opreme. Z ločenim zbiranjem in recikliranjem odpadne opreme ob odlaganju boste pomagali ohraniti naravne vire in zagotovili, da bo odpadna oprema reciklirana tako, da se varuje zdravje ljudi in okolje. Več informacij o mestih, kjer lahko oddate odpadno opremo za recikliranje, lahko dobite na občini, v komunalnem podjetju ali trgovini, kjer ste izdelek kupili.

Svenska

Kassering av förbrukningsmaterial, för hem- och privatanvändare i EU
Produkter eller produktförpackningar med den här symbolen får inte kasseras med vanligt hushållsavfall. I stället har du ansvar för att produkten lämnas till en behörig återvinningsstation för hantering av el- och elektronikprodukter. Genom att lämna kasserade produkter till återvinning hjälper du till att bevara våra gemensamma naturresurser. Dessutom skyddas både människor och miljön när produkter återvinns på rätt sätt. Kommunala myndigheter, sophanteringsföretag eller butiken där varan köptes kan ge mer information om var du lämnar kasserade produkter för återvinning.

電力消費

ENERGY STAR® ロゴがマーキングされた Hewlett-Packard 印刷/イメージング機器は、U.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁) のイメー

ジング機器のエネルギー スター仕様に従って認定されています。エネルギー スター認定のイメージング製品には、以下のマークが付いています。

ENERGY STAR は米国で登録された米国環境保護局 (USEPA) のサービスマークです。当社は国際エネルギースター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター プログラムの基準に適合していると判断します。

追加のエネルギー スター認定イメージング製品モデルに関する情報については、以下をご覧ください。

www.hp.com/go/energystar

化学物質

HP では、REACH（**Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council**）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。この製品の化学物質に関するレポートは、次の Web サイトに掲載されています。www.hp.com/go/reach

RoHS に関する告知 (中国のみ)

毒性危険有害物質表

有毒有害物质表

根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》

零件描述	有毒有害物质和元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴联苯醚
外壳和托盘*	0	0	0	0	0	0
电线*	0	0	0	0	0	0
印刷电路板*	X	0	0	0	0	0
打印系统*	X	0	0	0	0	0
显示器*	X	0	0	0	0	0
喷墨打印机墨盒*	0	0	0	0	0	0
驱动光盘*	X	0	0	0	0	0
扫描仪*	X	X	0	0	0	0
网络配件*	X	0	0	0	0	0
电池板*	X	0	0	0	0	0
自动双面打印系统*	0	0	0	0	0	0
外部电源*	X	0	0	0	0	0

0: 指此部件的所有均一材质中包含的这种有毒有害物质，含量低于SJ/T11363-2006 的限制
X: 指此部件使用的均一材质中至少有一种包含的这种有毒有害物质，含量高于SJ/T11363-2006 的限制
注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件
*以上只适用于使用这些部件的产品

サードパーティ ライセンス

HP Officejet Pro 8500A (A910) シリーズのサードパーティ ライセンス

LICENSE.aes-pubdom--crypto

/* rijndael-alg-fst.c

*

* @version 3.0 (December 2000)

*

* Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)

*

* @author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>

* @author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>

* @author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

*

* This code is hereby placed in the public domain.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS

* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE

* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR

* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,

* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE

* OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
* EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/

LICENSE.expat-mit--expat

LICENSE.md4-pubdom--jm_share_folder

LibTomCrypt is public domain. As should all quality software be.

All of the software was either written by or donated to Tom St Denis for the purposes
of this project. The only exception is the SAFER.C source which has no known
license status (assumed copyrighted) which is why SAFER,C is shipped as disabled.

Tom St Denis

LICENSE.md5-pubdom--jm_share_folder

LibTomCrypt is public domain. As should all quality software be.

All of the software was either written by or donated to Tom St Denis for the purposes
of this project. The only exception is the SAFER.C source which has no known
license status (assumed copyrighted) which is why SAFER,C is shipped as disabled.

Tom St Denis

LICENSE.open_ssl--open_ssl

This package is an SSL implementation written
by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as
the following conditions are aheared to. The following conditions
apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
included with this distribution is covered by the same copyright terms
except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or
in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software
must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by
Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS

OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

===
Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

==

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

LICENSE.sha2-bsd--nos_crypto

/* FIPS 180-2 SHA-224/256/384/512 implementation
* Last update: 02/02/2007
* Issue date: 04/30/2005
*
* Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl.ch>
* All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the project nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

LICENSE.unicode--jm_share_folder

LICENSE.zlib--zlib

----

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for
Comments) 1950 to 1952 in the files http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt
(zlib format), rfc1951.txt (deflate format) and rfc1952.txt (gzip format).

B HP サプライ品とアクセサリ

このセクションには、本プリンタ向けの HP サプライ品とアクセサリ情報が記載されています。この情報は変更されることがあります。最新情報については、HP Web サイト (www.hpshopping.com) をご覧ください。また、Web サイトからご購入いただくこともできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 印刷用サプライ品のオンライン注文
- サプライ品

印刷用サプライ品のオンライン注文

サプライ品をオンライン注文したり、印刷可能なショッピングリストを作成するには、本プリンタに付属している HP ソフトウェアを開いて、**[ショッピング]** をクリックします。**[サプライのオンライン ショップ]** を選択します。お客様の許可を得た上で、HP ソフトウェアはモデル番号、シリアル番号、推定インク残量などのプリンタ情報をアップロードします。ご使用のプリンタに対応する HP サプライ品があらかじめ選択されています。HP ストアおよびその他のオンラインストアでは、数量の変更、製品の追加または削除、ショッピングリストの印刷、オンライン購入などが行えます (オプションは国または地域によって異なります)。カートリッジ情報やオンライン ショッピングへのリンクは、インクの警告メッセージでも表示されます。

www.hp.com/buy/supplies にアクセスして、オンラインでご注文いただくこともできます。お住まいの国/地域を選択し、続いて画面の指示に従ってプリンタ、次にサプライ品を選択してください。

注記 カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。電話によるご注文、販売代理店のご案内、ショッピング リストの印刷方法などに関する情報が多くの国で提供されています。さらに、www.hp.com/buy/supplies ページの一番上にある [ご購入方法] で、HP 製品購入に関する情報が得られます。

サプライ品

- インク カートリッジとプリントヘッド
- HP メディア

インク カートリッジとプリントヘッド

利用可能なインク カートリッジは、国/地域によって異なります。 ヨーロッパにお住まいの方は、www.hp.com/eu/hard-to-find-supplies で HP インク カートリッジについての情報を見つけてください。

インク カートリッジを交換する場合は、現在使用中のカートリッジと同じカートリッジ番号のものと交換してください。 カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

- 組み込み Web サーバーで、**[ツール]** タグをクリックし、 **[製品情報]** の下の **[インク ゲージ]** をクリックします。詳細は、組み込み Web サーバを参照してください。
- 交換するインク カートリッジのラベル。
- プリンター ステータス レポートの理解 (自己診断テスト ページの理解を参照)。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

HP メディア

HP プレミアム用紙などのメディアを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。

	通常のドキュメントの印刷とコピーには、ColorLok ロゴ付きの普通紙をお勧めします。ColorLok ロゴのついた用紙はすべて、信頼性と印刷品質に関する高い基準を満たすことが独自にテストされており、鮮やかな色と深みのある黒を実現し、通常の普通紙より乾燥が速くなっています。ColorLok ロゴ付きの用紙は、さまざまな重量とサイズのものが主要な用紙メーカーから販売されています。

C 追加のファクス セットアップ

[セットアップ ガイド] に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。 [セットアップ ガイド] は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、プリンタを設定する方法を説明します。

ヒント ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP セットアップ アシスタント (Mac OS X) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。これらのツールにはプリンタにインストールしている HP ソフトウェアを通してアクセスできます。これらのツールを実行したら、このセクションで説明する手順に従ってファクスのセットアップを行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)
- シリアル方式のファクスのセットアップ
- ファクス設定のテスト

ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

ファクスを使用できるように本プリンタのセットアップを開始する前に、お住まいの国/地域で採用されている電話の種類を確認してください。採用され

ている電話システムの方式がシリアル方式かパラレル方式かによって、ファクスのセットアップ手順が異なります。

- 表に記載する国/地域に、お住まいの国/地域がない場合は、シリアル方式の電話システムである可能性があります。シリアル方式の電話システムを使用する国/地域の場合は、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタが異なるため、本プリンタの “2-EXT” ポートに物理接続することができません。代わりに、すべての機器を壁側のモジュラージャックに接続する必要があります。

  注記 シリアル方式の電話システムを使用する一部の国/地域では、壁側のプラグを追加して、そこにプリンタに付属している電話コードを接続しなければならない場合があります。このようにすると、プリンタを差し込んでいる壁側のモジュラージャックに別の通信機器を接続できます。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

- お住まいの国/地域が表に記載されている場合、お使いの電話はパラレル方式の電話システムである可能性があります。パラレル方式の電話システムの場合、共有する電話機器を本プリンタ背面の “2-EXT” ポートを使用して電話回線に接続できます。

  注記 パラレル方式の電話システムの場合は、プリンタに付属している 2 線式電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックにプリンタを接続することをお勧めします。

表 C-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

自宅またはオフィスに合った正しいファックス セットアップの選択

正常にファクスの送受信を行うには、本プリンタと同じ電話回線を共有している機器とサービスの種類を認識する必要があります。既存のオフィス機器を直接本プリンタに接続する必要性が生じたり、ファクスを正常に送受信できるようにするためにファクス設定を変更する必要が生じる可能性があるためです。

1. 電話がシリアル方式かパラレル方式かを判断します (ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)を参照)。
   a. シリアル方式の電話システムの場合 - シリアル方式のファクスのセットアップ を参照してください。
   b. パラレル方式の電話システムの場合 - 手順 2 に進みます。
2. ファクスと一緒に利用する機器やサービスの組み合わせを選択します。
   - DSL：電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   - PBX：構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システム。

- 着信識別サービス：電話会社の着信識別サービスでは、複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられます。
- 電話: 電話をプリンタのファクスに使用するのと同じ電話番号で受信します。
- コンピュータ ダイヤルアップ モデム: プリンタと同じ電話回線でコンピュータ モデムを使用しています。次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
  - ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している。
  - ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している。
  - ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している。
- 留守番電話: プリンタのファクスに使用するのと同じ電話番号で電話に応答する留守番電話。
- ボイス メール サービス:プリンタのファクスと同じ番号での電話会社からのボイスメール サービスへの加入。

3. 次の表から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。次に、推奨するファクス セットアップを調べます。各方法については、この後手順を追って説明します。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、プリンタを通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を 本プリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

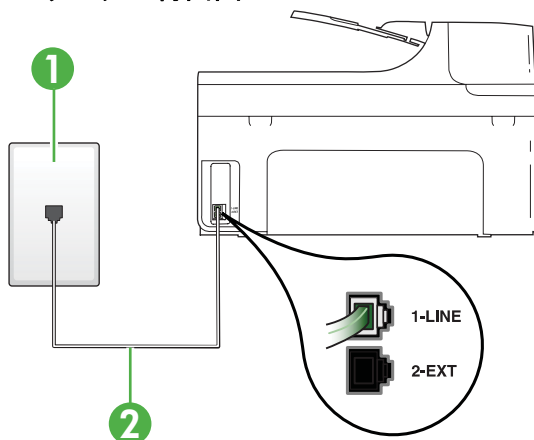
国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピュータダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイス メールサービス	
							ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)
✔							ケース B:DSL 環境でのプリンタのセットアップ
	✔						ケース C:PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンタのセットアップ
		✔					ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
			✔				ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する
			✔			✔	ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピュータ ダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイス メール サービス	
				✔			ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
			✔	✔			ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する
			✔		✔		ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔	✔		ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔		✔	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のようにプリンタを設定します。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

単独のファクス回線の環境にプリンタをセットアップするには

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオンにします。

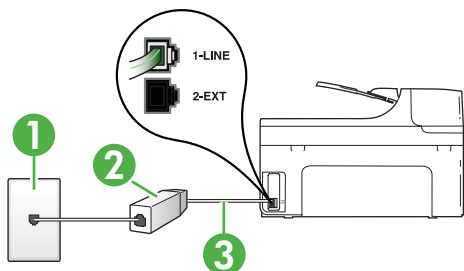
3. (オプション)**[応答呼出し回数]** 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、プリンタは **[応答呼出し回数]**設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンタは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

ケース B:DSL 環境でのプリンタのセットアップ

電話会社の DSL サービスに加入していて、本プリンタに対して他に接続している機器がない場合、このセクションでの説明に従って、壁側のモジュラージャックと本プリンタの間に DSL フィルタを接続してください。DSL フィルタはプリンタに干渉する可能性のあるデジタル信号を除去することで、プリンタが電話回線と正常に通信できるようにします(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。

注記 DSL を利用していて DSL フィルタを取り付けていないと、プリンタでファクスを送受信できなくなります。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSLプロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルタおよびコード
3	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

DSL の環境でプリンタをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. プリンタ付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの開いているポートに接続し、もう一方の端をプリンタ背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとプリンタを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

   付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。
3. DSL フィルタの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクス テストを実行します。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース C:PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンタのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートにプリンタを接続してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。 たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。 ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。このポートには "multi-combi" などのラベルが付いている場合があります。

- PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

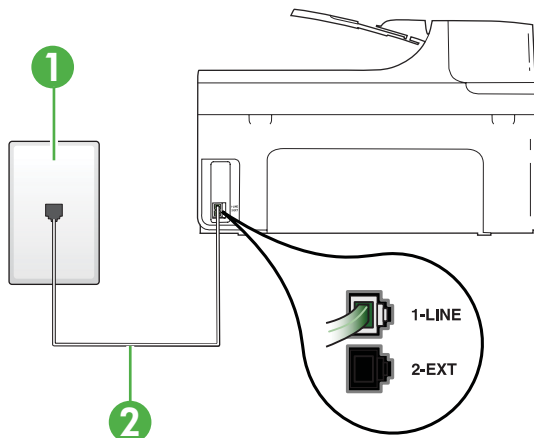
  注記 デジタル PBX システムの多くは、デフォルトで電話の呼び出し音が "オン" に設定されています。電話の呼び出し音はファクスの転送を妨害するため、プリンタでのファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフに切り替える方法については、PBX 電話システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで本プリンタと壁側のモジュラージャックを接続していることを確認します。接続していない場合、ファクスの送受信を正常に行うことができません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。付属の電話コードの長さが足りない場合は、最寄りの電気店でカプラーを購入し、電話コードを延長してください。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のようにプリンタを設定します。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

着信識別サービスの環境でプリンタをセットアップするには

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオンにします。

3. **[応答呼出し音のパターン]** 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

> **注記** デフォルトでは、プリンタは呼び出し音のすべてのパターンに応答します。お使いのファクス番号に割り当てられている呼び出しパターンに一致するように **[応答呼出し音のパターン]** を設定しないと、プリンタは、電話と着信ファクスの両方に応答するか、そのどちらにも応答しない場合があります。

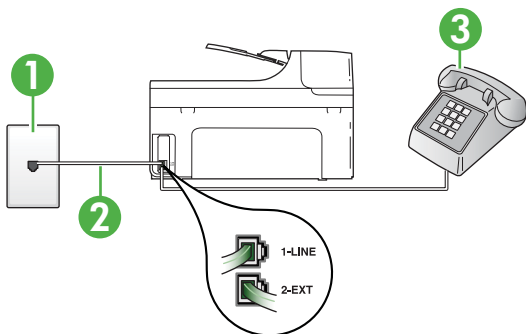
> **ヒント** プリンターのコントロール パネルにある呼出し音のパターン検出機能を使用して、着信識別を設定することもできます。この機能により、プリンターは着信に基づいてこの着信の呼び出し音のパターンを認識および記録し、電話会社によってファクス受信に割り当てられた着信識別音のパターンを自動的に特定します。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

4. (オプション)**[応答呼出し回数]** 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

プリンタは、指定した呼び出し回数 (**[応答呼出し回数]** 設定) の後、指定した呼び出しパターン (**[応答呼出し音のパターン]** 設定) が割り当てられた着信に自動的に応答します。プリンタは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにプリンタを設定します。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境にプリンタをセットアップするには

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 次のいずれかの操作を行います。
   - パラレル方式の電話システムを使用している場合、プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたプリンタのケーブルの一番先に電話を直接接続します。

3. ここで、プリンタでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に**自動的に**応答するようにプリンタをセットアップすると、すべての着信に応答しファクスを受信します。この場合、プリンタはファクスと電話を区別できません。したがって呼び出しが電話であると思ったら、プリンタが応答する前に電話にでる必要があります。着信に自動的に応答するようにプリンタをセットアップするには、**[自動応答]** 設定をオンにします。
   - ファクスに**手動で**応答するようにプリンタをセットアップする場合、ユーザーが手動で受信操作を行う必要があります。そうしないと、プリンタはファクスを受信できません。着信に手動で応答するようにプリンタをセットアップするには、**[自動応答]** 設定をオフにします。

4. ファクス テストを実行します。

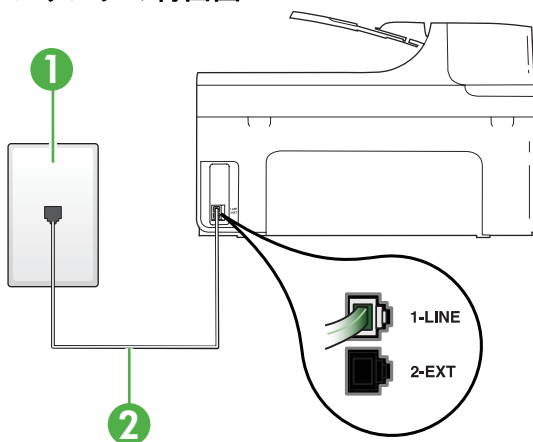
プリンタが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答する必要があります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイス メール サービスも利用する場合は、次のようにプリンタを接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ボイス メール サービスの環境でプリンタをセットアップするには

1. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとプリンタでファクスを受信できなくなります。ボイスメールが応答する前に手動でファクスを開始する必要があります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

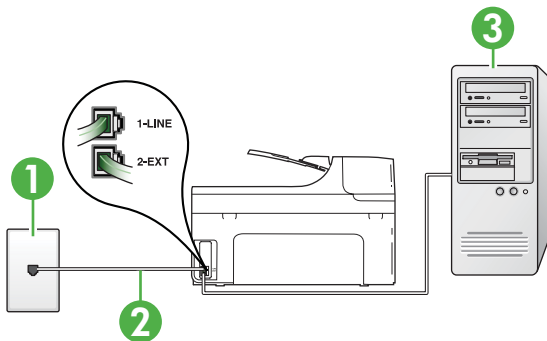
電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のようにプリンタをセットアップします。

注記 コンピュータ モデムを使用する場合、コンピュータ モデムはプリンタと同じ電話回線を使用します。したがって、モデムとプリンタを同時に使用することはできません。コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

- コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でプリンタをセットアップするには
- コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのプリンタのセットアップ

コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でプリンタをセットアップするには

1 つの電話回線をファクスの送信とコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用している場合は、次の手順に従ってプリンタをセットアップします。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポート接続用にプリンタ付属の電話コードを使用します 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境でプリンタをセットアップするには

1. プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面から壁側のモジュラージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュラージャックから抜き、プリンタ背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

3. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

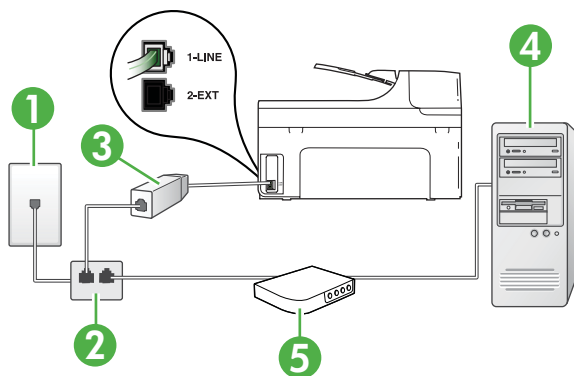
注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンタでファクスを受信できなくなります。

5. **[自動応答]** の設定をオンにします。
6. (オプション)**[応答呼出し回数]** 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、プリンタは **[応答呼出し回数]**設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンタは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのプリンタのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファクスを送信する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ プリンタに付属している壁側のモジュラージャックの一方の端を、プリンタ背面の 1-LINE ポートにコードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルタに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
4	コンピュータ
5	コンピュータの DSL/ADSL モデム

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でプリンタをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. プリンタに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をプリンタ背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとプリンタの背面を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、プリンタは **[応答呼出し回数]** 設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンタは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

コンピュータの電話ポートの数によって、コンピュータを使用してのプリンタのセットアップ方法が 2 つあります。操作を開始する前に、コンピュータに備えられている電話ポートが 1 つか 2 つかを確認します。

注記 コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

電話回線をファクスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

コンピュータの電話ポートの数によって、コンピュータを使用してのプリンタのセットアップ方法が 2 つあります。操作を開始する前に、コンピュータに備えられている電話ポートが 1 つか 2 つかを確認します。

注記 コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にプリンタをセットアップするには

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピュータ
4	電話

1. プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面から壁側のモジュラージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュラージャックから抜き、プリンタ背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。

4. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンタでファクスを受信できなくなります。

6. ここで、プリンタでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に**自動的に**応答するようにプリンタをセットアップすると、すべての着信に応答しファクスを受信します。この場合、プリンタはファクスと電話を区別できません。したがって呼び出しが電話であると思ったら、プリンタが応答する前に電話にでる必要があります。着信に自動的に応答するようにプリンタをセットアップするには、**[自動応答]** 設定をオンにします。
   - ファクスに**手動で**応答するようにプリンタをセットアップする場合、ユーザーが手動で受信操作を行う必要があります。そうしないと、プリンタはファクスを受信できません。着信に手動で応答するようにプリンタをセットアップするには、**[自動応答]** 設定をオフにします。

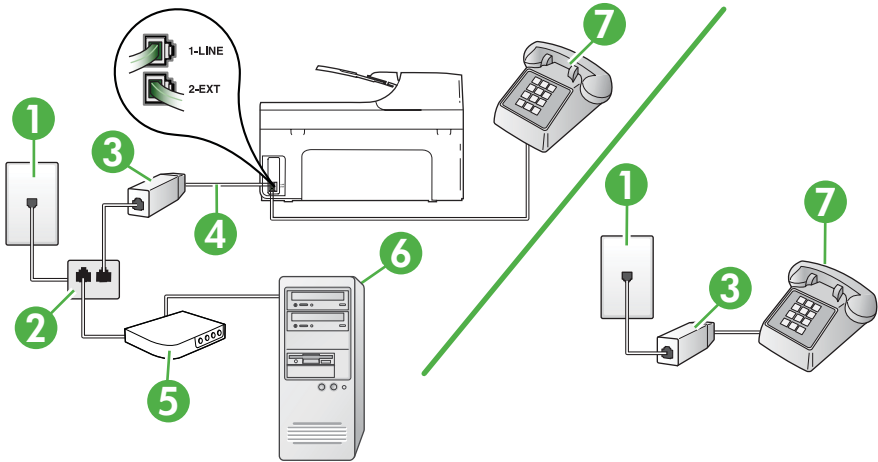
7. ファクス テストを実行します。

プリンタが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答する必要があります。

電話回線を電話、ファクス、およびコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピュータに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	プリンタに付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	電話

注記　パラレル スプリッターを購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でプリンタをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL フィルタに接続して、電話をかけたときにノイズが発生しないようにする必要があります。

2. プリンタに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をプリンタ背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

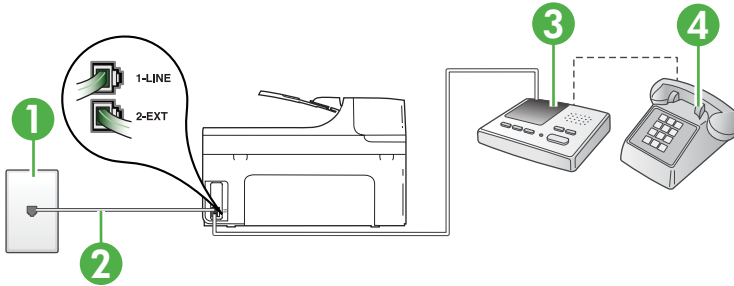
   付属のコードで DSL フィルタとプリンタを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. パラレル方式の電話システムを使用している場合、プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、プリンタは **[応答呼出し回数]**設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンタは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のようにプリンタを設定します。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	付属の電話コードを使用して、プリンタ背面の 1-LINE ポートに接続します 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	留守番電話
4	電話機 (オプション)

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境でプリンタをセットアップするには

1. プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

注記 プリンタに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、プリンタでファクスを受信できないことがあります。

3. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

 付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

 注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方をプリンタに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **[自動応答]** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. プリンタの **[応答呼出し回数]** 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンタは着信を監視して、ファクス トーンを「リッスン」します。着信ファクス トーンが検出されると、プリンタはファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、プリンタは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のようにプリンタをセットアップします。

注記 コンピュータ モデムとプリンタは同じ回線を使用しているため、モデムとプリンタを同時に使用することはできません。コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

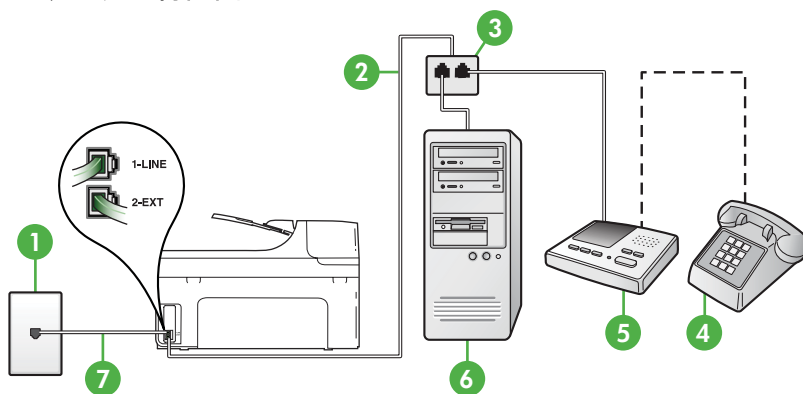
電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

コンピュータの電話ポートの数によって、コンピュータを使用してのプリンタのセットアップ方法が 2 つあります。操作を開始する前に、コンピュータにポートが 1 つ備えられているか、あるいは 2 つ備えられているかを確認します。

注記 コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にプリンタをセットアップするには

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

1. プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面から壁側のモジュラージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュラージャックから抜き、プリンタ背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

3. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、コンピュータ背面 (コンピュータ モデム) の“OUT”というラベルの付いたポートに接続します。
4. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

> **注記** 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
>
> 付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

> **注記** 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方をプリンタに接続するためにパラレルスプリッター (カプラーとも呼びます) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

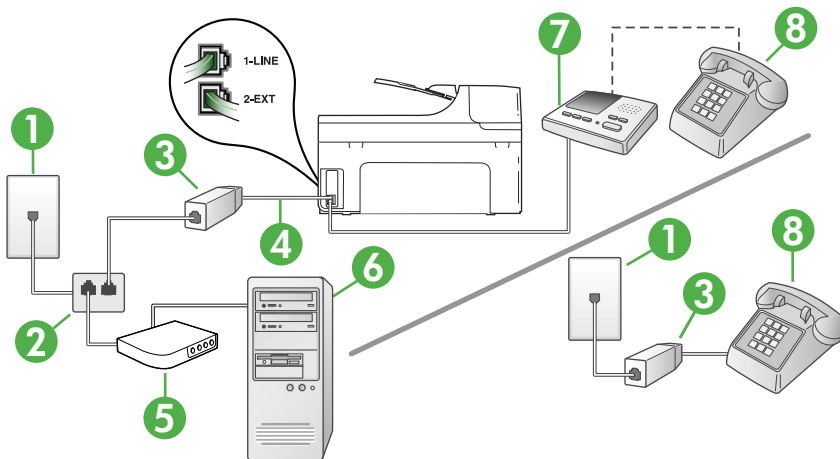
> **注記** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンタでファクスを受信できなくなります。

7. **[自動応答]** の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. プリンタの **応答呼出し回数** 設定を変更し、製呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンタは着信を監視

して、ファクス トーンを「リッスン」します。着信ファクス トーンが検出されると、プリンタはファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、プリンタは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	プリンタ背面の 1-LINE ポートに接続されているプリンタ付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	留守番電話
8	電話機 (オプション)

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でプリンタをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルタは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルタに接続して、電話をかけたときにノイズが発生しないようにする必要があります。

2. プリンタに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルタに、もう一方の端をプリンタ背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL/ADSL フィルタとプリンタを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルタをスプリッターに接続します。
4. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、プリンタ背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

   注記 プリンタに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、プリンタでファクスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。

6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
8. プリンタの **[応答呼出し回数]** 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します

   注記 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンタは着信を監視して、ファクス トーンを「リッスン」します。着信ファクス トーンが検出されると、プリンタはファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、プリンタは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

同じ電話回線を電話とファクスに使用しており、コンピュータの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにプリンタを設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

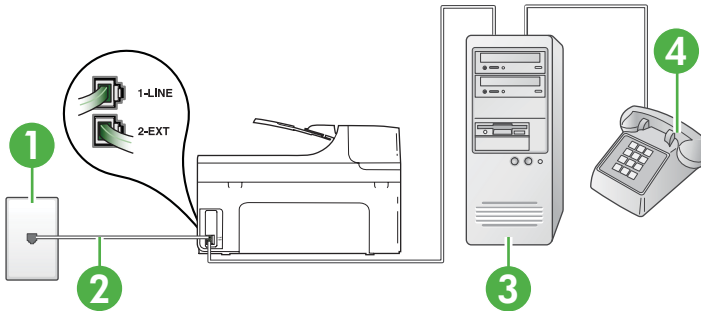
コンピュータ モデムとプリンタは同じ回線を使用しているため、モデムとプリンタを同時に使用することはできません。コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

コンピュータの電話ポートの数によって、コンピュータを使用してのプリンタのセットアップ方法が 2 つあります。操作を開始する前に、コンピュータに備えられている電話ポートが 1 つか 2 つかを確認します。

• コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 2 つある場合は、次のようにプリンタをセットアップしてください。

プリンタの背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	プリンタ付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	パラレル スプリッター
4	モデム搭載コンピュータ
5	電話

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にプリンタをセットアップするには

1. プリンタの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータ モデム) の背面から壁側のモジュラージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュラージャックから抜き、プリンタ背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. プリンタに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンタの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンタを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンタでファクスを受信できなくなります。

6. **[自動応答]** の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとプリンタでファクスを受信できなくなります。

プリンタとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

シリアル方式のファクスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファクス用にプリンタをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

ファクス設定のテスト

プリンタの状態を確認し、ファクスを使用できるようにプリンタが正しくセットアップされていることを確認するために、ファクス セットアップをテストできます。ファクスを使用するためにプリンタを設定したら、このテストを実行してください。テストでは以下が実施されます。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードがプリンタに接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する

- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとして印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

プリンタのコントロール パネルからファクス設定をテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、プリンタのファクス設定を行います。
2. テストを行う前に、インク カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. プリンタのコントロール パネルで、右矢印▶ をタッチして、**[設定]** をタッチします。
4. **[ツール]** を選択し、**[ファクス テストを実行]** を選択します。
   プリンタのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
   - テストにパスしてもファクスの送受信に問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定をチェックして、正しく設定されているかどうかを確認します。 設定がブランクになっていたり、正しく設定されていなかったりすると、ファクスの送受信に問題が発生します。
   - テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

D　ネットワーク設定

次のセクションで説明する手順に従って、プリンタのコントロール パネルでプリンタのネットワーク設定を管理することができます。また、組み込み Web サーバを使用すればより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なネットワーク設定の変更
- 詳細なネットワーク設定の変更
- ワイヤレス通信用のプリンタのセットアップ
- HP ソフトウェアのアンインストールと再インストール

基本的なネットワーク設定の変更

コントロール パネルのオプションを使用して、ワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワーク設定の表示と印刷
- ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ネットワーク設定の表示と印刷

プリンタのコントロール パネルまたはプリンタ付属の HP ソフトウェアに各種ネットワーク設定を表示することができます。より詳細なネットワーク設定ページを印刷することができます。このページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定がすべて一覧表示されます。詳細は、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

プリンタの前面の青いランプで示されるように、ワイヤレス機能はデフォルトでオンになっています。ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、ワイヤレス ラジオを常にオンにしておく必要があります。しかし、プリンタが

有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. 右矢印 をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
2. ワイヤレス ラジオをオンにするには、**[ワイヤレス]** をタッチして、**[ワイヤレ スラジオ]** を選択し、**[オン]** を選択します。オフにするには、**[オフ]** を選択します。

詳細なネットワーク設定の変更

△ **注意** 必要に応じて、ネットワークを設定することができます。ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、リンク速度、IP 設定、デフォルトゲートウェイ、ファイアウォール設定などの設定を変更しないでください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- リンク速度の設定
- IP 設定を表示する
- IP 設定を変更する
- プリンタのファイアウォールの設定
- ネットワーク設定をリセットする

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は **[自動]** です。

1. 右矢印 をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
2. **[詳細設定]** を選択し、**[接続速度]** を選択します。
3. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号をタッチします。
   - **[1. 自動]**
   - **[2. 10 Mb/sec 全二重通信]**
   - **[3. 10 Mb/sec 半二重通信]**
   - **[4. 100 Mb/sec 全二重通信]**
   - **[5. 100 Mb/sec 半二重通信]**

IP 設定を表示する

プリンタの IP アドレスを表示するには:

- ネットワーク構成ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
- あるいは、HP ソフトウェア (Windows) を開いて、**[ネットワーク設定]** タブをクリックして、現在の接続に応じて **[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[IP 設定]** をクリックします。

IP 設定を変更する

デフォルトの IP 設定は **[自動]** で、IP 設定を自動的に行いますが、ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、またはデフォルト ゲートウェイなどを手動で変更できます。

△ **注意** IP アドレスを手動で割り当てる場合は慎重に行ってください。インストール時入力した IP アドレスが正しくないと、お使いのネットワークコンポーネントをプリンタに接続できなくなります。

1. 右矢印 をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
2. **[詳細設定]** を選択し、**[IP 設定]** を選択します。
3. IP アドレスを変更するとプリンタがネットワークから削除されることを知らせるメッセージが表示されます。**[OK]** をタッチして続行します。
4. デフォルトで **[自動]** が選択されています。設定を手動で変更するには、**[手動]** をタッチします。
5. 以下の IP 設定をタッチします:
   - **[IP アドレス]**
   - **[サブネット マスク]**
   - **[デフォルト ゲートウェイ]**
6. 変更を入力し、**[完了]** をタッチします。

プリンタのファイアウォールの設定

ファイアウォール機能は、IPv4 ネットワークと IPv6 ネットワークの両方でネットワーク層のセキュリティを提供します。ファイアウォールは、アクセスが許可された IP アドレスを制御します。

注記 プリンタでは、ネットワーク層でのファイアウォール保護に加え、管理アプリケーションのセキュリティ対策としてアプリケーション層でSNMPv3 エージェントを、またクライアント-サーバ認証や HTTPS Web ブラウジングなどのクライアント-サーバ アプリケーションのセキュリティ対策としてトランスポート層でオープン SSL (Secure Sockets Layer) をサポートしています。

プリンタでのファイアウォール運用のために、指定された IP トラフィックに適用するファイアウォール ポリシーを設定する必要があります。ファイアウォール ポリシー ページへは EWS からアクセスし、表示には Web ブラウザを使用します。

ポリシーは、設定後、EWSで **[適用]** をクリックするまでアクティブになりません。

ファイアウォール ルールの作成と使用

ファイアウォール ルールを使用すると IP トラフィックを制御できます。ファイアウォール ルールを使用して、IP アドレスおよびサービスに基づいて IP トラフィックを許可または切断します。

最大 10 個のルールを入力し、それぞれのルールによってホスト アドレス、サービス、およびこれらのアドレスとサービスに対して実行する処理を指定します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファイアウォール ルールを作成する
- ファイアウォール ルールの優先順位を変更する
- ファイアウォール オプションを変更する
- ファイアウォール設定をリセットする
- ルール、テンプレート、サービスに対する制限

ファイアウォール ルールを作成する

ファイアウォール ルールを作成するには、次の手順に従ってください。

1. 組み込み Web サーバを開きます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックし、**[ファイアウォール ルール]** をクリックします。
3. **[新規作成]** をクリックし、画面の指示に従います。

ファイアウォール ルールの優先順位を変更する

ファイアウォール ルールを使用する際の優先順位を変更するには、次の手順に従ってください。

1. 組み込み Web サーバを開きます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックし、**[ファイアウォール ルールの優先順位]** をクリックします。
3. **[ルール優先順位]** リストから、ルールを使用する際の優先順位を選択します。1 が最も優先順位が高く、10 が最も優先順位が低くなります。
4. **[適用]** をクリックします。

ファイアウォール オプションを変更する

プリンタのファイアウォール オプションを変更するには、次の手順に従ってください。

1. 組み込み Web サーバを開きます。詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックし、**[ファイアウォール オプション]** をクリックします。
3. 任意の設定を変更し、**[適用]** をクリックします。

注記 **[適用]** をクリックした後に、EWS への接続が短時間、一時的に中断される場合があります。IP アドレスが変更されていなければ、EWS 接続が再度有効になります。IP アドレスが変更された場合は、新しい IP アドレスを使用して EWS を開きます。

ファイアウォール設定をリセットする

ファイアウォール設定を出荷時のデフォルト設定にリセットするには、プリンタのネットワーク設定を復元します。詳細については、プリンタのネットワーク設定をリセットするにはを参照してください。

ルール、テンプレート、サービスに対する制限

ファイアウォール ルールの作成時には、ルール、テンプレート、サービスに対する次の制限に注意してください。

部分	制限
ルールの最大数。	11
アドレス テンプレートの最大数。 次の点に注意してください。 • **すべての IP アドレス** により 2 つのアドレス テンプレート ルールが得られます。1 つはすべての IPv4 アドレス用、もう 1 つはすべての IPv6 アドレス用です。 • **すべての非リンク ローカル IPv6** により 4 つのアドレス テンプレート ルールが得られます。 　◦ :: ～ FE7F:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、ローカル アドレスおよびリモート アドレス用 　◦ :: ～ FE7F:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、ローカル アドレス用 　◦ FE81:: ～ FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、リモート アドレス用 　◦ FE81:: ～ FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、ローカル アドレス用	12

(続き)

部分	制限
◦ :: ～ FE7F:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、リモート アドレス用 ◦ FE81:: ～ FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF、ローカル アドレスおよびリモート アドレス用 • **すべてのブロードキャスト/マルチキャスト アドレス** により 4 つのアドレス テンプレート ルールが得られます。 ◦ 224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv4 ローカル アドレスおよびすべての IPv4 リモート アドレス ◦ 単一 IPv4 ローカル アドレス、およびすべての IPv4 リモート アドレス ◦ 255.255.255.255 ローカル アドレス、およびすべての IPv4 リモート アドレス ◦ FF00::/ 8 ローカル IPv6 アドレス、およびすべての IPv6 リモート アドレス **注記** これらの定義済みアドレス テンプレートに対する複数のルールを回避するために、カスタム アドレス テンプレートを作成できます。	
ユーザー定義アドレス テンプレートの最大数。	5
ユーザー定義サービス テンプレートに追加できるサービスの最大数。	64

(続き)

部分	制限
注記 定義済みの [すべてのサービス] テンプレートはこの制限に影響されず、 プリント サーバーによってサポートされるすべてのサービスを含みます。	
ポリシーに追加できるサービスの最大数。 たとえば、ユーザー定義サービス テンプレートが 64 のサービスから構成される場合、使用できる唯一のサービス テンプレートです。	64
ポリシー内のサービス テンプレートの最大数。	10
ユーザー定義カスタム サービス テンプレートの最大数。	5

ネットワーク設定をリセットする

管理者パスワードとネットワーク設定をリセットするには、次の手順を実行します。

1. 右矢印 をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
2. **[デフォルトのネットワークに戻す]** をタッチして、**[はい]** を選択します。

注記 ネットワーク設定ページを印刷し、ネットワーク設定がリセットされているかどうかを確認します。詳細は、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

デフォルトでは、ネットワーク名 (SSID) は "hpsetup"、通信モードは "ad hoc" です。

注記 プリンタのネットワーク設定をリセットすると、プリンタのファイアウォール設定もリセットされます。プリンタのファイアウォールの設定方法の詳細については、プリンタのファイアウォールの設定を参照してください。

ワイヤレス通信用のプリンタのセットアップ

ワイヤレス通信用にプリンターをセットアップすることもできます。

注記 問題が発生した場合は、ワイヤレスの問題の解決 を参照してください。

プリンタがネットワーク ケーブルを使用してネットワーク接続されていないことを確認します。

送信デバイスには内蔵 802.11 機能があるか、または 802.11 ワイヤレス カードがインストールされていなければなりません。

プリンタとプリンタを使用するコンピュータは、同じサブネット上にある必要があります。

HP ソフトウェアをインストール前に、ネットワークの設定を確認する必要がある場合があります。システム管理者からこの情報を入手するか、以下のタスクを実行してください。

- ネットワークのネットワーク名または Service Set Identifier (SSID) と通信モード (インフラストラクチャまたはアドホック) を、ネットワークのワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティ、またはコンピュータのネットワーク カードから取得します。
- ネットワークで使用する暗号化タイプを見つけます (Wired Equivalent Privacy (WEP) など)。
- ワイヤレス デバイスのセキュリティ パスワード、または暗号化キーを見つけます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ワイヤレス セットアップ ウィンザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには
- 802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解
- ワイヤレス接続をテストする
- 接続方法を変更する
- ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン
- ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン

ワイヤレス セットアップ ウィンザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、プリンターへのワイヤレス接続 (インフラストラクチャ接続とアドホック接続の両方) を簡単に設定したり、管理したりできます。

注記 インフラストラクチャ ネットワークに接続するには、ワイヤレス ネットワークが設定され実行されている必要があります。

1. プリンター ハードウェアをセットアップします。プリンター付属のセットアップ ガイドまたはセットアップ ポスターを参照してください。
2. プリンタのコントロール パネルで、右矢印▶ をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
3. **[ワイヤレス]** をタッチして、**[ワイヤレス セットアップ ウィザード]** を選択し、**[OK]** をタッチします。
4. 画面の指示に従って、セットアップを完了します。

注記　ネットワーク名 (SSID)、および WPA キーまたは WEP パスフレーズが見つからない場合は、ネットワーク管理者、またはワイヤレス ネットワークのセットアップ担当者に問い合わせください。

注記　アドホック接続を使用してプリンターに接続する場合、コンピューターをネットワーク名 (SSID) 「hpsetup」に接続します。(このネットワーク名は、プリンタにより作成されたデフォルトのアドホック ネットワークです)。プリンタが以前別のネットワーク用に構成されていた場合、ネットワークのデフォルト設定を復元して、“hpsetup“ をプリンタで使用できるようにすることができます。ネットワーク設定をデフォルトに戻すには、ネットワーク設定をリセットするを参照してください。

802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解

ネットワーク名 (SSID)

デフォルトで、プリンタはワイヤレス ネットワーク名または "hpsetup" という名前の SSID を検索します。お使いのネットワークに異なる SSID が備えられている場合もあります。

通信モード

通信モードには 2 つのオプションがあります:

- **アドホック:** アドホック ネットワーク上では、プリンタはアドホック通信モードに設定され、WAP を使用しないでその他のワイヤレス デバイスと直接通信します。
  アドホック ネットワーク上のデバイスはすべて次のとおりでなければなりません:
  - 802.11 互換
  - 通信モードがアドホックである
  - 同じネットワーク名 (SSID) である

◦ 同じサブネットと同じチャンネル上にある
◦ 同じ 802.11 セキュリティ設定がある

• **インフラストラクチャ (推奨):** インフラストラクチャ ネットワーク上では、プリンタはインフラストラクチャ通信モードに設定され、ネットワーク上の他のデバイス (有線または無線に関係なく) と WAP 経由で通信します。WAP は通常、小規模なネットワークのルーターまたはゲートウェイとして機能します。

セキュリティ設定

• **ネットワークの認証:** プリンタの出荷時のデフォルト設定は「Open」で、これは認証や暗号化にセキュリティを必要としません。設定可能な他の値は、「OpenThenShared」、「Shared」、「WPA-PSK」 (Wi-Fi® Protected Access Pre-Shared Key) です。

  WPA はネットワーク上のデータ保護のレベルと、既存および将来の Wi-Fi ネットワークのアクセス コントロールを向上させます。802.11 基準のオリジナルのネイティブ セキュリティ機構である、WEP の既存の弱点に対応しています。

  WPA2 は第二世代の WPA セキュリティで、認証を受けたユーザしかワイヤレス ネットワークにアクセスできないようにして、企業や Wi-Fi ユーザに高レベルの安全を提供します。

• **データの暗号化:**

  ◦ Wired Equivalent Privacy (WEP) では、あるワイヤレス デバイスから別のワイヤレス デバイスにラジオ波上で送信するデータを暗号化することで、セキュリティを提供します。 WEP 対応のネットワーク上のデバイスは、WEP キーを使用してデータを暗号化します。 ネットワークで WEP を使用している場合、使用する WEP キーを知っている必要があります。

  注記 共有 WEP キー暗号化ははサポートされていません。

  ◦ WPA では暗号化に、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) を現在使用可能な標準 Extensible Authentication Protocol (EAP) タイプの 1 つと共に使用し、802.1X 認証を採用しています。

  ◦ WPA2 によって新しい暗号化スキームである Advanced Encryption Standard (AES) が提供されます。 AES は 暗号文ブロック連鎖モード (CCM) で定義され、Independent Basic Service Set (IBSS) をサポートして、アドホック モードで動作しているクライアント ワークステーション間のセキュリティを可能にします。

ワイヤレス接続をテストする

プリンタのワイヤレス接続に関する情報を記載するワイヤレス テスト ページを印刷します。ワイヤレス テスト ページには、プリンタの状態、MAC アド

レス、IP アドレスに関する情報が記載されています。プリンタをネットワークに接続している場合、このテスト ページには、ネットワーク設定についての詳細が表示されます。

1. 右矢印 をタッチして、**[ネットワーク]** を選択します。
2. **[ワイヤレス]** をタッチして、**[ワイヤレス ネットワーク テスト]** を選択します。

接続方法を変更する

HP ソフトウェアをすでにインストールし、USB、Ethernet、またはワイヤレス接続を使用して本プリンターを接続している場合は、いつでも別の接続に変更できます。

注記 ワイヤレス接続に変更する場合、Ethernet ケーブルが接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを接続すると、プリンタのワイヤレス機能はオフになります。

接続方法を変更するには (Windows)

注記 ワイヤレス接続に変更する場合、Ethernet ケーブルが接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを接続すると、プリンターのワイヤレス機能はオフになります。

1. コンピューターのデスクトップで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** をクリックし、プリンター名を選択して、**[新しいプリンターの接続]** をクリックします。
2. 画面上の指示に従って操作してください。

接続方法を変更するには (Mac OS X)

1. HP ユーティリティを開きます。詳細は、HP ユーティリティ (Mac OS X)を参照してください。
2. ツールバーで **[アプリケーション]** アイコンをクリックします。
3. **[HP セットアップ アシスタント]** をダブルクリックして、画面に表示される指示に従います。

ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ハードウェア アドレスを WAP に追加するには
- その他のガイドライン

ハードウェア アドレスを WAP に追加するには

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストを WAP で構成します。

ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。

WAP が MAC アドレスをフィルタすると、プリンタの MAC アドレスは WAP の許可された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

1. ネットワーク設定ページを印刷します。ネットワーク設定ページについては、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
2. WAP の構成ユーティリティを開き、プリンタのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

その他のガイドライン

ワイヤレス ネットワークをセキュアに保つには、以下のガイドラインに従います:

- パスワードには最低 20 のランダム文字を使用します。WPA パスワードでは、64 文字まで使用できます。
- よくある語句、簡単な文字の順序 (すべて 1 など)、および個人的にわかりやすい情報は、パスワードには使用しないでください。 大文字と小文字、数字、そして許可されている場合には句読点などの特殊文字から構成された、ランダムな文字列を常に使用してください。
- パスワードは定期的に変更します。
- アクセス ポイントやワイヤレス ルータへの管理者アクセス用にメーカーから提供されたデフォルト パスワードは変更します。 管理者名を変更できるルータもあります。
- ワイヤレス上での管理者アクセスは、できればオフにします。 こうすると、構成を変更する場合にはワイヤ Ethernet 接続を使用してルータに接続する必要があります。
- できれば、ルータへのインターネット上のリモート管理者アクセスはオフにします。 Remote Desktop を使用して、ルータで起動しているコンピュータへ暗号化された接続を行い、インターネット上でアクセスしているローカル コンピュータから構成変更を行うことができます。
- 他者の'ワイヤレス ネットワークへ間違って接続することを防ぐため、推奨されていないネットワークへ自動的に接続する設定をオフにします。 これは、Windows XP ではデフォルトで無効にされています。

ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン

以下のヒントは、ワイヤレス ネットワークでのノイズの発生を減少するのに役立ちます。

- 無線シグナルを混乱させる原因となることがあるため、ワイヤレス デバイスをファイル キャビネットなどの大きな金属性の物体や電子レンジやコードレス電話などそれ以外の電磁デバイスから離しておきます。
- 大きな石造構造やそれ以外の建築構造は無線波を吸収してシグナル強度を弱めることがあるため、ワイヤレス デバイスをこれらの構造から離しておきます。
- インフラストラクチャ ネットワークでは、WAP をネットワーク上のワイヤレス デバイス間の中心位置に置きます。
- ネットワーク上のワイヤレス デバイスをすべて至近距離に置きます。

HP ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、または HP ソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、プリンタ付属の HP ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。プリンタのアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。HP ソフトウェアに付属のアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータからプリンタの接続を解除します。HP ソフトウェアの再インストールが完了するまでプリンタをコンピュータに接続しないでください。
2. コンピューターのデスクトップで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]**、プリンター名、**[アンインストール]** の順にクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。
4. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
5. コンピュータを再起動します。
6. HP ソフトウェアを再インストールするには、コンピューターの CD ドライブに HP ソフトウェア CD を挿入し、画面の指示に従います。

7. HP ソフトウェアにより指示されたら、プリンタをコンピュータに接続します。
8. **[電源]** ボタンを押して、プリンタの電源を入れてください。
   プリンタを接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
9. 画面上の指示に従って操作してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

> **注記** この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピューターのデスクトップで、**[スタート]** をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** をクリックして、**[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
   - または -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
2. プリンタ名を選択して、**[変更と削除]** または **[アンインストールと変更]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
3. お使いのコンピュータからプリンタの接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   > **注記** 重要なことは、コンピュータを再起動する前にプリンタの接続を解除することです。HP ソフトウェアの再インストールが完了するまでプリンタをコンピュータに接続しないでください。

5. コンピューターの CD ドライブに HP ソフトウェアを挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
6. 画面上の指示に従って操作してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. HP ユーティリティを開きます。操作方法については、HP ユーティリティを開くを参照してください。
2. ツールバーでアプリケーション アイコンをクリックします。
3. **[HP アンインストーラ]** をダブルクリックし、**[続行]** をクリックします。

4. アンインストールする製品を選択し、**[アンインストール]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って適切な管理者の名前とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。
6. 画面上の指示に従って操作してください。
7. **[HP アンインストーラ]** が完了したら、コンピュータを再起動します。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

1. Finder を開き、**[アプリケーション]**、**[Hewlett-Packard]** の順に選択します。
2. **[HP アンインストーラ]** をダブルクリックし、**[続行]** をクリックします。
3. 画面の指示に従って適切な管理者の名前とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作してください。
5. **[HP Uninstaller]** が完了したら、コンピュータを再起動します。

E プリンタ管理ツール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP プリンタ ソフトウェア (Windows)
- HP ユーティリティ (Mac OS X)
- 組み込み Web サーバ

HP プリンタ ソフトウェア (Windows)

プリンタに付属している HP ソフトウェアでは、プリンタに関するメンテナンス情報を提供します。

注記 お使いのコンピュータがシステム要件を満たす場合は、HP ソフトウェア CD から HP プリンタ ソフトウェアをインストールできます。

HP ソフトウェアを開く

コンピューターのデスクトップで **[スタート]** タブをクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]**、HP プリンターのフォルダー、HP プリンターの順に選択します。

HP ユーティリティ (Mac OS X)

HP ユーティリティには、プリント設定の構成、プリンタの位置調整、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などのツールが含まれています。

注記 Macintosh コンピュータの場合、HP ユーティリティで使用できる機能は選択したプリンタによって異なります。

インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

ヒント HP ユーティリティを開くと、Dock で、HP ユーティリティ用のアイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、[Dock]メニューのショートカットにアクセスすることができます。

HP ユーティリティを開く

HP HP ユーティリティを開くには

▲ Dock で[HP ユーティリティ]アイコンをクリックします。

注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニューバー右側の[スポットライト]アイコンをクリックして、ボックスに「HP ユーティリティ」と入力し、**[HP ユーティリティ]** エントリをクリックします。

組み込み Web サーバ

プリンタがネットワークに接続されている場合、組み込み Web サーバーを使用してコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、およびプリンタの管理などを行うことができます。

注記 組み込み Web サーバのシステム必要条件のリストについては、組み込み Web サーバの仕様 を参照してください。

一部の設定を表示または変更するには、パスワードが必要です。

内蔵 Web サーバは、インターネットに接続しなくても、開いて使用できます。ただし、一部の機能が使用できません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- cookies について
- 組み込み Web サーバを開くには

cookies について

組み込み Web サーバ (EWS) は、ブラウザからページを表示したときに小さいテキスト ファイル (cookie) をハード ディスクに作成します。これらのファイルにより EWS は次回アクセス時にユーザーのコンピュータを認識することができます。たとえば、EWS 言語を設定した場合、選択した言語が cookie に記憶されるので、次に EWS を開いたときに、ページがその言語で表示されます。一部の cookie (選択した言語を記憶しておく cookie など) は各セッションの終了時に消去されますが、その他のもの (ユーザー固有の設定を記憶する cookie など) は手動で消去するまでコンピュータ上に保存されます。

ブラウザの設定によって、すべての cookie を受け入れることも、cookie が書き込まれる前に警告することもできます。これにより、どの cookie を受け入れ、どれを拒否するかを選択できます。また、ブラウザを使用して不要な cookie を削除することもできます。

注記 プリンタによっては、cookie を無効にすると、以下の機能のどれかが使用できなくなる場合があります。

- アプリケーションの中断した箇所から始める (セットアップ ウィザード実行時に特に有効)
- EWS ブラウザの言語設定を記憶する
- EWS ホーム ページのパーソナライズ

個人情報と cookie 設定の変更方法、および cookie の表示または削除方法については、お使いの Web ブラウザのマニュアルを参照してください。

組み込み Web サーバを開くには

注記 プリンタはネットワークに接続し、IP アドレスを割り当てる必要があります。プリンタの IP アドレスとホスト名は、ステータス レポートに表示されています。詳細は、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、プリンタに割り当てられている IP アドレスまたはホスト名を入力します。

例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。http://123.123.123.123。

ヒント 組み込み Web サーバを開いた後、お気に入りに保存すると、すばやく戻ることができます。

F　使用方法

G　エラー (Windows)

メモリがいっぱいです

バックアップ ファクス受信または HP デジタル ファクス ([PC ファクス受信] または [Mac にファクス]) が有効になっていて、プリンターに問題 (紙詰まりなど) がある場合、プリンターは問題が解決されるまで、受信ファクスをメモリに保存します。ただし、印刷されていないか、コンピューターに転送されていないファクスでプリンターのメモリがいっぱいになる可能性があります。

この問題を解決するには、プリンターに関する問題を解決します。

詳細は、ファクスの問題の解決を参照してください。

プリンターが接続されていない

次のいずれかのイベントが発生したため、コンピュータはプリンタと通信できません。

- プリンタの電源がオフになっている。
- プリンターに接続するケーブル (USB ケーブルやネットワーク (Ethernet) ケーブルなど) が取り外されている。
- プリンターがワイヤレス ネットワークに接続されている場合、ワイヤレス接続が損傷している。

この問題を解決するには、以下の解決方法を試してください。

- プリンタの電源がオンで (電源) ランプが点灯していることを確認します。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、プリンタにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電源コードが正しく機能している交流 (AC) 電源にしっかりと接続されていることを確認します。
- プリンターがネットワークに接続されている場合、ネットワークが正しく動作していることを確認します。詳細は、有線 (Ethernet) ネットワークの問題の解決を参照してください。
- プリンターがワイヤレス ネットワークに接続されている場合、ワイヤレスネットワークが正しく動作していることを確認します。詳細は、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

インク警告

このメッセージに表示されたインク カートリッジのインク残量が少なくなっています。

インクレベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のプリント カートリッジを準備してください。インク カートリッジを交換する必要があるのは、交換のメッセージが表示された場合だけです。

インク カートリッジの交換については、インク カートリッジの交換を参照してください。インク カートリッジの注文については、印刷用サプライ品のオンライン注文を参照してください。使用済みインク サプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

注記 カートリッジのインクは印刷だけでなく、印刷前にプリンタとカートリッジを準備するための初期化にも使用されます。また、使用済みカートリッジ内には微量のインクが残っています。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

プリントヘッドノ モンダイ

このメッセージに表示されているプリントヘッドが見つからないか、検出できないか、正しくセットされていません。

この問題を解決するには、以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策1: プリンターの電源をオフにしてからオンにします。
- 解決策 2: プリントヘッドを正しくセットします。
- 解決策3：電気接点をクリーニングします。
- 解決策 4: プリントヘッドを交換します。

解決策 1: プリンターの電源をオフにしてからオンにします。

プリンタの電源をオフにし、再びオンにします。

問題が解決しない場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2: プリントヘッドを正しくセットします。

すべてのプリントヘッドが正しくセットされていることを確認します。

△ **注意** プリントヘッドには、破損しやすい電子部品が装着された電気コンタクトが装着されています。

1. プリントキャリッジ アクセス ドアを開きます。
2. プリンタのコントロール パネルで、プリントヘッドの変更 をタッチします。インクホルダーが止まるのを待ち、電源コードをプリンタから外します。
3. プリントヘッド ラッチを上げます。

4. メッセージに対応するプリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。
5. プリント ヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します。(プリントヘッドのラベルがプリントヘッド ラッチの色と一致しなければなりません)。正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
6. 必要に応じて、残りのプリントヘッドにも手順を繰り返します。
7. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
8. プリントキャリッジ アクセス ドアを閉め、エラー メッセージが表示されなくなったかどうか確認します。

問題が解決しない場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3: 電気接点をクリーニングする

プリントヘッドの電気接触部をクリーニングします。詳細は、プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするにはを参照してください。

問題が解決しない場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4: プリントヘッドを交換する

指定のプリントヘッドを交換してください。詳細は、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

注記 プリントヘッドが保証期限に達していない場合は、HP サポートに連絡して、修理または交換を依頼してください。プリントヘッドの保証の詳細については、ワイヤレスの問題の解決を参照してください。

カートリッジを交換しても問題が解決しない場合は、HP サポートまでご連絡ください。詳細は、HP サポートを参照してください。

カートリッジの問題

このメッセージに表示されているインク カートリッジが見つからない、損傷している、プリンターの誤ったスロットに挿入されています。

注記 メッセージでカートリッジに互換性がないと表示されている場合、プリンターに合ったカートリッジの入手方法については、印刷用サプライ品のオンライン注文を参照してください。

この問題を解決するには、以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法

で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策1：プリンタの電源をオフにしてからオンにする
- 解決策 2：インク カートリッジを正しく取り付ける
- 解決策 3：電気接点をクリーニングする
- 解決策 4：インクカートリッジを交換する

解決策 1: プリンターの電源をオフにしてからオンにする

プリンタの電源をオフにし、再びオンにします。

問題が解決しない場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2: インク カートリッジを正しく取り付ける

すべてのインク カートリッジが正しく装着されていることを確認します。

1. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。
2. インク カートリッジを持って手前に引き、取り外します。
3. カートリッジをスロットに挿入します。カートリッジをしっかり押し込み、正しく装着したことを確認してください。
4. インク カートリッジ カバーを閉め、エラー メッセージが表示されなくなったかどうか確認します。

問題が解決しない場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3: インクカートリッジを交換する

ランプが点滅しているインク カートリッジを交換します。詳細については、印刷用サプライ品のオンライン注文を参照してください。

注記 カートリッジが保証期限に達していない場合は、HP サポートに連絡して、修理または交換を依頼してください。インク カートリッジの保証の詳細については、インク カートリッジ保証情報を参照してください。カートリッジを交換しても問題が解決しない場合は、HP サポートまでご連絡ください。詳細については、HP サポートを参照してください。

用紙の不一致

プリンター ドライバーで選択されている用紙サイズまたは種類が、プリンターにセットされた用紙と合っていません。プリンターに正しい用紙がセットされていることを確認し、文書をもう一度印刷します。詳細は、メディアのセットを参照してください。

注記 プリンターにセットされている用紙のサイズが正しい場合、プリンター ドライバーで選択されている用紙サイズを変更してから、文書をもう一度印刷します。

カートリッジ ホルダが動かない

何かがインク カートリッジ ホルダ (インク カートリッジを支えるプリンタの部品) をさえぎっています。

障害物を取り除くには、⏻ (電源ボタン) を押してプリンターの電源をオフにしてから、プリンターの紙詰まりを確認します。

詳細は、メディア詰まりの除去を参照してください。

紙詰まり

プリンタに紙がつまっています。

紙詰まりを解消する前に以下を確認します。

- 仕様に合った用紙がセットされていて、しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、損傷していないことを確認してください。詳細は、メディア仕様を参照してください。
- プリンタが汚れていないことを確認します。詳細は、プリンタの保守を参照してください。
- トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。詳細は、メディアのセットを参照してください。

紙詰まりの解消方法と紙詰まりを避ける方法については、メディア詰まりの除去を参照してください。

プリンターに用紙がない

デフォルトトレイが空です。

用紙をセットして、**[OK]** をタッチします。

詳細は、メディアのセットを参照してください。

プリンタはオフライン

プリンタは現在オフラインです。オフラインの間は、プリンタを使用できません。

プリンターの状態を変更するには、次の手順を実行します。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. ダイアログ ボックスに表示されたプリンターが、詳細ビューに表示されていない場合は、**[表示]** メニューをクリックしてから、**[詳細]** をクリックします。

3. プリンターがオフラインの場合、プリンターを右クリックして **[プリンターをオンラインで使用する]** をクリックします。
4. プリンタをもう一度使ってみます。

プリンタは一時停止中

プリンタは現在一時停止中です。一時停止中、新しいジョブをキューに追加することはできますが印刷はできません。

プリンターの状態を変更するには、次の手順を実行します。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. ダイアログ ボックスに表示されたプリンターが、詳細ビューに表示されていない場合は、**[表示]** メニューをクリックしてから、**[詳細]** をクリックします。
3. プリンターが一時停止の場合、プリンターを右クリックして **[印刷の再開]** をクリックします。
4. プリンタをもう一度使ってみます。

印刷できなかったドキュメント

印刷システムに問題が発生したため、ドキュメントを印刷できませんでした。

印刷問題の解決については、印刷上の問題の解決を参照してください。

プリンター エラー

プリンタに問題があります。通常、次の手順を実行することでこのような問題を解決できます。

1. (電源ボタン) を押して、プリンターをオフにします。
2. 電源コードを抜き、再度差し込みます。
3. (電源ボタン) を押してプリンターの電源を入れます。

問題が解決しない場合は、メッセージ画面のエラー コードを書き取り、HP サポートにご連絡ください。HP サポートへのお問い合わせについては、HP サポートを参照してください。

ドアまたはカバーが開いている

プリンターで文書を印刷する前に、すべてのドアとカバーを閉じる必要があります。

ヒント 完全に閉じると、ほとんどのドアとカバーが所定の位置にしっかりとはまります。

すべてのドアとカバーをしっかりと閉じても問題が解決しない場合は、HP カスタマ サポートに連絡してサポートを受けてください。詳細は、HP サポートを参照してください。

使用済みインク カートリッジが装着されている

メッセージに表示されているインク カートリッジは以前、別のプリンターで使用されていました。

インク カートリッジを別のプリンターで使用できますが、インク カートリッジをプリンターの外に長期間放置した場合、文書の印刷品質が下がる可能性があります。別のプリンターで使用されていたインク カートリッジを使用する場合、インク残量インジケータが不正確であったり、表示されない場合があります。

印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。詳細は、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。

注記 カートリッジ内のインクは、印刷処理のさまざまな場面で消費されます。初期化処理で、プリンタとカートリッジの印刷準備を行う際や、プリントヘッドのクリーニングで、プリント ノズルをクリーニングしてインクの流れをスムーズにする際にも消費されます。また、使用済みカートリッジ内には微量のインクが残っています。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

インク カートリッジの保管の詳細については、サプライ品を参照してください。

索引

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

ね

の

は

ひ